

平成 29 年 12 月 25 日

安曇野市教育委員会

平成 29 年 12 月定例会

会 議 議 案

安曇野市教育委員会

議案第 1 号	教育部 図書館交流課
平成 29 年 12 月 25 日提出	(課長) 丸山 高人 (担当) 細田 昌伸

タイトル	任期満了に伴う明科図書館長の選任について
決定を要する事項の内容	館長の選任に係る協議
要旨	平成 30 年 1 月 31 日をもって任期満了となる明科図書館長を任命するもの
説明	<p>小笠原明科図書館長の任期が、平成 30 年 1 月 31 日をもって終了することから、地方公務員法第 3 条第 3 項第 3 号の規定による非常勤特別職として次の者を任命するものです。</p> <p>○ 明科図書館長 (再任)</p> <p>氏 名 小笠原 教明 氏 (おがさわら のりあき)</p> <p>年 齢 67 歳</p> <p>住 所 安曇野市穂高有明 7401 番地 15</p> <p>任 期 平成 30 年 2 月 1 日から平成 30 年 3 月 31 日まで</p> <p>【地方公務員法 (抄)】</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>(一般職に属する地方公務員及び特別職に属する地方公務員)</p> <p>第 3 条 地方公務員 (地方公共団体及び特定地方独立行政法人 (地方独立行政法人法 (平成 15 年法律第 118 号) 第二条第二項に規定する特定地方独立行政法人をいう。以下同じ。) のすべての公務員をいう。以下同じ。) の職は、一般職と特別職とに分ける。</p> <p>2 一般職は、特別職に属する職以外の一切の職とする。</p> <p>3 特別職は、次に掲げる職とする。</p> <p>一 就任について公選又は地方公共団体の議会の選挙、議決若しくは同意によることを必要とする職</p> <p>一の二 地方公営企業の管理者及び企業団の企業長の職</p> <p>二 法令又は条例、地方公共団体の規則若しくは地方公共団体の機関の定める規程により設けられた委員及び委員会 (審議会その他これに準ずるものを含む。) の構成員の職で臨時又は非常勤のもの</p> <p>二の二 都道府県労働委員会の委員の職で常勤のもの</p> <p>三 臨時又は非常勤の顧問、参与、調査員、嘱託員及びこれらの者に準ずる者の職</p> <p>四～六 (略)</p> </div>

議案第2号	教育部 各課
平成29年12月25日提出	

タイトル	共催・後援依頼について																
決定を要する事項の内容	教育委員会の共催・後援依頼についての協議																
要旨	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">学校教育課</td> <td style="width: 10%;">後援</td> <td style="width: 10%;">2件</td> <td style="width: 50%;"></td> </tr> <tr> <td>生涯学習課</td> <td>後援</td> <td>2件</td> <td></td> </tr> <tr> <td>文化課</td> <td>共催</td> <td>1件</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="4">(詳細 別紙)</td> </tr> </table>	学校教育課	後援	2件		生涯学習課	後援	2件		文化課	共催	1件		(詳細 別紙)			
学校教育課	後援	2件															
生涯学習課	後援	2件															
文化課	共催	1件															
(詳細 別紙)																	
<p>○安曇野市教育委員会の共催及び後援等に関する取扱基準【抜粋】 (定義)</p> <p>第2条 この基準における用語の定義は、次の各号に定めるところによる。</p> <p>(1) 行事 講演会、演奏会、展覧会等の集会、体育大会等の催し物をいう。</p> <p>(2) 共催 行事の企画又は運営に参加し、共同主催者としての責任の一部を負担することをいう。</p> <p>(3) 後援 行事の趣旨に賛同し、名義の使用を承認することをいい、責任の負担はしないことをいう。</p> <p>(審査基準)</p> <p>第3条 教育委員会は、次の各号に掲げるいずれかの団体が主催する行事は、共催又は後援するものとする。</p> <p>(1) 国又は地方公共団体</p> <p>(2) 学校又は学校の連合体</p> <p>2 教育委員会は、前項の団体以外が主催する場合は、次に掲げる事項を満たすことが明らかに確認できるものに限り、共催又は後援をするものとする。</p> <p>(1) 行事の内容が教育、学術、文化及びスポーツの普及向上に寄与するものであること。</p> <p>(2) 公益性のあるもので営利を目的としないものであること。</p> <p>(3) 政治活動又は宗教活動と認められないものであること。</p> <p>(4) 参加者等の参集予定範囲が市内全域又はそれ以上であること。</p> <p>(5) 入場料、参加料、出品料等の経費を主催者が徴収するものについては、その経費の算出等について配慮がなされており、営利事業的なものでないこと。</p> <p>(6) 団体内の親睦等が主たる目的ではないこと。</p> <p>(教育長の専決範囲)</p> <p>第4条 後援の承認について、教育長が専決できる行事は次に掲げるとおりとする。</p> <p>(1) 前条第1項に規定する行事</p> <p>(2) 過去に教育委員会が承認した行事(団体又は行事が、前条第2項の規定を満たしているか判断し難いものは除く。)</p>																	

教育部 学校教育課 共催・後援台帳(平成29年度12月定例会協議事項)

No.	受付日	所管	件名	申請者	主催者 (団体)	種別	申請理由	申請日	開催日	専決	理由	承認	承認(専決)日	会場	開催目的(趣旨)	開催内容	H26	H27	H28	所管課 意見
1	H29.12.1	学校教育	新年度の準備講座	NPO長野教師 力向上NET 高見澤 信介	NPO長野教師力向 上NET	後援	広く参加を呼び かけたいため。	11月29日	平成30年3月 25日				月	松本市中央 公民館(予 定)	教育に携わる方々のため の研修会	講師 小松裕明氏による、4月 に安心して子ども達を迎える ための準備講座。	-	-	-	基準第3 条第2項 により可
2	H29.12.1	学校教育	特別支援講座	NPO長野教師 力向上NET 高見澤 信介	NPO長野教師力向 上NET	後援	広く参加を呼び かけたいため。	11月29日	平成30年4月 22日				月	松本市中央 公民館(予 定)	教育に携わる方々のため の研修会	講師 小嶋悠紀氏による、要 配慮の子ども達が楽しく通こ すために教師が行う別案的授 業の講座。	-	-	-	基準第3 条第2項 により可

教育部生涯学習課 共催・後援台帳(平成29年度12月定例会協議事項)

No.	受付日	所管	件名	申請者	主催者	種別	申請理由	申請日	開催日	承認	承認日	会場	開催目的(趣旨)	開催内容	H26	H27	H28	所管課 意見
1017	H29.12.5	社会 教育 担当	ローズデーター講演会「子どもたちの権利と幸せってなあに？」	松本ソングクラブ 会長 大月豊喜	国際ソング 松本ソング クラブ	後援	広く市民の方々 および教育関係 者に参加を呼び かけるため	11月10日	平成30年3月4日		月 日	あがたの森文 化会館 講堂	3月8日の国際女性デーに向 けての講演会。近年、子どもへ の暴力・暴言等をつきかけに 子どもたちが犠牲つく事件が多 発している。そうした事態を防 ぐために3人の専門家の基調 講演とパネルディスカッション を行う。	基調講演 丹羽咲江氏 「今、子どもたちの性教育 で必要なこと」 パネルディスカッション 「子どもの権利と幸せにつ いて」 パネラー 市川フロスト和美氏 丹羽咲江氏 降旗志郎氏	-	-	-	基準第3 条第2項 により可
1018	H29.12.8	社会 教育 担当	法蔵寺子ども囲碁教室	安曇野囲碁 普及ボランティア グループ	安曇野囲碁 普及ボラン ティアグ ループ	後援	安曇野市教育委 員会の理解のもと と市内の小中 学生に宣伝した い	12月7日	平成30年4月7日 (土)～平成31年3 月30日(土)の毎週 土曜日		月 日	法蔵寺	囲碁普及のため安曇野市内 の小中学生を中心に囲碁教室 を実施。	囲碁教室 4月7日～3月30日 毎週土曜日 参加費 月500円(年会費 6000円) 対象者 小学生・中学生	-	-	-	基準第3 条第2項 により可

教育部 文化課 共催・後援台帳(平成29年度12月定例会協議事項)

No.	受付日	所管	件名	申請者	申請者	主催者	種別	申請理由	申請日	開催日	承認	承認日	会場	開催目的(趣旨)	開催内容	H28	H27	H26	所管課 意見
1512	H29.12.12	文化	第33回安曇野早春賦音楽祭 祭一本ステージニ	早春賦音楽祭実行委員会	実行委員長 西山紀子	早春賦音楽祭実行委員会 員会・早春賦愛唱歌会		市の文化振興に寄与する事業に共働で取り組むため、広報・市内施設の利用についてご協力を願いたい。	12月12日	平成30年 5月27日 (日)		月	日穂高会館	音楽を愛好する者が一同に会し、演奏・鑑賞・心を合わせ歌いあう場を創造する。美しい安曇野の文化向上のために寄与することを目指す。第33回安曇野早春賦音楽祭に向けて移乗塾員も募集する。	特別ゲストに渡辺しおり氏、中山博之氏を迎え、穂高地区小中学校合唱部や県内外の出演者が集って巨勢賦や他の曲を演奏する。入場料は前売り券500円、当日券800円。				基準第3 案第2項 により可

議案第 3 号	教育部 学校教育課
平成 29 年 12 月 25 日提出	(課長) 鎌崎 孝善 (担当係長) 平林 洋一

タイトル	安曇野市教育委員会公告式規則の一部改正について
決定を要する事項の内容	教育委員会規則の一部改正についての協議
説明	<p>【改正の概要】</p> <p>1 教育委員会規則の公布について 規則を公布しようとするときは、公布の旨の前文、年月日及び教育委員会名を記入し、その末尾に教育長が署名するものとする。</p> <p>2 規程の公表について 教育委員会の定める規程を公表しようとするときは、公表の旨の前文、年月日、教育委員会名及び教育長名を記入し教育長印を押すものとする。</p> <p>3 公布・施行日 教育委員会会議で議決を得た日</p> <p>4 参考事項</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>○地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抄） （教育委員会規則の制定等）</p> <p>第 15 条 教育委員会は、法令又は条例に違反しない限りにおいて、その権限に属する事務に関し、教育委員会規則を制定することができる。</p> <p>2 教育委員会規則その他教育委員会の定める規程で公表を要するものの公布に関し必要な事項は、教育委員会規則で定める。</p> </div>

安曇野市教育委員会公告式規則の一部を改正する規則をここに公布する。

平成 年 月 日

安曇野市教育委員会

安曇野市教育委員会規則第6号

安曇野市教育委員会公告式規則の一部を改正する規則

安曇野市教育委員会公告式規則（平成17年安曇野市教育委員会規則第1号）の一部を次のように改正する。

第2条中「委員長」を「教育長」に改める。

第4条中「委員長名」を「教育長名」に、「委員長印」を「教育長印」に改める。

附 則

この規則は、平成 年 月 日から施行する。

新旧対照表

改正後	改正前
<p>○安曇野市教育委員会公告式規則</p> <p>改正</p> <p>平成17年10月1日教育委員会規則第1号</p> <p>平成26年3月26日教委規則第6号</p> <p>平成27年3月25日教委規則第7号</p> <p>安曇野市教育委員会公告式規則</p> <p>(規則の公布)</p> <p>第2条 教育委員会規則（以下「規則」という。）は、会議において議決した日から起算して7日以内に公布するものとする。</p> <p>2 規則を公布しようとするときは、公布の旨の前文、年月日及び教育委員会名を記入し、その末尾に<u>教育長</u>が署名するものとする。</p> <p>第4条 教育委員会の定める規程を公表しようとするときは、公表の旨の前文、年月日、教育委員会名及び<u>教育長</u>を記入し<u>教育長</u>印を押すものとする。</p>	<p>○安曇野市教育委員会公告式規則</p> <p>改正</p> <p>平成17年10月1日教育委員会規則第1号</p> <p>平成26年3月26日教委規則第6号</p> <p>平成27年3月25日教委規則第7号</p> <p>安曇野市教育委員会公告式規則</p> <p>(規則の公布)</p> <p>第2条 教育委員会規則（以下「規則」という。）は、会議において議決した日から起算して7日以内に公布するものとする。</p> <p>2 規則を公布しようとするときは、公布の旨の前文、年月日及び教育委員会名を記入し、その末尾に<u>委員</u>が署名するものとする。</p> <p>第4条 教育委員会の定める規程を公表しようとするときは、公表の旨の前文、年月日、教育委員会名及び<u>委員</u>を記入し<u>委員</u>印を押すものとする。</p>

報告第1号	教育部 学校教育課
平成29年12月25日提出	(課長) 鎌崎 孝善 (担当係長) 平林 洋一

タイトル	学校健康診断結果の疫学研究利用に対する協力について
要旨	学校健康診断結果を疫学研究利用のため、保護者の同意を得た市内中学校3年生の健康診断票データ（小1から9年間分）を提供することとしたので報告するものです。
説明	<p>1 取り組みの背景等</p> <p>昨今の高齢化社会において、生活習慣病の予防は大きな課題であり、学童期の生活習慣や食習慣が将来の病気の大きな要因になっていることから、この時期のデータを収集・解析し、生活習慣や食習慣の改善の一助とする研究が進められています。本市教育委員会では、この研究に対する協力要請を受け、「一般社団法人健康・医療・教育情報評価推進機構」と情報提供契約を結び、本市内の中学3年生の小中9年間の健康診断情報の提供に協力することとしました。</p> <p>なお、学校健康診断結果のデータ提供にあたっては、「安曇野市個人情報保護条例」の規定に基づき、保護者の同意を得た生徒のみとしました。提供にあたっては、氏名等の個人が特定できる情報は匿名・暗号化され、外部にもれることはありません。また、解析にあたっては、文部科学省・厚生労働省から発出されている研究に関する指針を遵守しておこなわれます。</p> <p>ただし、研究結果は、個人情報削除された形で、生徒の健康維持のための行政資料や、社会・学術発表などの資料に用いられることがあります。</p> <p>また、将来的に提供者自身が健康状況を把握できるサービスへの展開も視野に入れられています。今回、情報提供に同意いただいた方へは、小・中9年間の成長の記録を分析、記載されたレポートを卒業前に返却する予定です。</p> <p>2 データ提供の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内7中学校の生徒数（同意書配布時点）965人 ・同意者数（データ提供者） 636人（65.91パーセント） <p>3 データのスキャニング作業</p> <p>平成29年12月18日（月）・12月19日（火）において実施</p> <p>4 取組主体、内容等</p> <p>別紙</p>

保護者のみなさまへ

当機構につきまして

名称：一般社団法人 健康・医療・教育情報評価推進機構
Health, Clinic, and Education Information Evaluation Institute (HCEI)

概要：一般社団法人健康・医療・教育情報評価推進機構は、医療機関、介護施設、教育機関等における各種情報の適切な保護およびその利活用を推進するために、2015年1月に設置された社団法人です。各種情報を個人情報情報を排除した形でデータベース化することで、個人の健康増進や学術研究に貢献していきます。

役員：運営メンバーは、医学、疫学、社会学等において活躍している大学等学術機関の教員によって構成されています。

代表理事 樋之津 史郎：岡山大学教授（医学）
常務理事 川上 浩司：京都大学教授（医学）
理事 曾根 博仁：新潟大学教授（医学、内科学）
理事 伊藤 秀一：横浜市立大学教授（医学、小児科学）
理事 漆原 尚巳：慶應義塾大学教授（薬学）
監事 堀井 郁夫：英国ケンブリッジ大学元教授（薬学）

取組の背景

自治体には、法律や制度に基づいて取得されている様々な健康情報が存在しています。母子保健法に基づく母子保健健康情報、『学校保健安全法に基づく学校健診情報』、国民皆保険制度によって行われている医療の診療報酬請求（レセプト）情報、『介護制度における要介護認定情報』などが該当します。

しかし、これらの情報は、何十年の間、個々の局面で使用されているだけで、情報のデータベース化や、データベースを繋いで解析する取組みは行われてきませんでした。自治体の持つ健康情報を最大限活用することにより、さらなる**個人の健康増進**とそれによる**労働生産性の向上**、**介護予防**や、地域における**産業振興**や**医療費削減**に役立てていく必要があります。

そこで、私達は、学校健診情報の可視化による個人への還元とそのデータベース化を軸に、地域や日本の未来に役立つような取組みをしたいと願っております。

個人情報の取り扱いについて

当機構が、お預かりするのは個人情報を取り除かれた完全に匿名化された健診情報の部分のみです。個人情報をお預かりすることはございません。

マイナンバー制度と本取組みについて

当機構は、学童個人の情報を入手することはないので、マイナンバーとの紐付けは不可能です。ただし、自治体内でマイナンバーの活用をされる場合にはその限りではありません。

各省庁から採択・支援頂いている仕組みです

- ・総務省、平成26年度SCOPE事業：学校健診情報のデジタル化、匿名化とデータベース格納
- ・総務省所管の国立研究開発法人、国立研究開発法人情報通信研究機構（NICT）：平成28年度からソーシャル・ビッグデータ利活用・基盤技術の研究開発
- ・文部科学省：科学技術イノベーション政策における「政策のための科学」基盤的研究・人材育成拠点整備事業

一般社団法人 健康・医療・教育情報評価推進機構 

匿名でのデータのお預かりについて

学校健診の結果は、生徒ごとに小学1年生から中学3年生までの9年間分が、以下のような診断票の紙の様式に手書きで記入され、卒業後5年間保存した後、破棄されています。

※記入済みの健診票（一例）

連結記号一覧（図C）

図A: 個人情報部分 (黒塗り部分)

図B: 健診情報部分

ID	氏名	生年月日	性別	学年	健康状態	その他
15010001	佐藤 花子	1999.11.20	女	1	健康	
15010018	田中 太郎	1993.11.10	男	1	健康	

記入済みの健診調査票を専用のスキャナとPCでスキャンします。この時、左図のように、『**A個人情報部分**（左図の黒塗り部分）』と『**B健診情報部分**』がPCに別々に格納されます。

学校には、**個人情報部分**と自動的に生成された**連結記号**をお渡しし（図C参照）、当機構は匿名化された**健診情報**のみをデータベース用にデジタル化させていただきます。

したがって、**個人情報**については学校から持ち出すことは無く、データベース化以降は突合用IDを含まない匿名化されたデータとなります。

個人レポート還元について

生徒に還元されるレポートには、小児科医や内科医が作成した個人個人の特徴に応じた健康へのアドバイスやコラムが記載されています。



健康に対する意識の向上に役立つ

現在の健康状態と学校平均

今年度の健康状態を数値化し、学校平均と比較することで、自分の健康状況を知る目安になります。

その他 留意事項

留意事項がある場合は、ここにアドバイスが入ります。気をつけるポイントがわかります。



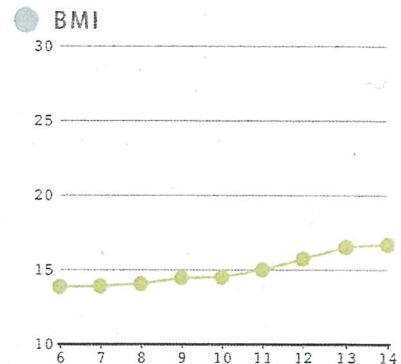
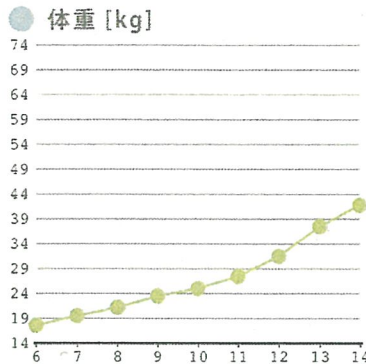
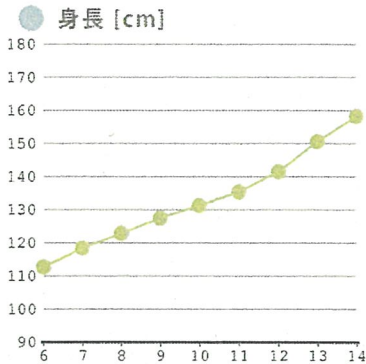
成長の記録

このようなグラフで過去9年間の成長記録が記されます。（公立校の場合）

健康コラム

健康に役立つコラムが入ります。

成長の記録



地域内での分布

● BMI



18未満 18-22 22-25 25-30 30以上
低体重 標準 肥満(1度) 肥満(2度) 高度肥満

$$\frac{\text{体重 (kg)}}{\text{身長 (m)}^2} = \text{BMI}$$

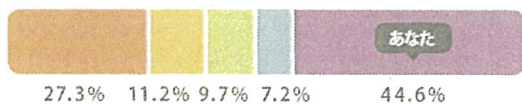
41.8 ÷ 1.58² = 16.7

BMI(Body Mass Index)とは身長と体重から算出される、肥満の状態を評価する指標です。**体重(kg)を身長(m)の2乗で割る**ことで簡単に計算できます。

BMIが25未満であることが将来の健康の維持や生活習慣病の予防になりますので、自分でも計算できるようにしておきましょう。

※ **あなた** はあなたの位置を表します

● 虫歯の本数



0本 1本 2本 3本 4本以上

あなたの健康状態



身長 (cm)
158.2



体重 (kg)
41.8



BMI (kg/m²)
16.7



視力左/右 (矯正左/右)
C/C



未処置 (永久歯/乳歯)
4/0



処置済 (永久歯/乳歯)
0/0

その他注意事項

少しやせ気味かもしれません。適度な運動を行ったり、食事をしっかりととりましょう。歯垢の付着が多く見られました。歯磨きは念入りに行いましょう。虫歯は治療済みですか？症状があれば再度歯科医師に相談しましょう。

COLUMN

みなさんがよく耳にする口の中の大きな病気はむし歯と歯周病だと思います。歯の表面についた食べかすを顕微鏡でみると、大量の細菌が見えます。この細菌の塊を歯垢と呼びます。むし歯は歯垢中の細菌によって作られた酸によって、歯の表面のエナメル質を溶かしてしまう病気です。歯周病もむし歯と同じで、特殊な細菌によって引き起こされています。歯周病は、歯の周りにたまった歯垢から歯肉に炎症を起こし、歯肉が腫れて歯を支える骨の破壊が起こる病気です。ですから、虫歯や歯周病の予防には歯の表面や歯と歯肉の周りについた歯垢を毎日、正しい歯磨きで取り除くことが重要です。歯磨きの時間は180秒以上が一般的とされています。可能であれば毎食後、歯磨きをすることが理想です。どうしてもできない場合でも最低1日1回、特に寝る前は必ず歯磨きを行うようにしましょう。歯磨きは通常、歯ブラシを使って行いますが、歯磨き補助用具として、歯ブラシでは届きにくい歯と歯の間を磨くときに使われるのが歯間ブラシやデンタルフロスです。正しい使用方法でないと歯肉を傷つけたり、歯肉の炎症を起こしたりする原因になります。使用にあたっては歯科医師または歯科衛生士の指導を受けましょう。

報告第2号	教育部 学校教育課
平成29年12月25日提出	(課長) 鎌崎 孝善 (担当係長) 平林 洋一

タイトル	安曇野市教育大綱「安曇野市の教育」行動計画検証報告（中間報告）について
要旨	安曇野市教育大綱「安曇野市の教育」（実施期間：平成27年11月25日～平成30年3月31日）に掲げられた行動計画の実績等に係る検証について中間報告するものです。
説明	<p>1 安曇野市教育大綱「安曇野市の教育」の見直しについて 安曇野市教育大綱「安曇野市の教育」（以下「本大綱」という。）は、安曇野市のまちづくりの基本理念である安曇野市民憲章のもと、次に掲げる教育指針に従い、学校教育、家庭教育、幼児期の教育・保育、生涯学習、スポーツ振興、文化振興、図書館活動等のそれぞれの目標と行動計画を示したものです。 <u>本大綱の実施期間は、策定から平成30年3月31日までとなり、以後は教育目標の達成度および社会情勢の変化等を考慮し、見直すものとされています。</u></p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">＜教育指針＞</p> <p style="text-align: center;">北アルプスの裾野に広がる安曇野の豊かな自然と向き合い、幼児期から生涯にわたり、先人が培ってきた歴史と文化を学ぶとともに誇りをもち、明日を切り拓くたくましい力と思いやりをもった、心豊かな国際的な市民を目指します。</p> </div> <p>2 検証内容等 今般、本大綱に掲げられた行動計画117項目について、各所管において中間的に検証することとしました。 内容としては、平成28年度・29年度（実施見込みを含む）の行動計画に係る取り組み内容、施策推進に係る成果、来年度以降の当該施策推進に向けての課題等を記載するとともに、第2次教育大綱（H30～34年度）への記載の必要性について判断しています。</p> <p>3 今後の日程等 今後、検証をさらに深めるとともに、新たに追加する行動計画等について整理し、来年度初回の総合教育会議に提示する中で、ご審議をいただきたいと考えています。</p>

平成 29 年 12 月 25 日開催

安曇野市教育委員会 12 月定例会配布資料

【別冊】

安曇野市教育大綱「安曇野市の教育」

[実施期間：平成 27 年 11 月 25 日～30 年 3 月 31 日]

行動計画検証報告書

(中間報告)

平成 29 年 12 月 13 日

総合教育会議提出

安曇野市教育委員会事務局

安曇野市教育大綱「安曇野市の教育」

[平成 27 年 11 月 25 日第 2 回総合教育会議で協議・確認]

安曇野市教育大綱「安曇野市の教育」(以下「本大綱」)は、安曇野市のまちづくりの基本理念である安曇野市民憲章のもと、次に掲げる教育指針に従い、学校教育、家庭教育、幼児期の教育・保育、生涯学習、スポーツ振興、文化振興、図書館活動等のそれぞれの目標と行動計画を示したものです。

本大綱の実施期間は、策定から平成 30 年 3 月 31 日までとし、以後は教育目標の達成度および社会情勢の変化等を考慮し、見直すものとします。

教育指針

北アルプスの裾野に広がる安曇野の豊かな自然と向き合い、幼児期から生涯にわたり、先人が培ってきた歴史と文化を学ぶとともに誇りを持ち、明日を切り拓くたくましい力と思いやりをもった、心豊かな国際的な市民を目指します。

<教育指針について>

安曇野市の最大の特長は、北アルプスと筑摩山地に囲まれた安曇野の広大な田園と、その中で生活する人々が、長い歴史の中で培ってきた伝統文化と優れた芸術を生み出した地方都市であることです。

安曇野市のあらゆる年代の市民が、本市の最大の特長を理解し、これを誇りにできる市民に育つよう、生涯にわたり積極的に学び続けることを目指します。

まず、「豊かな自然」とは、先人の努力により、自然と人が共生する中で創り出された北アルプスの裾野に広がる里山と、それに続く(人々が生活している)田園や清冽な水で育つわさびの畑を指します。また、「向き合う」とは、このことを理解し大切に考え行動することを意味します。

「先人」とは、有史以来安曇野で生活したあらゆる人々を指し、「歴史」とは安曇野の古代より現代までの郷土に残る史実や言い伝え(伝説)をいい、「文化」とは安曇野の祭などの伝統芸能、道祖神や神社仏閣などの史跡、芸術文化を収めた美術館、博物館、記念館など、安曇野にある有形無形の遺産を指します。

「学ぶとともに誇りをもつ」とは、さまざまな学習活動の中で安曇野を知り、そこで育ち生活することに誇りをもつことであり、「明日を切り拓くたくましい力と思いやり」とは、安曇野で教育を受けた市民が、安曇野市の将来の繁栄と市民一人ひとりの明るい未来を創るために必要な健全な精神を持ち、お互いを理解できる市民の高い資質を意味します。

さらに、「心豊かな国際的な市民」とは、日常生活や仕事の場面において、文化の異なる海外の人々とも交流ができる教養を備えた、幅広い人間性をもつ人を意味します。

1 学校教育

○ 心豊かでたくましく生きる力を育む学校教育 ～高い志を持って努力する子どもたちに～
目 標

安曇野市では、子どもたちを育む環境の充実に向け、学校と家庭さらに地域の人々と連携を図り、開かれた特色ある学校づくりを目指します。学校教育を支援するため、地域と一体となって

連携体制の構築を図り、多様な形態の学校支援を行いながら、教員が一人ひとりの子どもと関わり合う時間の充実を図ります。

さらに、学習指導要領で目指している「生きる力」を育むために以下の施策を展開します。

- ◇ 基礎・基本を確実に身につけ、社会がどのように変化しようと、自ら課題を見つけ、主体的に判断し、行動し、よりよく問題を解決する資質や能力を育成する。
- ◇ 自らを律しつつ、他人と協調し、人への思いやりと感動する心をもった豊かな人間性を育む。
- ◇ たくましく生きるための健康や体力を増進する。

行動計画 ※ページ番号は、検証シートのページです

[小中学校共通の行動計画]

(1) 基礎学力向上のための指導の充実

- ア 少人数学級や小集団学習の推進… p 8
- イ ICTの活用などによる協働型・双方向型学習の推進… p 9

(2) 学びあう姿勢・態度を育成するための指導の充実

- ア 全領域の学習における主体的に学ぶ姿勢・態度の育成… p 10
- イ 総合的な学習の時間の充実… p 11
- ウ キャリア教育の推進… p 12
- エ 地域の人たちがもつ優れた技能・知識と学校教育の連携強化… p 13

(3) 特色ある学校づくりの推進

- ア 地域に開かれた学校づくりの推進… p 14
- イ 児童・生徒が、高い志を持ち、共に学び合う学校づくりの推進… p 15
- ウ 小学校・中学校の連携を強化した学校づくりの推進… p 16

(4) 英語教育の充実と実践

- ア ALT、日本人英語指導員・助手を活用した英語教育の充実と実践… p 17
- イ 海外の生活習慣・文化を知る国際理解教育の推進… p 18
- ウ 海外ホームステイ事業の実施… p 19

(5) 児童・生徒の就学支援活動の推進

- ア スクールサポート事業の展開による学校支援プログラムでの支援活動の推進及び安曇野市ならではの信州型コミュニティスクールの構築… p 20
- イ 特別支援教育の充実… p 21
- ウ 障がいをもつ児童・生徒の就学支援活動の推進… p 22
- エ いじめ防止、不登校児童・生徒への支援体制の強化及び中間教室等の活用と充実… p 23
- オ 教育相談の活用と充実… p 24
- カ 学校教育指導員・心の相談員の配置… p 25
- キ 就学相談委員会の充実… p 26

(6) 食育の推進

- ア 地産地消の推進… p 27
- イ 食文化の伝統伝承… p 28
- ウ 食農教育の充実又は実践などによる食を考える教育の推進… p 29

(7) 学校、家庭、地域との連携による教育体制の充実

- ア 地域教育協議会による学校運営の理解と参画、学校支援や学校自己評価の活用… p 30
- イ 『家庭学習のすすめ』や各校の『家庭学習の手引き』の活用による家庭学習の充実と自

ら学ぶ態度の形成… p 31

(8) 子どもの安全確保策の充実

ア 子どもを守る安心の家、子ども安全パトロール隊の充実… p 32

イ 青色パトロールカーを使った巡回による安全確保の推進… p 33

ウ 地域での子どもの安全を守る関係団体との連携強化… p 34

(9) 防災活動拠点としての学校のあり方の検討

ア 防災教育の推進… p 35

イ 状況に応じた避難訓練の実施… p 36

ウ 学校備蓄品の確保… p 37

エ 学校施設の耐震化（体育館等非構造部材等）の推進… p 38

〔小学校教育の行動計画〕

(1) 児童の育成

ア 学校内外の生活体験に基づき、人と人との相互関係を正しく理解し協働できる、自主・自律の精神を養うこと… p 39

イ 郷土の伝統・文化に進んで関わり、正しく理解すること… p 40

ウ 進んで国際協調の精神を養うこと… p 41

エ 生活を営む上で必要な衣、食、住について理解し、基礎的な技能を養うこと… p 42

オ 国語を、正しく理解し使用する能力を養うこと… p 43

カ 数と量との関係を、正しく理解し処理する能力を養うこと… p 44

キ 自然現象を観察し、科学的に処理する能力を養うこと… p 45

ク 健康、安全で幸福な生活のために必要な習慣を養い、心身の調和的発達を図ること… 46

ケ 日常生活を明るく豊かにする音楽、美術、文芸について理解し、基礎的な技能を養うこと… p 47

〔中学校教育の行動計画〕

(1) 生徒の育成

ア 小学校における教育目標を発展させ、国家および社会の形成者として必要な資質を養うこと… p 48

イ 社会に必要な職業について、基礎的な知識と技能、勤労を重んずる精神および個性に応じて将来の進路を選択できる能力を養うこと… p 49

ウ 学校内外における社会的活動に関わり、その活動を正しく導き、公正な判断力を養うこと… p 50

(2) 市内高等学校との連携・支援

ア 生徒数の減少や都市集約化等の課題に対応していくため、中学校と高等学校の連携を強化すること… p 51

イ 地元高等学校との地域交流を通して、市民の高等学校への関心を高めること… p 52

2 家庭教育

○ 深く豊かな人間性の基礎と社会性を育む家庭教

○ 愛情としつけを通して乳幼児の成長の最も基礎となる心の基盤を形成する家庭教育

目 標

次世代、郷土安曇野を担う人づくりと人間性豊かな、社会性のある子どもを育てます。

行動計画

(1) 家庭教育を充実するための保護者への支援

ア 子育て関係者への子育てのための学習機会の提供… p 52

イ 子育てに関する情報提供… p 52

3 幼児期の教育・保育

○ 社会・文化・自然などに触れ、幼児期なりの世界の豊かさに出会う幼児期の教育・保育

○ 子ども・子育て支援事業計画による、福祉・教育の連携した幼児期の教育・保育

目 標

ふるさと安曇野の良さを知り、未来に夢をひろげ、思いやりをもったたくましく生きる子どもを育てます。

行動計画

(1) 幼児の育成

ア 主体性・創造性を持った子ども… p 53

イ 体・心・知恵のバランスがとれている子ども… p 54

ウ 群れて元気に遊ぶ子ども… p 55

エ 思いやりのある子ども… p 56

オ 安曇野の文化・自然の中に自ら浸りこんでいける子ども… p 57

(2) 一貫性のある幼児の教育体制を構築

ア 幼稚園・保育園・認定こども園・小学校の連携… p 58

イ 幼児教育の必要性の発信… p 59

ウ 子育て相談・支援… p 60

(3) 教育・保育環境の充実

ア 幼稚園、保育所園の施設及び設備の充実を図るとともに、認定こども園の普及促進
… p 61

4 生涯学習

○ あなたが主役 ともに創ろう ともに学び ともに支え合う 生涯学習のまち

目 標

「だれでも、いつでも、気軽に学べるまちづくり」と「学びの成果が活かされるまちづくり」を進めます。

行動計画

(1) 生涯の各段階に応じた学習機会の充実

ア 子どもの成長支援講座の充実、子育て相談体制の充実及び関係機関との連携… p 62

イ 青少年期の育ちの場の充実、生きる力を育む環境整備及び健全育成のための連携強化
… p 63

ウ 成人期の趣味や教養及び仕事などにも役立つ学習機会の充実と地域交流の促進… p 64

エ 高齢期の健康増進活動及び活動の場の充実と交流活動の促進… p 66

- (2) 現代社会の課題や市民の学習要望に応える学習機会の充実
 - ア 環境、健康及び地域福祉を進める学習の推進… p 67
 - イ 芸術文化活動の振興… 68
 - ウ 国際理解、外国人支援及び地域の安全・安心を進める活動の推進… p 69
 - エ 人権尊重の学習の推進… p 70
 - オ 情報化に応じた学習の推進… p 71
- (3) 生涯学習を支える環境の整備
 - ア 公民館や交流学習センターを中心とした生涯学習施設の有効活用… p 72
 - イ 学習情報提供と学習相談体制の充実… p 74
 - ウ 学習に参加しやすい環境づくり… p 75
- (4) 学習成果を活かし支え合う協働のまちづくり
 - ア 成果発表の機会の充実… p 76
 - イ ボランティア活動の推進… p 77
 - ウ 市民と行政の協働や市民交流の推進… p 78
- (5) 一人ひとりが伝える役割を果たすまちづくり
 - ア 生涯の各段階に応じ役割を果たすまちづくり… p 80
 - イ 風土に根ざした技や知恵を広げ伝える仕組みの構築… p 81
 - ウ リーダーバンク制度の充実… p 82

5 スポーツ振興

○ 豊かな人生を実現する 健康スポーツ都市 安曇野

目 標

市民の「2人に1人が週1回以上のスポーツを実施」を進めます。

行動計画

- (1) 生涯スポーツの推進
 - ア 子どもスポーツ活動の推進… p 83
 - イ スポーツに親しむ機会の充実… p 84
 - ウ スポーツによる健康・体力づくりの推進… p 85
 - エ コーディネーショントレーニングの普及… p 86
 - オ スポーツに親しむための情報サービスの向上… p 87
- (2) スポーツ施設の整備と有効活用
 - ア 公共スポーツ施設の整備・充実… p 88
 - イ 自然を生かしたスポーツ環境づくり… p 89
- (3) 競技スポーツの振興と指導者の育成
 - ア 選手の育成・支援… p 90
 - イ 高い技術に触れる機会の充実… p 91
 - ウ 指導者の養成と指導体制の活性化… p 92
- (4) 高齢者・障がい者スポーツの推進
 - ア 高齢者スポーツ活動の支援… p 93
 - イ 障がい者スポーツ活動の支援… p 94

- (5) スポーツを通じたコミュニティづくり
 - ア 総合型地域スポーツクラブの育成支援… p 95
 - イ スポーツを通じた交流の充実… p 96
 - ウ スポーツボランティア活動の推進… p 97
- (6) 安曇野市公式スポーツ施設整備計画の推進… p 98

6 文化振興

○ 学ぶ心が育ち、文化のかおるまちをつくる文化芸術の振興

目 標

郷土の歴史的・文化的遺産や伝統文化、古文書などを保存・継承し、それらを活用して創造的な芸術文化活動が活発に行われるようにします。

行動計画

- (1) 残したい安曇野の文化
 - ア 自然との共生と自然環境の保全… p 99
 - イ 文化的景観の保全… p 100
- (2) 伝えたい安曇野の文化
 - ア 先人の顕彰と資料・作品の計画的な収集… p 101
 - イ 地域文化の理解と尊重及び伝統文化や郷土芸能の保存と継承… p 103
- (3) 感じたい安曇野の文化
 - ア 文化芸術施設の整備・充実… p 105
 - イ 特色ある文化芸術施設の運営と施設間の連携強化… p 106
 - ウ 芸術鑑賞機会の充実と市民活動の育成支援… p 107
- (4) 学びたい安曇野の文化
 - ア 文化財の保存と活用… p 108
 - イ 古文書や歴史的価値ある行政文書の保存と活用及びデジタルアーカイブの推進と市史(誌)編纂… p 109
- (5) 育てたい安曇野の文化
 - ア 地域文化を支える人材の育成… p 110
 - イ 地域文化の創造… p 111
 - ウ 産業活動との連携や文化交流の促進などによる文化資源の発掘と活用… p 112

7 図書館活動

○ 多様化する市民の「学び」のニーズに応える図書館

目 標

市民へ質の高い情報を提供できる「学習センター」「情報のセンター」「文化センター」として、生涯学習を進める上で市民の要望に応える図書館の確立を進めます。

行動計画

- (1) 新鮮な資料や最新の情報の市民への提供
 - ア 様々なメディアによる、新鮮な資料や最新の情報の提供… p 113
- (2) さまざまな「学び」の場としての図書館サービスの充実
 - ア あらゆる年代の市民が自由に訪れ、個人やグループが気軽に学ぶことができる生涯学習

の拠点施設として基本的なサービスの充実… p 114

イ 市民の余暇活動を支援する施設として、図書館が役割を果たすべきサービスの確立… p 116

ウ 図書館施設の充実を図るため、新たな堀金図書館及び三郷図書館の改修・建設… p 118

(3) 「地域の教育力」を高める活動の推進

ア 子どもの多様な能力を伸ばすために学校図書館及び地域・家庭学習支援の充実… p 119

イ 市民の地域活動、生活、仕事などに必要な資料・情報の収集と提供… p 120

(4) 図書館利用に障がいのある方々への支援

ア 「図書館に来られない」「活字資料を読むことが困難」等への具体的な支援… p 121

イ 容易かつ効率的に資料・情報を利用できるための整備・拡充… p 122

ウ 対面朗読、大活字本、自宅への配本、最新の電子書籍配信等のサービスの充実… p 123

(5) 安曇野市の歴史文化の伝承

ア 地域文化の掘り起こしや継承のための郷土資料・情報の網羅的収集と保存… p 124

イ 新しい文化の創造に役立つ郷土資料・情報の整理・活用… p 125

ウ 郷土資料のデジタル化やアーカイブを、市民参加型の講座開設や学校との連携で活用

… p 126

(6) 市民の調査・研究支援体制の強化援助

ア 情報活用アドバイザーとしてのレファレンス（相談・調査）サービスの充実… p 127

イ 中央図書館と分館および他市町村図書館との連携強化による情報活用の充実… p 128

ウ インターネット予約の推進… 129

《参考資料》

【教育に関連する安曇野市の各種計画等】

○第1次安曇野市総合計画（基本構想）（平成25年度～平成29年度）

○教育基本計画「安曇野市の教育」（平成25年度～平成27年度）

○安曇野市文化振興計画（平成23年度～平成29年度）

○生涯学習推進計画（平成27年度～平成29年度）

○図書館基本計画（平成21年度～平成29年度）

○スポーツ振興計画（平成23年度～平成29年度）

○人権教育・啓発推進計画（平成19年度～）

○学校給食理念（目標）

○子ども・子育て支援事業計画（平成27年度～平成31年度）

○環境基本計画（平成20年度～平成29年度）

○第2次男女共同参画計画（平成25年度～平成29年度）

○第3次情報化計画（平成26年度～平成28年度）

○安曇野市食育推進計画（第2次）（平成26年度～平成30年度）

○安曇野市農業・農村振興計画（平成24年度～平成28年度）

他

(様式1)

平成28年度・29年度 第1次安曇野市教育大綱 行動計画検証シート

項目	1 学校教育	所管課・係	学校教育課 教育指導室
1. 行動計画名	(1) 基礎学力向上のための指導の充実		
2. 個別施策名	ア 少人数学級や小集団学習の推進		
3. 平成28年度の取組み内容	・ 中学校への市費の学習支援員の配置 ・ 市費の特別支援学級支援員の配置 ・ 教育指導員による学力・体力向上に向けての取組		
4. 平成29年度の取組み内容 (実施予定を含む)	・ 中学校への市費の学習支援員の配置 ・ 市費の特別支援学級支援員の配置 ・ 教育指導員による学力・体力向上に向けての取組		
5. 施策推進による主な成果等 ※できるだけ数値等を記載	・ 全国学力テストで、小中共に国語、算数で全国平均、県平均を上回った。 ・ 多様な子どもたちに個別学習の対応をすることで集団としての安定をもたらした。		
6. 来年度以降の当該施策推進に向けての課題等	・ 県の加配について更に要望していきたい。		
7. 第2次教育大綱(H30~34年度)への記載の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし 【「なし」の理由】 ※経緯、法律・制度改正及び他の事業との統合等の理由を記載		
8. その他特記事項			

(様式1)

平成28年度・29年度 第1次安曇野市教育大綱 行動計画検証シート

項目	1 学校教育	所管課・係	学校教育課 学校教育係
1. 行動計画名	(1) 基礎学力向上のための指導の充実		
2. 個別施策名	イ ICTの活用などによる協働型・双方向型学習の推進		
3. 平成28年度 の取組み内容	教育用センターサーバの設置を完了し、情報ネットワークの高速化とセキュリティの強化を行いました。		
4. 平成29年度 の取組み内容 (実施予定を 含む)	・ 市内中学校全校の普通教室へ電子黒板を設置 ・ 試験導入として、一部中学校特別支援学級へのタブレット端末の整備。		
5. 施策推進に よる主な成果 等 ※できるだけ数 値等を記載	・ 各中学校で電子黒板操作研修会を開催し、機能等の理解をしていただき、分かりやすい授業への活用・工夫がなされている。 ・ 平成29年度整備台数：126台		
6. 来年度以降 の当該施策推 進に向けての 課題等	・ 第2期教育振興基本計画に示された、情報機器整備目標により電子黒板の導入、タブレット端末等の移動型パソコンの整備を検討する中で、平成30年度に示される次期学習指導要領による授業内容の変化に対応する準備が必要となる。		
7. 第2次教育 大綱 (H30～34 年度)への記載 の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし 【「なし」の理由】 ※経緯、法律・制度改正及び他の事業との統合等の理由を記載		
8. その他特記 事項			

(様式1)

平成28年度・29年度 第1次安曇野市教育大綱 行動計画検証シート

項目	1 学校教育	所管課・係	学校教育課 教育指導室
1. 行動計画名	(2) 学びあう姿勢・態度を育成するための指導の充実		
2. 個別施策名	ア 全領域の学習における主体的に学ぶ姿勢・態度の育成		
3. 平成28年度の取組み内容	・「学び合い」の公開研究授業の推進 ・指導主事の学校訪問による研修及び授業支援		
4. 平成29年度の取組み内容 (実施予定を含む)	・市町村の特色ある教育を支援する教員配置事業による「学び合いを中核とした授業改善と小中連携」公募 ・「学び合い」の公開研究授業の推進 ・指導主事の学校訪問による研修及び授業支援		
5. 施策推進による主な成果等 ※できるだけ数値等を記載	・一斉授業から、生徒同士の学び合いを意図的に取り入れる学習が増えてきた。		
6. 来年度以降の当該施策推進に向けての課題等	・中学校を中心に「学び合い」が進んでいるが、中学校区内の小中学校との連携につなげていきたい。		
7. 第2次教育大綱(H30~34年度)への記載の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし 【「なし」の理由】 ※経緯、法律・制度改正及び他の事業との統合等の理由を記載		
8. その他特記事項			

(様式1)

平成28年度・29年度 第1次安曇野市教育大綱 行動計画検証シート

項目	1 学校教育	所管課・係	学校教育課 教育指導室
1. 行動計画名	(2) 学びあう姿勢・態度を育成するための指導の充実		
2. 個別施策名	イ 総合的な学習の時間の充実		
3. 平成28年度の取組み内容	<ul style="list-style-type: none">・地域の課題解決に向けて考え合い、主体的に地域にかかわる題材の取組。・中学校では、学年ごとにテーマを決め出し、地域とかかわったり、地域の未来について考えたりした。		
4. 平成29年度の取組み内容 (実施予定を含む)	<ul style="list-style-type: none">・地域の課題解決に向けて考え合い、主体的に地域にかかわる題材の取組。・中学校では、学年ごとにテーマを決め出し、地域とかかわったり、地域の未来について考えたりした。・中学校では、地域の防災訓練に合同で参加する取り組みを広げる。		
5. 施策推進による主な成果等 ※できるだけ数値等を記載	<ul style="list-style-type: none">・地域の方とかかわる中で、自分ができることを発見したり、地域の力になれることを実感したりすることができた。		
6. 来年度以降の当該施策推進に向けての課題等	<ul style="list-style-type: none">・総合的な学習の時間の時数確保。・実践事例の共有。		
7. 第2次教育大綱(H30~34年度)への記載の必要性	<p><input checked="" type="checkbox"/>あり <input type="checkbox"/>なし 【「なし」の理由】 ※経緯、法律・制度改正及び他の事業との統合等の理由を記載</p>		
8. その他特記事項			

(様式1)

平成28年度・29年度 第1次安曇野市教育大綱 行動計画検証シート

項目	1 学校教育	所管課・係	学校教育課 教育指導室
1. 行動計画名	(2) 学びあう姿勢・態度を育成するための指導の充実		
2. 個別施策名	ウ キャリア教育の推進		
3. 平成28年度 の取組み内容	・地域で働く人の学習や自分の将来の夢等の学習を通して、成りたい自分を確かめたり、自分の将来就きたい職業を具体的に描いたりする。		
4. 平成29年度 の取組み内容 (実施予定を 含む)	・地域で働く人の学習や自分の将来の夢等の学習を通して、成りたい自分を確かめたり、自分の将来就きたい職業を具体的に描いたりする。		
5. 施策推進に よる主な成果 等 ※できるだけ数 値等を記載	・自分の夢や就きたい職業へ向けて学習に励んだり、技能を高めたりすることができた。		
6. 来年度以降 の当該施策推 進に向けての 課題等	・小中一貫の中で、成りたい自分とそのため自分の必要な学びを明確にした い。		
7. 第2次教育 大綱 (H30～34 年度)への記載 の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし 【「なし」の理由】 ※経緯、法律・制度改正及び他の事業との統合等の理由を記載		
8. その他特記 事項			

(様式1)

平成28年度・29年度 第1次安曇野市教育大綱 行動計画検証シート

項目	1 学校教育	所管課・係	学校教育課 学校教育係
1. 行動計画名	(2) 学びあう姿勢・態度を育成するための指導の充実		
2. 個別施策名	エ 地域の人たちがもつ優れた技能・知識と学校教育の連携強化		
3. 平成28年度 の取組み内容	・安曇野市スクールサポート事業において、地域の方々が学校支援ボランティアとして、市内全ての小中学校で活動している。		
4. 平成29年度 の取組み内容 (実施予定を 含む)	・平成29年度より「安曇野市コミュニティスクール(ACS)事業」として、これまでの取組みを継承しながら「たくましい安曇野の子ども」を育成するため、「開かれた学校づくり」から一歩踏み出し、どのような子どもたちを育てていくのか、何を実現していくのかという学校目標や願い、課題を地域の方々と理解、共有して、地域と一体となって地域の子どもたちを育む「地域とともにつくる学校」を目指していく。		
5. 施策推進による 主な成果等 ※できるだけ数 値等を記載	・平成28年度学校支援ボランティア延べ活動人数：1,558人 ・平成28年度事業申請件数：212件		
6. 来年度以降 の当該施策推 進に向けての 課題等	・学校支援ボランティアの名称を「学校応援隊」と改め、地域の方々が「ともに学ぶ学習者」としての位置付けを行い、活動の周知の拡大を図っていく。		
7. 第2次教育 大綱(H30~34 年度)への記載 の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし 【「なし」の理由】 ※経緯、法律・制度改正及び他の事業との統合等の理由を記載		
8. その他特記 事項			

(様式1)

平成28年度・29年度 第1次安曇野市教育大綱 行動計画検証シート

項目	1 学校教育	所管課・係	学校教育課 学校教育係
1. 行動計画名	〔小中学校共通の行動計画〕 (3) 特色ある学校づくりの推進		
2. 個別施策名	ア 地域に開かれた学校づくりの推進		
3. 平成28年度の取組み内容	安曇野市スクールサポート事業において、中学校区毎に地域教育協議会を設置し、その中で意見交換を行い小中学校の共通理解を図っている。		
4. 平成29年度の取組み内容 (実施予定を含む)	・平成29年度より「安曇野市コミュニティスクール(ACS)事業」として、これまでの取組みを継承しながら「たくましい安曇野の子ども」を育成するため、「開かれた学校づくり」から一步踏み出し、どのような子どもたちを育てていくのか、何を実現していくのかという学校目標や願い、課題を地域の方々と理解、共有して、地域と一体となって地域の子どもたちを育む「地域とともにつくる学校」を目指す。		
5. 施策推進による主な成果等 ※できるだけ数値等を記載	<ul style="list-style-type: none"> ・地域教育協議会を年2回(6月初旬・翌年2月下旬)に開催。 ・設置地域教育協議会:7校区 ・豊科南中地域教育協議会・豊科北中地域教育協議会・穂高東中地域教育協議会・穂高西中地域教育協議会・三郷地域教育協議会・堀金地域教育協議会・明科地域教育協議会 		
6. 来年度以降の当該施策推進に向けての課題等	・各地域教育協議会の開催回数を増やすことを関係団体と検討する。		
7. 第2次教育大綱(H30~34年度)への記載の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし 【「なし」の理由】 ※経緯、法律・制度改正及び他の事業との統合等の理由を記載		
8. その他特記事項			

(様式1)

平成28年度・29年度 第1次安曇野市教育大綱 行動計画検証シート

項目	1 学校教育	所管課・係	学校教育課 教育指導室
1. 行動計画名	(3) 特色ある学校づくりの推進		
2. 個別施策名	イ 児童・生徒が、高い志を持ち、共に学び合う学校づくりの推進		
3. 平成28年度の取組み内容	なし		
4. 平成29年度の取組み内容 (実施予定を含む)	なし		
5. 施策推進による主な成果等 ※できるだけ数値等を記載	なし		
6. 来年度以降の当該施策推進に向けての課題等	<ul style="list-style-type: none">・市町村の特色ある教育を支援する教員配置事業に「学び合いを中核とした授業改善と小中学校の連携」分野で小中学校各1名を公募。・三郷中学校や豊科北中学校、穂高西小学校の学び合いを小中連携に拡充していく。		
7. 第2次教育大綱(H30~34年度)への記載の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし 【「なし」の理由】 ※経緯、法律・制度改正及び他の事業との統合等の理由を記載 ・「学び合いを中核とした授業改善と小中連携の推進」に修正。		
8. その他特記事項			

(様式1)

平成28年度・29年度 第1次安曇野市教育大綱 行動計画検証シート

項目	1 学校教育	所管課・係	学校教育課 教育指導室
1. 行動計画名	(3) 特色ある学校づくりの推進		
2. 個別施策名	ウ 小学校・中学校の連携を強化した学校づくりの推進		
3. 平成28年度 の取組み内容	・なし		
4. 平成29年度 の取組み内容 (実施予定を 含む)	・市町村の特色ある教育を支援する教員配置事業で、「保小中の連携を強化した特色のある中学校区の学校づくり」分野に公募し、1名を小学校に配置。		
5. 施策推進に よる主な成果等 ※できるだけ数 値等を記載	・小学校に配置した1名は、学級担任の責務を担いながら、各種研修会に参加したり、学校間の情報共有を行ったりした。		
6. 来年度以降 の当該施策推 進に向けての 課題等	・小中学校の連携の役割において、担任や担当教科によって活動が制約されるので、配置については事前の検討が必要。市町村の特色ある教育を支援する教員配置事業で、「音楽を中心にした保小中の連携を強化した学校づくり」分野に公募。		
7. 第2次教育 大綱 (H30~34 年度)への記載 の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし 【「なし」の理由】 ※経緯、法律・制度改正及び他の事業との統合等の理由を記載 ・「保小中の連携を強化した学校づくりの推進」に修正。		
8. その他特記 事項			

(様式1)

平成28年度・29年度 第1次安曇野市教育大綱 行動計画検証シート

項目	1 学校教育	所管課・係	学校教育課 学校教育係
1. 行動計画名	(4) 英語教育の充実と実践		
2. 個別施策名	ア ALT、日本人外国語指導助手を活用した英語教育の充実と実践		
3. 平成28年度の取組み内容	中学校7校に各1人ずつの外国人ALTを配置。 小学校10校へは、日本人ALT2人と外国人ALTを4人配置し、外国語活動へ対応。		
4. 平成29年度の取組み内容 (実施予定を含む)	平成28年度と同様の体制を維持し、小中学校の英語教育の推進を図ってる。		
5. 施策推進による主な成果等 ※できるだけ数値等を記載	中学校においては、英語教諭とのTTを実施し、小学校では、外国語活動を1年生から6年生の全学年で実施し、英語教育の推進をしている。		
6. 来年度以降の当該施策推進に向けての課題等	新学習指導要領による英語教育に対応するための準備を進めるほか、小学校の英語教科化に伴う教職員研修会の実施等の対応を図っていく。		
7. 第2次教育大綱(H30~34年度)への記載の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし 【「なし」の理由】 ※経緯、法律・制度改正及び他の事業との統合等の理由を記載		
8. その他特記事項			

(様式1)

平成28年度・29年度 第1次安曇野市教育大綱 行動計画検証シート

項目	1 学校教育	所管課・係	学校教育課 学校教育係
1. 行動計画名	(4) 英語教育の充実と実践		
2. 個別施策名	イ 海外の生活習慣・文化を知る国際理解教育の推進		
3. 平成28年度の取組み内容	中学校で放課後を利用した「英語課外授業」を実施し、外国人ALTとの英会話によるコミュニケーションを取りながら、多文化や国際理解を進めている。		
4. 平成29年度の取組み内容 (実施予定を含む)	平成28年度同様に、各中学校で希望者による「英語課外授業」を実施する。 英語課外授業は各校年間24回を実施予定。		
5. 施策推進による主な成果等 ※できるだけ数値等を記載	平成28年度参加生徒総数：70人 平成29年度参加生徒総数：69人		
6. 来年度以降の当該施策推進に向けての課題等	学校の状況により、参加希望者が多く抽選や面談を行っていることや、年間開催回数が24回は多いとの意見もあるため、授業クラス数や開催回数等の検討を関係機関と図っていく。		
7. 第2次教育大綱(H30~34年度)への記載の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし 【「なし」の理由】 ※経緯、法律・制度改正及び他の事業との統合等の理由を記載		
8. その他特記事項			

(様式1)

平成28年度・29年度 第1次安曇野市教育大綱 行動計画検証シート

項目	1 学校教育	所管課・係	学校教育課 学校教育係
1. 行動計画名	(4) 英語教育の充実と実践		
2. 個別施策名	ウ 海外ホームステイ事業の実施		
3. 平成28年度の取組み内容	・市内中学校の2年生14人が、オーストラリアメルボルンでホームステイを行い、海外の文化や英会話を直に体験し、その体験を帰国報告会や各校で開催する学校報告会で市民、在校生に伝えることで、英語教育の意識向上や国際理解の推進が図られている。		
4. 平成29年度の取組み内容 (実施予定を含む)	・平成28年度同様に実施を予定。 ・実施期間：平成30年3月17日(土)～3月26日(月) ・渡航先：オーストラリアメルボルン ・参加生徒：市内中学校在学の2年生14人		
5. 施策推進による主な成果等 ※できるだけ数値等を記載	・平成28年度参加応募生徒数：54人(市内中学2年生：963人) ・平成29年度参加応募生徒数：54人(市内中学2年生：901人) ・平成29年度帰国報告会参加者数：およそ100人(平成28年度事業報告会)		
6. 来年度以降の当該施策推進に向けての課題等	・参加人数に制限があるため、選考により参加生徒を決定している。参加人数を拡大できるかは今後の課題となる。また、個人負担金における市補助額が、個人経費の2/3近くであるため、見直しを行う必要もある。		
7. 第2次教育大綱(H30～34年度)への記載の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし 【「なし」の理由】 ※経緯、法律・制度改正及び他の事業との統合等の理由を記載		
8. その他特記事項			

(様式1)

平成28年度・29年度 第1次安曇野市教育大綱 行動計画検証シート

項目	1 学校教育	所管課・係	学校教育課 学校教育係
1. 行動計画名	(5) 児童・生徒の就学支援活動の推進		
2. 個別施策名	ア スクールサポート事業の展開による学校支援プログラムでの支援活動の推進及び安曇野市ならではの信州型コミュニティスクールの構築		
3. 平成28年度の取組み内容	・平成28年度安曇野市スクールサポート事業の実行委員会、地域教育協議会等での協議及び教育委員会、校長会での検討を行い、信州型コミュニティスクールを範とした「安曇野市コミュニティスクール(ACS)事業」への変更を決定した。		
4. 平成29年度の取組み内容 (実施予定を含む)	・平成29年度より「安曇野市コミュニティスクール(ACS)事業」として、これまでの取組みを継承しながら「たくましい安曇野の子ども」を育成するため、「開かれた学校づくり」から一步踏み出し、どのような子どもたちを育てていくのか、何を実現していくのかという学校目標や願い、課題を地域の方々と理解、共有して、地域と一体となって地域の子どもたちを育む「地域とともにつくる学校」を目指していく。		
5. 施策推進による主な成果等 ※できるだけ数値等を記載	・各地域や関係者の意識の向上が見られており、「地域とととにつくる学校」「地域に根差した魅力ある学校」への理解が進んでいる。		
6. 来年度以降の当該施策推進に向けての課題等	・地域の方々への事業の周知や理解を図っていく。		
7. 第2次教育大綱(H30~34年度)への記載の必要性	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし 【「なし」の理由】 ※経緯、法律・制度改正及び他の事業との統合等の理由を記載 ・安曇野市スクールサポート事業実施要綱の改正を行い、安曇野市コミュニティスクール事業実施要綱を施行。既に、新体制での事業を推進している。		
8. その他特記事項			

(様式1)

平成28年度・29年度 第1次安曇野市教育大綱 行動計画検証シート

項目	1 学校教育	所管課・係	学校教育課 教育指導室
1. 行動計画名	(5) 児童・生徒の就学支援活動の推進		
2. 個別施策名	イ 特別支援教育の充実		
3. 平成28年度の取組み内容	・市費の支援員66名を配置。 ・特別支援コーディネーター連絡会を隔月で開催し、情報交換及び研修実施。		
4. 平成29年度の取組み内容 (実施予定を含む)	・市費の支援員64名を配置。 ・特別支援コーディネーター連絡会を隔月で開催し、情報交換及び研修実施。		
5. 施策推進による主な成果等 ※できるだけ数値等を記載	・支援員の配置により特別支援学級、通常学級で個別支援が必要な子に適切な対応ができた。 ・担任と支援員の連携によって児童生徒の成長に寄与。 ・特別支援コーディネーターが子ども、保護者に適切な対応を行ったり、支援会議を設けたりすることができた。		
6. 来年度以降の当該施策推進に向けての課題等	・支援員の児童生徒への適切なかかわり方の研修や効果的な学校体制の整備。		
7. 第2次教育大綱(H30～34年度)への記載の必要性	☑あり ☐なし 【「なし」の理由】 ※経緯、法律・制度改正及び他の事業との統合等の理由を記載		
8. その他特記事項			

(様式1)

平成28年度・29年度 第1次安曇野市教育大綱 行動計画検証シート

項目	1 学校教育	所管課・係	学校教育課 教育指導室
1. 行動計画名	(5) 児童・生徒の就学支援活動の推進		
2. 個別施策名	ウ 障がいをもつ児童・生徒の就学支援活動の推進		
3. 平成28年度の取組み内容	なし		
4. 平成29年度の取組み内容 (実施予定を含む)	なし		
5. 施策推進による主な成果等 ※できるだけ数値等を記載	なし		
6. 来年度以降の当該施策推進に向けての課題等	なし		
7. 第2次教育大綱(H30~34年度)への記載の必要性	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし 【「なし」の理由】 ※経緯、法律・制度改正及び他の事業との統合等の理由を記載 ・「キ 就学相談委員会の充実」に統合。		
8. その他特記事項			

(様式1)

平成28年度・29年度 第1次安曇野市教育大綱 行動計画検証シート

項目	1 学校教育	所管課・係	学校教育課 教育指導室
1. 行動計画名	(5) 児童・生徒の就学支援活動の推進		
2. 個別施策名	エ いじめ防止、不登校児童・生徒への支援体制の強化及び中間教室等の活用と充実		
3. 平成28年度の取組み内容	<ul style="list-style-type: none">・スクールソーシャルワーカー、不登校支援コーディネーターの配置。・市教育支援センター適応指導教室の開設及び適応指導員の配置。・校内中間教室適応指導員の配置。		
4. 平成29年度の取組み内容 (実施予定を含む)	<ul style="list-style-type: none">・スクールソーシャルワーカー、不登校支援コーディネーターの配置。・市教育支援センター適応指導教室の運営及び適応指導員の配置。・校内中間教室適応指導員の全小中学校への配置。		
5. 施策推進による主な成果等 ※できるだけ数値等を記載	<ul style="list-style-type: none">・市適応指導教室において、在籍が最も多かった学年は中学2年生10名、次いで中学3年生9名。そのうち中学3年生で学校復帰できた生徒は7名。・市適応指導教室で精神的にも学力面でも力をつけ、児童生徒の一時的な適応機関として学校及び保護者に認知され、支援の選択肢として定着しつつある。		
6. 来年度以降の当該施策推進に向けての課題等	<ul style="list-style-type: none">・市適応指導教室やスクールソーシャルワーカーの働きを学校の特別支援コーディネーターや校内適応指導教室の機能向上へつなげたい		
7. 第2次教育大綱(H30～34年度)への記載の必要性	<p><input checked="" type="checkbox"/>あり <input type="checkbox"/>なし 【「なし」の理由】 ※経緯、法律・制度改正及び他の事業との統合等の理由を記載</p>		
8. その他特記事項			

(様式1)

平成28年度・29年度 第1次安曇野市教育大綱 行動計画検証シート

項目	1 学校教育	所管課・係	学校教育課 教育指導室
1. 行動計画名	(5) 児童・生徒の就学支援活動の推進		
2. 個別施策名	オ 教育相談の活用と充実		
3. 平成28年度の取組み内容	<ul style="list-style-type: none">・市教育支援センター内に教育相談室を開設。教育相談員常勤1名、非常勤3名を配置し、不登校、引きこもり、発達障がい、学校生活、進路、子育て全般、しつけ等についての教育相談活動（電話相談及び面接相談）を実施。・教育指導員による学校、各機関との連携に向けた保護者の教育相談実施。		
4. 平成29年度の取組み内容（実施予定を含む）	<ul style="list-style-type: none">・市教育支援センター内の教育相談室で、教育相談活動（電話相談及び面接相談）を実施。・教育指導員による学校、各機関との連携に向けた保護者の教育相談実施と支援会議への出席。		
5. 施策推進による主な成果等 ※できるだけ数値等を記載	<ul style="list-style-type: none">・来室者281名。相談の主訴として、学校・園の生活212件、性格行動184件、発達障がい59件等。指導・支援の具体的な方法や家庭生活での子どもへの接し方、子育てのポイントが分かり、ありがたいという声が多数。		
6. 来年度以降の当該施策推進に向けての課題等	<ul style="list-style-type: none">・子ども支援課と連携し、認定こども園への支援方法の助言を行ったり、関係機関と連携して課題解決につなげたりするなどの役割が一層求められる。		
7. 第2次教育大綱（H30～34年度）への記載の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし 【「なし」の理由】 ※経緯、法律・制度改正及び他の事業との統合等の理由を記載		
8. その他特記事項			

(様式1)

平成28年度・29年度 第1次安曇野市教育大綱 行動計画検証シート

項目	1 学校教育	所管課・係	学校教育課 教育指導室
1. 行動計画名	(5) 児童・生徒の就学支援活動の推進		
2. 個別施策名	カ 学校教育指導員・心の相談員の配置		
3. 平成28年度の取組み内容	なし		
4. 平成29年度の取組み内容 (実施予定を含む)	なし		
5. 施策推進による主な成果等 ※できるだけ数値等を記載	なし		
6. 来年度以降の当該施策推進に向けての課題等	なし		
7. 第2次教育大綱(H30~34年度)への記載の必要性	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし 【「なし」の理由】 ※経緯、法律・制度改正及び他の事業との統合等の理由を記載 ・心の相談員の配置なし。学校教育指導員は、「才 教育相談の活用と充実」に統合。		
8. その他特記事項			

(様式1)

平成28年度・29年度 第1次安曇野市教育大綱 行動計画検証シート

項目	1 学校教育	所管課・係	学校教育課 教育指導室
1. 行動計画名	(5) 児童・生徒の就学支援活動の推進		
2. 個別施策名	キ 就学相談委員会の充実		
3. 平成28年度の取組み内容	<ul style="list-style-type: none">・市就学相談本委員会年3回、小委員会年10回、小中学校1年に入学した児童生徒の経過観察年1回、計91名。・就学判定数 幼児、児童、生徒計159名。・教育指導員の配置による運営。		
4. 平成29年度の取組み内容 (実施予定を含む)	<ul style="list-style-type: none">・市就学相談本委員会年3回、小委員会年10回、小中学校1年に入学した児童生徒の経過観察年1回。・教育指導員の配置による運営。		
5. 施策推進による主な成果等 ※できるだけ数値等を記載	・適切な就学支援を行うことができた。		
6. 来年度以降の当該施策推進に向けての課題等	・就学判定数が激増したり、年中からの相談も増えたりするために事務量の増加や調査員の人員不足への対応が必要。		
7. 第2次教育大綱(H30~34年度)への記載の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし 【「なし」の理由】 ※経緯、法律・制度改正及び他の事業との統合等の理由を記載		
8. その他特記事項			

(様式1)

平成28年度・29年度 第1次安曇野市教育大綱 行動計画検証シート

項目	学校教育	所管課・係	学校教育課 学校給食担当
1. 行動計画名	(6) 食育の推進		
2. 個別施策名	ア 地産地消の推進		
3. 平成28年度の取組み内容	・月1回「安曇野の日」を設定し、安曇野産の食材を多く使用した献立による給食の提供を行った。 ・JA、地元直売所等との連携により、旬の野菜・果物等の利用を図った。		
4. 平成29年度の取組み内容 (実施予定を含む)	・同上 ・5代目「わさびコロケ」のキャラクター募集を行った。		
5. 施策推進による主な成果等 ※できるだけ数値等を記載	・「安曇野の日」が各学校に定着し、地元食材（県内産）の使用を優先した献立への理解が広がっている。（各センター年12回） ・5代目「わさびコロケ」のキャラクター募集には、市内児童・生徒から1,958点応募（前回1,616点）があった。		
6. 来年度以降の当該施策推進に向けての課題等	特になし		
7. 第2次教育大綱（H30～34年度）への記載の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし 【「なし」の理由】 ※経緯、法律・制度改正及び他の事業との統合等の理由を記載		
8. その他特記事項			

(様式1)

平成28年度・29年度 第1次安曇野市教育大綱 行動計画検証シート

項目	学校教育	所管課・係	学校教育課 学校給食担当
1. 行動計画名	(6) 食育の推進		
2. 個別施策名	イ 食文化の伝統伝承		
3. 平成28年度の 取組み内容	・ 郷土食、行事食などを給食の献立に反映させた。 ・ 安曇野市と縁のある中村屋カリーの味を学校給食で提供した。 ・ 栄養教諭等の学校訪問を通じた食育の推進。 ・ 試食会等により保護者への学校給食の理解を深めた。 ・ 給食だより等の発行		
4. 平成29年度の 取組み内容 (実施予定を 含む)	・ 同上		
5. 施策推進に よる主な成果 等 ※できるだけ数 値等を記載	・ 安曇野市学校給食理念(目標)を基本に、年間を通し安全・安心で栄養バランスのとれた給食の提供ができた。地元食材の利用の促進や食育(栄養・食事のバランス、食の大切さ等)についての推進も積極的に行った。		
6. 来年度以降 の当該施策推 進に向けての 課題等	特になし		
7. 第2次教育 大綱(H30~34 年度)への記載 の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし 【「なし」の理由】 ※経緯、法律・制度改正及び他の事業との統合等の理由を記載		
8. その他特記 事項			

(様式1)

平成28年度・29年度 第1次安曇野市教育大綱 行動計画検証シート

項目	学校教育	所管課・係	学校教育課 教育総務係
1. 行動計画名	(6) 食育の推進		
2. 個別施策名	ウ 食農教育の充実又は実践などによる食を考える教育の推進		
3. 平成28年度の 取り組み内容	<p>【小・中学校での主な取組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校の田畑を活用した農作物の栽培・収穫・調理実習等を行う教育ファームを実施 ・食育指導年間計画により、家庭科の授業で食育を指導 ・給食便りによる保護者への食育の啓発 ・保健便りによる食物による生活習慣病予防の啓発 ・生徒の生活調査等から「早寝・早起き・あさごはん」を呼びかける内容の保健だよりを配布。また、血液検査結果から必要な児童に受診勧奨 		
4. 平成29年度の 取り組み内容 (実施予定を 含む)	<ul style="list-style-type: none"> ・上記取組みを個別メニューを変えながら継続 <p>【新規事業(個別)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・給食センターの栄養士との連携を図り、給食をより一層学習に生かす。(T小学校) ・学年、学級通信、学校だよりで、家族そろっての食事やマナーについて呼びかける。(T小学校) ・冬季にはかぜ予防に効果的な食べ物を紹介する。(H小学校) ・弁当の日について学び、どんな活動をするのか検討し実施する。(A小学校) 		
5. 施策推進による 主な成果等 ※できるだけ数 値等を記載	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒・保護者の食に対する意識の向上 ・自ら農作物を栽培・収穫する喜びの習得 ・子どもの基本的な生活習慣の形成 ・食育を通じた健康状態の改善等 		
6. 来年度以降の 当該施策推進 に向けての 課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・国の第3次食育推進基本計画の施策に沿った見直し ・市第2次食育推進計画(H30~34)への対応 		
7. 第2次教育 大綱(H30~34 年度)への記載 の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし 【「なし」の理由】 ※経緯、法律・制度改正及び他の事業との統合等の理由を記載		
8. その他特記 事項			

(様式1)

平成28年度・29年度 第1次安曇野市教育大綱 行動計画検証シート

項目	1 学校教育	所管課・係	学校教育課 学校教育係
1. 行動計画名	(7) 学校、家庭、地域との連携による教育体制の充実		
2. 個別施策名	ア 地域教育協議会による学校運営の理解と参画、学校支援や学校自己評価の活用		
3. 平成28年度の取組み内容	・地域教育協議会における協議事項として、学校運営の理解(参画)、学校支援、学校自己評価については、参加委員の意見も聞きながら協議し共通理解を図っている。		
4. 平成29年度の取組み内容(実施予定を含む)	・平成29年度より「安曇野市コミュニティスクール(ACS)事業」として、これまでの取組みを継承しながら「たくましい安曇野の子ども」を育成するため、「開かれた学校づくり」から一歩踏み出し、どのような子どもたちを育てていくのか、何を実現していくのかという学校目標や願い、課題を地域の方々と理解、共有して、地域と一体となって地域の子どもたちを育む「地域とともにつくる学校」を目指していく。		
5. 施策推進による主な成果等 ※できるだけ数値等を記載	・中学校区毎に組織する地域教育協議会では、小中学校の校長が委員として参加するほか、地域コーディネーター、各地域の区長会代表者、PTA代表者等の委員も参加しており、活発な意見交換を行い共通理解が深められている。		
6. 来年度以降の当該施策推進に向けての課題等	・校区の小中学校から中学校への9年間の子どもたちの育成が継続的にできる学校運営方針等の統一性を図っていく。		
7. 第2次教育大綱(H30~34年度)への記載の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし 【「なし」の理由】 ※経緯、法律・制度改正及び他の事業との統合等の理由を記載		
8. その他特記事項			

(様式1)

平成28年度・29年度 第1次安曇野市教育大綱 行動計画検証シート

項目	1 学校教育	所管課・係	学校教育課 教育指導室
1. 行動計画名	(7) 学校、家庭、地域との連携による教育体制の充実		
2. 個別施策名	イ 『家庭学習のすすめ』や各校の『家庭学習の手引き』の活用による家庭学習の充実と自ら学ぶ態度の形成		
3. 平成28年度 の取組み内容	・H26 から改善委員会で内容を検討し整理・改善した「家庭学習のすすめ」を新1年生の全家庭へ配布。		
4. 平成29年度 の取組み内容 (実施予定を 含む)	・各校で充実した「家庭学習の手引き」を作成している中で、「家庭学習のすすめ」の内容改善について検討し、新1年生の全家庭へ配布。		
5. 施策推進に よる主な成果 等 ※できるだけ数 値等を記載	・家庭学習についての基本的理念や児童生徒の発達段階に応じた支援の仕方などを学校と家庭で共有することができた。		
6. 来年度以降 の当該施策推 進に向けての 課題等	・自分に必要な学習を自分自身で計画的に行えるようになるために、さらに学校と家庭で連携を図っていきたい。 ・全家庭への周知はできたので、今後は新1年生の全家庭への配布に替えてHPでの掲載を実施予定。		
7. 第2次教育 大綱 (H30～34 年度)への記載 の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし 【「なし」の理由】 ※経緯、法律・制度改正及び他の事業との統合等の理由を記載		
8. その他特記 事項			

(様式1)

平成28年度・29年度 第1次安曇野市教育大綱 行動計画検証シート

項目	1 学校教育	所管課・係	学校教育課 学校教育係
1. 行動計画名	(8) 子どもの安全確保策の充実		
2. 個別施策名	ア 子どもを守る安心の家、子ども安全パトロール隊の充実		
3. 平成28年度の 取り組み内容	安心の家については、通学路安全マップの作成時に各学校へ確認し、校正を行い公表している。また、子ども安全については、平成28年度に穂高南小学校に「安全見守り隊」が組織された。		
4. 平成29年度の 取り組み内容 (実施予定を 含む)	・平成28年度と同様に、通学路安全マップの作成及び公表を進めるほか、市内小中学校で活動する子ども安全見守り隊等の支援を行う。		
5. 施策推進に よる主な成果 等 ※できるだけ数 値等を記載	・通学路安全マップの関係機関への配布や公表等により、市民への通学路注意箇所等の周知が進んでおり、新規の安全見守り隊等の組織化が図られている。		
6. 来年度以降 の当該施策推 進に向けての 課題等	・安心の家の設置については、学校と所轄警察署との事務となるため、地域(区長)等と学校の連携が必要となる。		
7. 第2次教育 大綱(H30~34 年度)への記載 の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし 【「なし」の理由】 ※経緯、法律・制度改正及び他の事業との統合等の理由を記載		
8. その他特記 事項			

(様式1)

平成28年度・29年度 第1次安曇野市教育大綱 行動計画検証シート

項目	1 学校教育	所管課・係	学校教育課 学校教育係
1. 行動計画名	(8) 子どもの安全確保策の充実		
2. 個別施策名	イ 青色パトロールカーを使った巡回による安全確保の推進		
3. 平成28年度の 取り組み内容	・青色防犯パトロールは、市とPTA 連合会等が契約を結び、PTA 活動として実施している。青色パトロールカーを運行するためには、「パトロール実施者証」が必要なため、警察と連携し講習会を開催している。		
4. 平成29年度の 取り組み内容 (実施予定を 含む)	・平成28年度と同様に、各小中学校PTA、警察と連携し、パトロール活動が推進できるように支援を行う。		
5. 施策推進に よる主な成果 等 ※できるだけ数 値等を記載	・PTA（保護者）の通学路に対する安全意識は高くなっている。		
6. 来年度以降 の当該施策推 進に向けての 課題等	・新入学児童・生徒の保護者で、パトロール実施者証を交付されていない方が当番制でパトロールに出る場合があるとの問い合わせがあるため、講習会の開催時期を4月以前に実施できるかを検討する必要がある。		
7. 第2次教育 大綱（H30～34 年度）への記載 の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし 【「なし」の理由】 ※経緯、法律・制度改正及び他の事業との統合等の理由を記載		
8. その他特記 事項			

(様式1)

平成28年度・29年度 第1次安曇野市教育大綱 行動計画検証シート

項目	1 学校教育	所管課・係	学校教育課 学校教育係
1. 行動計画名	(8) 子どもの安全確保策の充実		
2. 個別施策名	ウ 地域での子どもの安全を守る関係団体との連携強化		
3. 平成28年度の の取り組み内容	・通学路の継続的な安全確保の取り組みとして、「安曇野市通学路交通安全プログラム」により、地区・PTA 要望として提出された通学路危険箇所を警察、道路管理者、学校、地域の方々と点検し、改善等の対応をしている。		
4. 平成29年度 の取り組み内容 (実施予定を 含む)	・平成28年度同様に、通学路合同点検等により子どもの安全確保を推進する。		
5. 施策推進に よる主な成果 等 ※できるだけ数 値等を記載	・通学路合同点検箇所：23箇所（平成28年度） ・通学路標識等設置枚数：9枚（平成28年度）		
6. 来年度以降 の当該施策推 進に向けての 課題等	特になし		
7. 第2次教育 大綱（H30～34 年度）への記載 の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし 【「なし」の理由】 ※経緯、法律・制度改正及び他の事業との統合等の理由を記載		
8. その他特記 事項			

(様式1)

平成28年度・29年度 第1次安曇野市教育大綱 行動計画検証シート

項目	1 学校教育	所管課・係	学校教育課 学校教育係
1. 行動計画名	(9) 防災活動拠点としての学校のあり方の検討		
2. 個別施策名	ア 防災教育の推進		
3. 平成28年度の 取り組み内容	・長野県教育委員会の進める防災教育を中心とした実践的安全教育総合支援事業に取り組み、児童・生徒が状況に応じた的確な判断の下、冷静かつ迅速な退避行動を主体的にとることができるように、緊急地震速報器の設置や学校防災アドバイザーを派遣しての防災教育を推進している。		
4. 平成29年度の 取り組み内容 (実施予定を 含む)	・平成28年度同様に、実践的安全教育総合支援事業に取り組み、各小中学校が様々な教育活動における防災教育のあり方について、検討できるようにしていく。		
5. 施策推進による 主な成果等 ※できるだけ数 値等を記載	・平成28年度参加校：5校（小学校3校・中学校2校） ・平成29年度参加校：10校（小学校7校・中学校3校）		
6. 来年度以降の 当該施策推進 に向けての 課題等	・学校が主体性を持って、この事業に参加するように支援を図っていく必要がある。		
7. 第2次教育 大綱（H30～34 年度）への記載 の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし 【「なし」の理由】 ※経緯、法律・制度改正及び他の事業との統合等の理由を記載		
8. その他特記 事項			

(様式1)

平成28年度・29年度 第1次安曇野市教育大綱 行動計画検証シート

項目	1 学校教育	所管課・係	学校教育課 学校教育係
1. 行動計画名	(9) 防災活動拠点としての学校のあり方の検討		
2. 個別施策名	イ 状況に応じた避難訓練の実施		
3. 平成28年度の取組み内容	・長野県教育委員会の進める防災教育を中心とした実践的安全教育総合支援事業に取り組み、緊急地震速報受信機の設置及び受信機を利用した避難訓練を通じ、児童・生徒が自ら考え主体的に退避行動をとる能力を養うとともに、災害に適切に対応する能力の基礎を身に付ける防災教育を推進している。		
4. 平成29年度の取組み内容 (実施予定を含む)	・平成28年度同様に、実践的安全教育総合支援事業に取り組み、各小中学校が様々な教育活動における防災教育のあり方について検討できるようにしている。		
5. 施策推進による主な成果等 ※できるだけ数値等を記載	・平成26年度設置校3校(小学校2校・中学校1校) ・平成27年度設置校1校(中学校1校) ・平成28年度設置校4校(小学校3校・中学校1校) ・平成29年度設置予定校5校(小学校4校・中学校1校)		
6. 来年度以降の当該施策推進に向けての課題等	・県の事業として、機器の設置及び情報配信期間の5年間は、市町村の経費負担はありませんが、5年経過後も活用していく場合は、更新等に掛かる経費を予算計上する必要がある。		
7. 第2次教育大綱(H30~34年度)への記載の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし 【「なし」の理由】 ※経緯、法律・制度改正及び他の事業との統合等の理由を記載		
8. その他特記事項			

(様式1)

平成28年度・29年度 第1次安曇野市教育大綱 行動計画検証シート

項目	1 学校教育	所管課・係	学校教育課 学校教育係
1. 行動計画名	(9) 防災活動拠点としての学校のあり方の検討		
2. 個別施策名	ウ 学校備蓄品の確保		
3. 平成28年度 の取組み内容	・安曇野市防災計画により、関係課と連携して進めている。		
4. 平成29年度 の取組み内容 (実施予定を 含む)	・平成28年度同様に、計画に沿った事業を推進する。		
5. 施策推進に よる主な成果 等 ※できるだけ数 値等を記載	特になし		
6. 来年度以降 の当該施策推 進に向けての 課題等	・現在、災害時に頭を守る防災ずきん等を児童・生徒が持っていないため、それに代わるものを学校等に備蓄するかの検討が必要である。		
7. 第2次教育 大綱 (H30~34 年度)への記載 の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし 【「なし」の理由】 ※経緯、法律・制度改正及び他の事業との統合等の理由を記載		
8. その他特記 事項			

(様式1)

平成28年度・29年度 第1次安曇野市教育大綱 行動計画検証シート

項目	1 学校教育	所管課・係	学校教育課 学校庶務担当	
1. 行動計画名	(9) 防災活動拠点としての学校のあり方の検討			
2. 個別施策名	エ 学校施設の耐震化（体育館等非構造部材等）の推進			
3. 平成28年度 の取組み内容	単位：千円			
	実施場所		工事請負費	主な内容
	豊科南小学校 体育館		54,000	<ul style="list-style-type: none"> ・ 吊り天井撤去 ・ 高天井照明の耐震化 ・ 高天井照明のLED化
	穂高南小学校 講堂		102,600	
	穂高東中学校 体育館		128,520	
	三郷中学校 講堂		79,920	
三郷小学校 第2体育館(Ⅱ期)		48,006		
4. 平成29年度 の取組み内容 (実施予定を 含む)	単位：千円			
	実施場所		工事請負費	主な内容
	三郷小学校 第1体育館		33,480	<ul style="list-style-type: none"> ・ 吊り天井撤去 ・ 高天井照明の耐震化 ・ 高天井照明のLED化
	明南小学校 体育館		41,462	
	穂高西中学校 体育館		91,800	
堀金中学校 体育館		54,000		
5. 施策推進による 主な成果等 ※できるだけ数 値等を記載	<p>■対策実施状況（平成29年4月1日現在）</p> <p>全対象数23棟のうち対策実施済12棟（52%）</p>			
6. 来年度以降 の当該施策推 進に向けての 課題等	■対策実施計画			
	年度	実施棟数	実施率（%）	備考
	平成29年度	4	70	
	平成30年度	4	87	吊り天井 ^(※1) 対策完了
平成31年度	3	100		
※1 高さ6m超又は水平投影面積200㎡超の天井（文科省指針）				
7. 第2次教育 大綱（H30～34 年度）への記載 の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし 【「なし」の理由】 ※経緯、法律・制度改正及び他の事業との統合等の理由を記載			
8. その他特記 事項				

(様式1)

平成28年度・29年度 第1次安曇野市教育大綱 行動計画検証シート

項目	1 学校教育	所管課・係	学校教育課 教育指導室
1. 行動計画名	〔小学校教育の行動計画〕(1) 児童の育成		
2. 個別施策名	ア 学校内外の生活体験に基づき、人と人との相互関係を正しく理解し協働できる、自主・自律の精神を養うこと		
3. 平成28年度の取組み内容	・各教科の指導及び道徳、特活等で、友だちを大切にしたり、お互いに協力したりすることなどの生活の基礎を学習した。 ・校外学習や地域に関する学習を通して、地域のよさやそこで生活する人々の思い等を学習した。		
4. 平成29年度の取組み内容(実施予定を含む)	・各教科の指導及び道徳、特活等で、友だちを大切にしたり、お互いに協力したりすることなどの生活の基礎を学習した。 ・校外学習や地域に関する学習を通して、地域のよさやそこで生活する人々の思い等を学習した。		
5. 施策推進による主な成果等 ※できるだけ数値等を記載	・あいさつや返事を素直に交わすことのできる子、友だちと協力し、自分で考えて力を発揮できる子が育っている。		
6. 来年度以降の当該施策推進に向けての課題等	・社会の多様化の中、学校における教育内容が増大しており、自主・自律を育むための体験学習や自分を見つめ、考えるための時間の確保が難しくなっている。		
7. 第2次教育大綱(H30~34年度)への記載の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし 【「なし」の理由】 ※経緯、法律・制度改正及び他の事業との統合等の理由を記載		
8. その他特記事項			

(様式1)

平成28年度・29年度 第1次安曇野市教育大綱 行動計画検証シート

項目	1 学校教育	所管課・係	学校教育課 教育指導室
1. 行動計画名	〔小学校教育の行動計画〕(1) 児童の育成		
2. 個別施策名	イ 郷土の伝統・文化に進んで関わり、正しく理解すること		
3. 平成28年度 の取組み内容	・社会科や総合的な学習の時間で自分が住んでいる地域の学習をしたり、地域の行事や体験活動等に参加したりする。		
4. 平成29年度 の取組み内容 (実施予定を 含む)	・社会科や総合的な学習の時間で自分が住んでいる地域の学習をしたり、地域の行事や体験活動等に参加したりする。		
5. 施策推進に よる主な成果 等 ※できるだけ数 値等を記載	・地域のよさを体得したり、伝統や文化を知ったりすることにつながった。		
6. 来年度以降 の当該施策推 進に向けての 課題等	・体験したり、学習したりしたことが、卒業後の地域での就労につながるような方策を考えたい。		
7. 第2次教育 大綱(H30~34 年度)への記載 の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし 【「なし」の理由】 ※経緯、法律・制度改正及び他の事業との統合等の理由を記載		
8. その他特記 事項			

(様式1)

平成28年度・29年度 第1次安曇野市教育大綱 行動計画検証シート

項目	1 学校教育	所管課・係	学校教育課 教育指導室
1. 行動計画名	〔小学校教育の行動計画〕(1) 児童の育成		
2. 個別施策名	ウ 進んで国際協調の精神を養うこと		
3. 平成28年度の取組み内容	・各校にALTを派遣し、英語授業において担任とのチームティーチングで教えたり、直に英語に触れる機会を設けたりした。		
4. 平成29年度の取組み内容 (実施予定を含む)	・各校にALTを派遣し、英語授業において担任とのチームティーチングで教えたり、直に英語に触れる機会を設けたりした。		
5. 施策推進による主な成果等 ※できるだけ数値等を記載	・子どもたちの国際的視野の育成やコミュニケーション能力の素地を養い、英語教育の推進につながった。		
6. 来年度以降の当該施策推進に向けての課題等	・小学校中学年、高学年の英語の教科化に伴う時数確保やALTの増員。		
7. 第2次教育大綱(H30~34年度)への記載の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし 【「なし」の理由】 ※経緯、法律・制度改正及び他の事業との統合等の理由を記載		
8. その他特記事項			

(様式1)

平成28年度・29年度 第1次安曇野市教育大綱 行動計画検証シート

項目	1 学校教育	所管課・係	学校教育課 教育指導室
1. 行動計画名	〔小学校教育の行動計画〕(1) 児童の育成		
2. 個別施策名	エ 生活を営む上で必要な衣、食、住について理解し、基礎的な技能を養うこと		
3. 平成28年度の取組み内容	・小学校の各教科及び道徳、特活等のすべての教育活動を通して育む。		
4. 平成29年度の取組み内容 (実施予定を含む)	・小学校の各教科及び道徳、特活等のすべての教育活動を通して育む。		
5. 施策推進による主な成果等 ※できるだけ数値等を記載	・1年生から6年生までの各学年の発達段階に応じて、成長しながら生きていくために必要な基礎的な技能を獲得することができた。		
6. 来年度以降の当該施策推進に向けての課題等	・社会の多様化に伴い、教育内容も増大する中で、各学年児童の発達段階に合わせた体験的な学習の機会が減少している。		
7. 第2次教育大綱(H30~34年度)への記載の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし 【「なし」の理由】 ※経緯、法律・制度改正及び他の事業との統合等の理由を記載		
8. その他特記事項			

(様式1)

平成28年度・29年度 第1次安曇野市教育大綱 行動計画検証シート

項目	1 学校教育	所管課・係	学校教育課 教育指導室
1. 行動計画名	〔小学校教育の行動計画〕(1) 児童の育成		
2. 個別施策名	オ 国語を、正しく理解し使用する能力を養うこと		
3. 平成28年度の取組み内容	なし		
4. 平成29年度の取組み内容 (実施予定を含む)	なし		
5. 施策推進による主な成果等 ※できるだけ数値等を記載	なし		
6. 来年度以降の当該施策推進に向けての課題等	なし		
7. 第2次教育大綱(H30~34年度)への記載の必要性	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし 【「なし」の理由】 ※経緯、法律・制度改正及び他の事業との統合等の理由を記載 ・生活を営む上で必要な衣食住について理解し、基礎的な技能を養うことに統合。		
8. その他特記事項			

(様式1)

平成28年度・29年度 第1次安曇野市教育大綱 行動計画検証シート

項目	1 学校教育	所管課・係	学校教育課 教育指導室
1. 行動計画名	〔小学校教育の行動計画〕(1) 児童の育成		
2. 個別施策名	力 数と量との関係を、正しく理解し処理する能力を養うこと		
3. 平成28年度 の取組み内容	なし		
4. 平成29年度 の取組み内容 (実施予定を 含む)	なし		
5. 施策推進に よる主な成果 等 ※できるだけ数 値等を記載	なし		
6. 来年度以降 の当該施策推 進に向けての 課題等	なし		
7. 第2次教育 大綱(H30~34 年度)への記載 の必要性	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし 【「なし」の理由】 ※経緯、法律・制度改正及び他の事業との統合等の理由を記載 ・「エ 生活を営む上で必要な衣食住について理解し、基礎的な技能を養うこと」 に統合。		
8. その他特記 事項			

(様式1)

平成28年度・29年度 第1次安曇野市教育大綱 行動計画検証シート

項目	1 学校教育	所管課・係	学校教育課 教育指導室
1. 行動計画名	〔小学校教育の行動計画〕(1) 児童の育成		
2. 個別施策名	キ 自然現象を観察し、科学的に処理する能力を養うこと		
3. 平成28年度の取組み内容	なし		
4. 平成29年度の取組み内容 (実施予定を含む)	なし		
5. 施策推進による主な成果等 ※できるだけ数値等を記載	なし		
6. 来年度以降の当該施策推進に向けての課題等	なし		
7. 第2次教育大綱(H30~34年度)への記載の必要性	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし 【「なし」の理由】 ※経緯、法律・制度改正及び他の事業との統合等の理由を記載 ・「エ 生活を営む上で必要な衣食住について理解し、基礎的な技能を養うこと」に統合。		
8. その他特記事項			

(様式1)

平成28年度・29年度 第1次安曇野市教育大綱 行動計画検証シート

項目	1 学校教育	所管課・係	学校教育課 教育指導室
1. 行動計画名	〔小学校教育の行動計画〕(1) 児童の育成		
2. 個別施策名	ク 健康、安全で幸福な生活のために必要な習慣を養い、心身の調和的発達を図ること		
3. 平成28年度 の取組み内容	なし		
4. 平成29年度 の取組み内容 (実施予定を 含む)	なし		
5. 施策推進に よる主な成果 等 ※できるだけ数 値等を記載	なし		
6. 来年度以降 の当該施策推 進に向けての 課題等	なし		
7. 第2次教育 大綱(H30~34 年度)への記載 の必要性	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし 【「なし」の理由】 ※経緯、法律・制度改正及び他の事業との統合等の理由を記載 ・「エ 生活を営む上で必要な衣食住について理解し、基礎的な技能を養うこと」 に統合。		
8. その他特記 事項			

(様式1)

平成28年度・29年度 第1次安曇野市教育大綱 行動計画検証シート

項目	1 学校教育	所管課・係	学校教育課 教育指導室
1. 行動計画名	〔小学校教育の行動計画〕(1) 児童の育成		
2. 個別施策名	ケ 日常生活を明るく豊かにする音楽、美術、文芸について理解し、基礎的な技能を養うこと		
3. 平成28年度 の取組み内容	なし		
4. 平成29年度 の取組み内容 (実施予定を 含む)	なし		
5. 施策推進に よる主な成果 等 ※できるだけ数 値等を記載	なし		
6. 来年度以降 の当該施策推 進に向けての 課題等	なし		
7. 第2次教育 大綱(H30~34 年度)への記載 の必要性	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし 【「なし」の理由】 ※経緯、法律・制度改正及び他の事業との統合等の理由を記載 ・「エ 生活を営む上で必要な衣食住について理解し、基礎的な技能を養うこと」 に統合。		
8. その他特記 事項			

(様式1)

平成28年度・29年度 第1次安曇野市教育大綱 行動計画検証シート

項目	1 学校教育	所管課・係	学校教育課 教育指導室
1. 行動計画名	〔中学校教育の行動計画〕(1) 生徒の育成		
2. 個別施策名	ア 小学校における教育目標を発展させ、国家および社会の形成者として必要な資質を養うこと		
3. 平成28年度の取組み内容	<ul style="list-style-type: none">・中学校の各教科、道徳及び特別活動等教育課程全般を通して育む。・中学生海外ホームステイ交流派遣事業を実施。・中学校英語課外授業を実施。		
4. 平成29年度の取組み内容 (実施予定を含む)	<ul style="list-style-type: none">・中学校の各教科、道徳及び特別活動等教育課程全般を通して育む。・中学生海外ホームステイ交流派遣事業を実施。・中学校英語課外授業を実施。		
5. 施策推進による主な成果等 ※できるだけ数値等を記載	・自立して社会で生きていく基礎を身に着けたり、異文化について体験的に学んだりする中で、社会の形成者としての資質を育めた。		
6. 来年度以降の当該施策推進に向けての課題等	・小学校における学びを発展的につなげるために、小中連携した取り組みが必要。		
7. 第2次教育大綱(H30~34年度)への記載の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし 【「なし」の理由】 ※経緯、法律・制度改正及び他の事業との統合等の理由を記載		
8. その他特記事項			

(様式1)

平成28年度・29年度 第1次安曇野市教育大綱 行動計画検証シート

項目	1 学校教育	所管課・係	学校教育課 教育指導室
1. 行動計画名	〔中学校教育の行動計画〕(1) 生徒の育成		
2. 個別施策名	イ 社会に必要な職業について、基礎的な知識と技能、勤労を重んずる精神および個性に応じて将来の進路を選択できる能力を養うこと		
3. 平成28年度の取組み内容	・ 中学校で立志塾の開催。6校12件。中学生が将来へ向けて目的を持ち、高い志を培うことを目的に講師を招いて開催。		
4. 平成29年度の取組み内容 (実施予定を含む)	・ 中学校の立志塾では、1校10万円(計70万円)を当初予算計上し、安曇野市内外で活躍する一線級の方々を講師として「講演、ワークショップ、体験学習等」を実施。		
5. 施策推進による主な成果等 ※できるだけ数値等を記載	・ 感動的な講演をお聞きして、生徒たちの将来への願いや意欲が高まった。		
6. 来年度以降の当該施策推進に向けての課題等	・ 子どもたちの郷土安曇野への思いが深まるように、安曇野市内の企業や関係機関の講師を招待して、安曇野を知ったり、よさを感じたりする機会としたい。		
7. 第2次教育大綱(H30~34年度)への記載の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし 【「なし」の理由】 ※経緯、法律・制度改正及び他の事業との統合等の理由を記載		
8. その他特記事項			

(様式1)

平成28年度・29年度 第1次安曇野市教育大綱 行動計画検証シート

項目	1 学校教育	所管課・係	学校教育課 教育指導室
1. 行動計画名	〔中学校教育の行動計画〕(1) 生徒の育成		
2. 個別施策名	ウ 学校内外における社会的活動に関わり、その活動を正しく導き、公正な判断力を養うこと		
3. 平成28年度の取組み内容	・ 職場体験学習を通して、実際の仕事に触れる中で実践力や判断力を養う。 ・ 中学生議会事業で、全2回の学習会で市職員から市政について説明を受け、提言型の質問書を作成し、中学生議会当日に発表。		
4. 平成29年度の取組み内容 (実施予定を含む)	・ 職場体験学習を通して、実際の仕事を行う中で実践力や判断力を養う。 ・ 中学生議会事業で、全3回の学習会で市職員から市政について説明を受け、提言型の質問書を作成し、中学生議会当日に発表。		
5. 施策推進による主な成果等 ※できるだけ数値等を記載	・ 実際の仕事を体験することで、仕事の喜びや大変さを感じることができた。 ・ 自分たちのテーマが、実際の市民生活と市政運営とのかかわりで実現可能かどうか考える中で、実践的な学習ができた。		
6. 来年度以降の当該施策推進に向けての課題等	・ 提言型の質問内容は、市政に即したものになるが、中学生にとっては難しく抽象的な内容になりやすいので工夫が必要。		
7. 第2次教育大綱(H30~34年度)への記載の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし 【「なし」の理由】 ※経緯、法律・制度改正及び他の事業との統合等の理由を記載		
8. その他特記事項			

(様式1)

平成28年度・29年度 第1次安曇野市教育大綱 行動計画検証シート

項目	1 学校教育	所管課・係	学校教育課 教育総務係
1. 行動計画名	(2) 市内高等学校との連携・支援		
2. 個別施策名	ア 生徒の減少や都市集中化等の課題に対応していくため、中学校と高等学校の連携を強化すること イ 地元高校との地域交流を通して、市民の高等学校への関心を高めること		
3. 平成28年度 の取組み内容	市内高等学校と市内中学校との懇談会の開催 等		
4. 平成29年度 の取組み内容 (実施予定を 含む)	・初めてとなる安曇野市内4高等学校長と安曇野市教育委員会事務局との懇談会を平成29年6月21日に開催した。 ・11月18日に開催した市主催による「平和のつどい」において、初めて穂高商業高校の生徒による被爆地広島を舞台とした朗読劇を上演していただくとともに、南安曇農業高校、豊科高校、明科高校の生徒の参画を得た。		
5. 施策推進による主な成果等 ※できるだけ数値等を記載	6月21日に開催した懇談会では、以下の議題について懇談を行い、相互の共通認識等を深めた。 ・市内高等学校と本市との各種事業における今後の連携協力のあり方について ・長野県教育委員会が決定した「学びの改革 基本構想」について ・市に対する要望について 等		
6. 来年度以降の当該施策推進に向けての課題等	・それぞれの市内4高校が、地域にとって欠くことのできない存在であるとともに、現在も中学生にとっての進路選択先として重要な位置を占めていることなどを踏まえながら、市内4高校との連携を一層強化していく必要がある。 ・第2期高校再編に伴い、県教委は平成31年9月までに旧12通学区すべてに「高校の将来像を考える地域の協議会」を設置することとしており、この対応として、関係者等との事前検討・調整が必要である。		
7. 第2次教育大綱(H30~34年度)への記載の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし 【「なし」の理由】 ※経緯、法律・制度改正及び他の事業との統合等の理由を記載		
8. その他特記事項			

(様式1)

平成28年度・29年度 第1次安曇野市教育大綱 行動計画検証シート

項目	2 家庭教育	所管課・係	子ども支援課
1. 行動計画名	(1) 家庭教育を充実するための保護者への支援		
2. 個別施策名	ア 子育て関係者への子育てのための学習機会の確保 イ 子育てに関する情報提供		
3. 平成28年度の取組み内容	・子育てガイドブックの作成		
4. 平成29年度の取組み内容 (実施予定を含む)	・子育てガイドブックの更新 ・母子子育て相談窓口の設置 (健康医療部)		
5. 施策推進による主な成果等 ※できるだけ数値等を記載	・官民協働事業による子育てガイドブックを作製 (2,500部) し、関係機関等への設置、出産届時への個別配付を実施した。		
6. 来年度以降の当該施策推進に向けての課題等	・自治体の歳出減、民間活力による市民への情報提供を基本理念としたうえで民間企業等からの広告料によりガイドブックの作製をしているが、製本部数に限度があるため、増刷等に係る費用等の検討が必要である。		
7. 第2次教育大綱 (H30~34年度)への記載の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし 【「なし」の理由】 ※経緯、法律・制度改正及び他の事業との統合等の理由を記載		
8. その他特記事項	・作製業者と情報誌の官民協働発行に関する協定書を締結		

(様式1)

平成28年度・29年度 第1次安曇野市教育大綱 行動計画検証シート

項目	3 幼児期の教育・保育	所管課・係	子ども支援課 保育担当
1. 行動計画名	(1) 幼児の育成		
2. 個別施策名	ア 主体性・創造性を持った子ども		
3. 平成28年度の取組み内容	○ 園児の興味をくみ取り、これを基に教育計画作成、環境構成を行う。 ・ごっこ遊び、運動遊び、異年齢交流→忍者屋敷づくり ・制作遊び→お店屋さんごっこ、温泉づくり、自分の町のパノラマづくり ・小動物飼育→トンボの国づくり、トンボごっこ、運動遊び、劇遊び		
4. 平成29年度の取組み内容 (実施予定を含む)	同上 ○ 環境構成の充実 ・保育教材の研究 ・保育環境の整備		
5. 施策推進による主な成果等 ※できるだけ数値等を記載	・見通しのある教育計画に基づき、継続的な活動になり経験が積み重なった。 自信を持ち、安心して活動に取り組める園児が増え、より活発な伝え合い交流が見られた。 ・環境を整えることでアイデアが膨らみ、自主的に取り組み試行錯誤を繰り返すことで、思考力・達成感につながっていった。		
6. 来年度以降の当該施策推進に向けての課題等	・環境整備（安全のための園庭整備）の予算確保 ・自己研鑽、研究会の充実を図るための時間確保		
7. 第2次教育大綱（H30～34年度）への記載の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし 【「なし」の理由】 ※経緯、法律・制度改正及び他の事業との統合等の理由を記載		
8. その他特記事項			

(様式1)

平成28年度・29年度 第1次安曇野市教育大綱 行動計画検証シート

項目	3 幼児期の教育・保育	所管課・係	子ども支援課 保育担当
1. 行動計画名	(1) 幼児の育成		
2. 個別施策名	イ 体・心・知恵のバランスがとれている子ども		
3. 平成28年度 の取組み内容	○ 日常生活のリズムの見直し ○ 教育計画(5領域)に基づく多様な体験 ・COTや運動遊び、読み聞かせ等 ○ 絵カードによる視覚支援		
4. 平成29年度 の取組み内容 (実施予定を 含む)	同上		
5. 施策推進に よる主な成果 等 ※できるだけ数 値等を記載	○ 毎日の繰り返しの中で、理解できることが増え、安心して過ごすことで成長につながってきている。 ○ バランスの良いメリハリのある生活が、気持ちの切り替え、けじめのある行動につながっている。		
6. 来年度以降 の当該施策推 進に向けての 課題等	○ 環境整備 ○ 教材研究		
7. 第2次教育 大綱(H30~34 年度)への記載 の必要性	☑あり ☐なし 【「なし」の理由】 ※経緯、法律・制度改正及び他の事業との統合等の理由を記載		
8. その他特記 事項			

(様式1)

平成28年度・29年度 第1次安曇野市教育大綱 行動計画検証シート

項目	3 幼児期の教育・保育	所管課・係	子ども支援課 保育担当
1. 行動計画名	(1) 幼児の育成		
2. 個別施策名	ウ 群れて元気に遊ぶ子ども 友だちと元気に遊ぶ子ども		
3. 平成28年度の の取組み内容	○ 年齢ごとの発達段階の把握と、一人一人の発達の見取りから情緒の安定を図る ○ 園児同士のかかわりを促す環境づくり (物的・人的)		
4. 平成29年度の の取組み内容 (実施予定を含む)	同上		
5. 施策推進による 主な成果等 ※できるだけ数値等を記載	○ 教師の丁寧な見取りと支援を行うことで、安心して仲間と関わり遊びを展開できるようになった。 ○ 環境設定や、教師からの遊びのヒントで園児自ら仲間に働きかけ、遊びを広げていく姿が見られた。		
6. 来年度以降の 当該施策推進 に向けての 課題等	○ 環境 (人的・物的) 構成についての研究		
7. 第2次教育 大綱 (H30~34 年度)への記載 の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし 【「なし」の理由】 ※経緯、法律・制度改正及び他の事業との統合等の理由を記載		
8. その他特記 事項			

(様式1)

平成28年度・29年度 第1次安曇野市教育大綱 行動計画検証シート

項 目	3 幼児期の教育・保育	所管課・係	子ども支援課 保育担当
1. 行動計画名	(1) 幼児の育成		
2. 個別施策名	エ 思いやりのある子ども 人への信頼感、思いやりのもてる子ども		
3. 平成28年度の の取組み内容	○ 姉妹クラス・ペアクラスでの活動 ・散歩・給食・発育測定・畑活動・運動会・ごっこ遊び・お店屋さん ・幼稚園まつり・おもいで会・お別れ会 等 ○ 友だちの良さを認め合える場の設定		
4. 平成29年度の の取組み内容 (実施予定を 含む)	同上 ○ 日常の園生活の中で、一人一人を認め合い、意識できるようにする。		
5. 施策推進に よる主な成果 等 ※できるだけ数 値等を記載	○ 異年齢での交流が深まり、関心を持ち刺激しあうようになった。 ○ 年長児が年中・少児を気にかけて、一緒に楽しもうとするようになった。 ○ 自分の思いを伝えながらも、相手の思いも知ろうとするようになった。		
6. 来年度以降 の当該施策推 進に向けての 課題等			
7. 第2次教育 大綱 (H30~34 年度)への記載 の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし 【「なし」の理由】 ※経緯、法律・制度改正及び他の事業との統合等の理由を記載		
8. その他特記 事項			

(様式1)

平成28年度・29年度 第1次安曇野市教育大綱 行動計画検証シート

項目	3 幼児期の教育・保育	所管課・係	子ども支援課 保育担当
1. 行動計画名	(1) 幼児の育成		
2. 個別施策名	オ 安曇野の文化・自然の中に自ら浸りこんでいける子ども 自然との関わりに喜びを感じられる子ども		
3. 平成28年度の取組み内容	○ 自然の中での活動から命やそのつながりに気付く ・園外保育・畑活動・小動物等の飼育・自然物と関わる遊び 等 ○ 伝承行事の実施や地域との関わり ・餅つき・三九郎等		
4. 平成29年度の取組み内容 (実施予定を含む)	同上		
5. 施策推進による主な成果等 ※できるだけ数値等を記載	○ 自然に親しみ、興味関心へとつながった ○ 地域の文化に触れる機会になった		
6. 来年度以降の当該施策推進に向けての課題等	○ 危機管理に関する職員の意識統一と情報共有		
7. 第2次教育大綱(H30～34年度)への記載の必要性	☑あり ☐なし 【「なし」の理由】 ※経緯、法律・制度改正及び他の事業との統合等の理由を記載		
8. その他特記事項			

(様式1)

平成28年度・29年度 第1次安曇野市教育大綱 行動計画検証シート

項目	3 幼児期の教育・保育	所管課・係	子ども支援課 保育担当
1. 行動計画名	(2) 一貫性のある幼児の教育体制を構築		
2. 個別施策名	ア 幼稚園・保育園・認定こども園・小学校の連携		
3. 平成28年度の取組み内容	<ul style="list-style-type: none">○ 幼保小連絡会（授業・保育参観）○ 小学校と園の交流（運動会・研究授業の参加）○ 就学相談（支援児の情報交換）		
4. 平成29年度の取組み内容（実施予定を含む）	同上 <ul style="list-style-type: none">○ 小学校と園の交流（年長児と5年生との交流）		
5. 施策推進による主な成果等 ※できるだけ数値等を記載	<ul style="list-style-type: none">○ 就学に向けて園児の不安感を軽減できる。○ 特性を持つ子どもさんの就学について情報共有ができる		
6. 来年度以降の当該施策推進に向けての課題等	<ul style="list-style-type: none">○ どんな子どもを育てたいのか、安曇野市としての方向性の共有○ 交流の機会、情報交換の時間の確保		
7. 第2次教育大綱（H30～34年度）への記載の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし 【「なし」の理由】 ※経緯、法律・制度改正及び他の事業との統合等の理由を記載		
8. その他特記事項			

(様式1)

平成28年度・29年度 第1次安曇野市教育大綱 行動計画検証シート

項目	3 幼児期の教育・保育	所管課・係	子ども支援課 保育担当
1. 行動計画名	(2) 一貫性のある幼児の教育体制を構築		
2. 個別施策名	イ 幼児教育の必要性の発信		
3. 平成28年度の取組み内容	○ 参観日の設定 ○ 活動の記録の提示 (園だより・クラスだより・写真掲示・成長の記録) ○ 子育て講演会の開催 (年2回)		
4. 平成29年度の取組み内容 (実施予定を含む)	同上		
5. 施策推進による主な成果等 ※できるだけ数値等を記載			
6. 来年度以降の当該施策推進に向けての課題等	○ 未就園児の子どもさんへの啓発も行っているが、安曇野市として取り組むのであれば、理事者をはじめとした関係者への理解を深める必要がある。		
7. 第2次教育大綱 (H30～34年度)への記載の必要性	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし 【「なし」の理由】 ※経緯、法律・制度改正及び他の事業との統合等の理由を記載 入園前の子どもさんを持つ保護者への啓発という点で、生涯学習課へ		
8. その他特記事項			

(様式1)

平成28年度・29年度 第1次安曇野市教育大綱 行動計画検証シート

項目	3 幼児期の教育・保育	所管課・係	子ども支援課 保育担当
1. 行動計画名	(2) 一貫性のある幼児の教育体制を構築		
2. 個別施策名	ウ 子育て相談・支援		
3. 平成28年度 の取組み内容	○ 子育て相談日(年11回)の設定 ○ 子育て講演会(保護者向け年2回) ○ なかよし広場(園開放・・・年4回) ○ おひさま広場(園庭開放・・・年4回)		
4. 平成29年度 の取組み内容 (実施予定を 含む)	同上		
5. 施策推進に よる主な成果 等 ※できるだけ数 値等を記載	○ 子育て相談 (相談実績 H28年度 10名・ H29年度9月末 10名) ○ 園開放 (なかよし広場) ・H28年 登録人数 29名 延べ参加人数 73名 ・H29年 登録人数 27名 延べ参加人数 33名(4回中2回開催)		
6. 来年度以降 の当該施策推 進に向けての 課題等			
7. 第2次教育 大綱(H30~34 年度)への記載 の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし 【「なし」の理由】 ※経緯、法律・制度改正及び他の事業との統合等の理由を記載		
8. その他特記 事項			

(様式1)

平成28年度・29年度 第1次安曇野市教育大綱 行動計画検証シート

項目	3 幼児期の教育・保育	所管課・係	子ども支援課 保育担当
1. 行動計画名	(3) 教育・保育環境の充実		
2. 個別施策名	ア 幼稚園、保育園の施設及び設備の充実を図る。とともに、認定こども園の普及促進		
3. 平成28年度 の取組み内容	・平成28年4月1日開設の私立の幼保連携型認定こども園（認定やまぶきこども園開設）について、開設及び運営支援をおこなった。 また、地方裁量型認定こども園（花園認定こども園）の平成29年4月1日開設へ向け、必要な支援をおこなった。 ・アルプス保育園が移転新築		
4. 平成29年度 の取組み内容 (実施予定を 含む)	・平成29年4月1日から公立の保育園全園（18園）を認定こども園へ移行し、 幼児期の教育・保育の一体的な提供を行う。 ・三郷北部認定こども園移転新築工事着工		
5. 施策推進に よる主な成果 等 ※できるだけ数 値等を記載	平成28年4月1日に私立の幼保連携型認定こども園が1園開設 平成29年4月1日に公立保育園が保育所型認定こども園へ全園（18園）移行 平成29年4月1日に私立の地方裁量型認定こども園が1園開設		
6. 来年度以降 の当該施策推 進に向けての 課題等	・たつみ認定こども園及び明科南認定こども園の建て替え ・民営化による多様な教育・保育の推進		
7. 第2次教育 大綱（H30～34 年度）への記載 の必要性	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし 【「なし」の理由】 ※経緯、法律・制度改正及び他の事業との統合等の理由を記載 認定こども園の普及促進については、私立が2園新設されたほか、公立保育園 が全園認定こども園へ移行したことにより施策目標は達成したと考える。		
8. その他特記 事項			

(様式1)

平成 28 年度・29 年度 第 1 次安曇野市教育大綱 行動計画検証シート

項 目	4 生涯学習	所管課・係	生涯学習課 社会教育担当
1. 行動計画名	(1) 生涯の各段階に応じた学習機会の充実		
2. 個別施策名	ア 子どもの成長支援講座の充実、子育て相談体制の充実及び関係機関との連携		
3. 平成 28 年度の の取組み内容	人間性豊かな社会性のある子どもを育てるとともに、次代の郷土を支える人づくりやリーダーを育てるため、体験講座やジュニアリーダー養成講座を実施した。また、指定管理委託によりすべての児童館において子育て相談事業を実施した。		
4. 平成 29 年度の の取組み内容 (実施予定を 含む)	平成 28 年度事業を継続。		
5. 施策推進による 主な成果等 ※できるだけ数 値等を記載	体験講座として「まごころ工房」、「こども体験ショー」、「こども文化祭」、「こども映画教室」、「ジュニアリーダー養成講座」を回実施し、講座等を延べ 17 回開催し、延べ 1,298 人の参加者があった。 相談事業については、延べ 122 回開催して、延べ 591 人の相談があった。		
6. 来年度以降の 当該施策推進 に向けての 課題等	体験事業についてはマンネリ化とならないため、講座内容を精査しながら進めていく必要がある。		
7. 第 2 次教育 大綱 (H30~34 年度)への記載 の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし 【「なし」の理由】 ※経緯、法律・制度改正及び他の事業との統合等の理由を記載		
8. その他特記 事項			

(様式1)

平成28年度・29年度 第1次安曇野市教育大綱 行動計画検証シート

項目	4 生涯学習	所管課・係	生涯学習課 社会教育担当									
1. 行動計画名	(1) 生涯の各段階に応じた学習機会の充実											
2. 個別施策名	イ 青少年期の育ちの場の充実、生きる力を育む環境整備及び健全育成のための連携強化											
3. 平成28年度の取組み内容	市内すべての小学校において毎週水曜日の放課後に、1年から6年生の希望者を対象に、放課後子ども教室を実施。 市内98地区の子ども会育成会に対して均等割補助金を交付するとともに、希望する会には申請により活性化補助金を交付した。また、活動中における怪我等への安全共済加入補助も行った。											
4. 平成29年度の取組み内容 (実施予定を含む)	平成28年度事業を継続。											
5. 施策推進による主な成果等 ※できるだけ数値等を記載	放課後子ども教室を、各小学校年間約30回前後開催した。延べ312回開催、24,986人の参加であった。 <table border="0" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width:50%;">・基本補助金(平等割、均等割)</td> <td style="width:25%;">98地区育成会</td> <td style="width:25%;">(補助金:4,696,500円)</td> </tr> <tr> <td>・活性化補助金</td> <td>43地区育成会</td> <td>(補助金:1,749,000円)</td> </tr> <tr> <td>・安全共済会加入補助</td> <td>8,386人</td> <td>(補助金:1,257,780円)</td> </tr> </table>			・基本補助金(平等割、均等割)	98地区育成会	(補助金:4,696,500円)	・活性化補助金	43地区育成会	(補助金:1,749,000円)	・安全共済会加入補助	8,386人	(補助金:1,257,780円)
・基本補助金(平等割、均等割)	98地区育成会	(補助金:4,696,500円)										
・活性化補助金	43地区育成会	(補助金:1,749,000円)										
・安全共済会加入補助	8,386人	(補助金:1,257,780円)										
6. 来年度以降の当該施策推進に向けての課題等	放課後子ども教室は、登録児童数、延べ参加人数ともに若干の減少傾向にあるが引き続き安全運営及びスタッフの確保に努め実施していく。 子ども会育成会は、その活動を活発にするため、活性化補助金の利用地区数の増加に努めたい。											
7. 第2次教育大綱(H30~34年度)への記載の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし 【「なし」の理由】 ※経緯、法律・制度改正及び他の事業との統合等の理由を記載											
8. その他特記事項												

(様式1)

平成28年度・29年度 第1次安曇野市教育大綱 行動計画検証シート

項目	4 生涯学習	所管課・係	生涯学習課 社会教育担当									
1. 行動計画名	(1) 生涯の各段階に応じた学習機会の充実											
2. 個別施策名	ウ 成人期の趣味や教養及び仕事などにも役立つ学習機会の充実と地域交流の促進											
3. 平成28年度 の取組み内容	<p>○生涯学習課</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民大学講座（特別編・信州大学編）や、5地域公民館にて趣味や教養等の講座の開催。 「美的カレッジ」「安曇野検定準備講座」「市民大学講座」「学校開放講座」「家庭教育関係講演会」「ピラティス教室」「ヨガ教室」「インターバル速歩教室」など <p>○各地域公民館</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各地区公民館対抗スポーツ大会の開催。 ・各地域の文化祭及び総合芸術展の開催。 ・各地域の運動会の開催 ・その他、趣味や教養に関する学習機会や文化・スポーツ講座の開催。 <p>○文化課：「能楽教室」「文化講演会」など</p> <p>○中央図書館：「図書館フェスタ」「中央図書館講演会」など</p> <p>○市内4図書館：「講演会」「図書館講座」など</p>											
4. 平成29年度 の取組み内容 (実施予定を 含む)	<p>○生涯学習課</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民大学講座（特別編・信州大学編）や、5地域公民館にて趣味や教養等の講座の開催。 「安曇野検定準備講座」「市民大学講座」「学校開放講座」「家庭教育関係講演会」「ピラティス教室」「ヨガ教室」「インターバル速歩教室」など <p>○各地域公民館</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各地区公民館対抗スポーツ大会の開催。 ・各地域の文化祭及び総合芸術展の開催。 ・各地域の運動会の開催 ・その他、趣味や教養に関する学習機会や文化・スポーツ講座の開催。 <p>○文化課：「能楽教室」「文化講演会」など</p> <p>○中央図書館：「図書館フェスタ」「中央図書館講演会」など</p> <p>○市内4図書館：「講演会」「図書館講座」など</p>											
5. 施策推進による 主な成果等 ※できるだけ数 値等を記載	<p>・成人期を対象とした講座数（年97回）</p> <table border="0"> <tr> <td>生涯学習課（24）</td> <td>豊科公民館（5）</td> <td>穂高公民館（10）</td> </tr> <tr> <td>三郷公民館（10）</td> <td>堀金公民館（9）</td> <td>明科公民館（7）</td> </tr> <tr> <td>文化課（19）</td> <td>図書館交流課（13）</td> <td></td> </tr> </table>			生涯学習課（24）	豊科公民館（5）	穂高公民館（10）	三郷公民館（10）	堀金公民館（9）	明科公民館（7）	文化課（19）	図書館交流課（13）	
生涯学習課（24）	豊科公民館（5）	穂高公民館（10）										
三郷公民館（10）	堀金公民館（9）	明科公民館（7）										
文化課（19）	図書館交流課（13）											

<p>6. 来年度以降の当該施策推進に向けての課題等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習に取り組めない理由（仕事が忙しい、きっかけがない、費用がかかる、子育て中である）の解消について、市全体で取り組む課題もある。 ・引き続き、生涯学習課及び5地域公民館、文化課、図書館交流課等において講座を開催するが、アンケート結果による学習ニーズの把握、講座内容の検討・精査などが必要。
<p>7. 第2次教育大綱（H30～34年度）への記載の必要性</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>あり <input type="checkbox"/>なし</p> <p>【「なし」の理由】</p> <p>※経緯、法律・制度改正及び他の事業との統合等の理由を記載</p>
<p>8. その他特記事項</p>	

(様式1)

平成28年度・29年度 第1次安曇野市教育大綱 行動計画検証シート

項目	4 生涯学習	所管課・係	生涯学習課 社会教育担当
1. 行動計画名	(1) 生涯の各段階に応じた学習機会の充実		
2. 個別施策名	エ 高齢期の健康増進活動及び活動の場の充実と交流活動の促進		
3. 平成28年度 の取組み内容	・高齢者の生きがいと社会参加を促進し、健康増進及び介護予防を目的として 行う事業に対して助成。		
4. 平成29年度 の取組み内容 (実施予定を 含む)	・高齢者の生きがいと社会参加を促進し、健康増進及び介護予防を目的として 行う事業に対して助成。		
5. 施策推進に よる主な成果 等 ※できるだけ数 値等を記載	・平成28年度実績 各地域公民館が主体となり事業を実施 (89団体 参加人数：3,224人)		
6. 来年度以降 の当該施策推 進に向けての 課題等	・生涯学習に取り組めない理由(きっかけがない、情報がない、交通手段がな いなど)の解消について、市全体で取り組む課題もある。		
7. 第2次教育 大綱(H30~34 年度)への記載 の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし 【「なし」の理由】 ※経緯、法律・制度改正及び他の事業との統合等の理由を記載		
8. その他特記 事項			

(様式1)

平成28年度・29年度 第1次安曇野市教育大綱 行動計画検証シート

項目	4 生涯学習	所管課・係	生涯学習課 社会教育担当
1. 行動計画名	(2) 現代社会の課題や市民の学習要望に応える学習機会の充実		
2. 個別施策名	ア 環境、健康及び地域福祉を進める学習の推進		
3. 平成28年度の取組み内容	・大人世代を対象とした環境学習。 ・地域健康教室・集団健康教育・健康づくり推進員・食生活改善推進協議会活動 ・社協と連携し、ボランティア団体の新規育成とともにボランティアに関する意識の高揚を図る。		
4. 平成29年度の取組み内容(実施予定を含む)	・大人世代を対象とした環境学習 ・地域健康教室・集団健康教育・健康づくり推進員・食生活改善推進協議会活動 ・社協と連携し、ボランティア団体の新規育成とともにボランティアに関する意識の高揚を図る。		
5. 施策推進による主な成果等 ※できるだけ数値等を記載	・環境学習プログラム等による環境学習の実施(9回/年) ・地区学習参加者数(7,208人/年) ・社会福祉協議会に登録されているボランティア団体数(203団体)		
6. 来年度以降の当該施策推進に向けての課題等	・安曇野市環境基本計画が平成29年度で計画期間が満了となるため、本年度「第2次安曇野市環境基本計画」を策定し、安曇野市の望ましい環境像を実現するため、今後10年間目標や取り組みを定める。 ・健康づくり推進員及び食生活改善協議会などを中心に、幅広い学習や活動を通して地域全体の健康に対する意識の高揚を促し、保健予防活動の充実を図る。 ・本年度は平成30年度から5年間の地域福祉計画を策定する年度であり、社協の地域福祉活動計画と連携した計画のもと、福祉意識の一層の高揚を図り、市地域福祉計画の施策の柱の1つになっている「生涯学習の促進」にも繋げていく。		
7. 第2次教育大綱(H30~34年度)への記載の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし 【「なし」の理由】 ※経緯、法律・制度改正及び他の事業との統合等の理由を記載		
8. その他特記事項			

(様式1)

平成28年度・29年度 第1次安曇野市教育大綱 行動計画検証シート

項目	4 生涯学習	所管課・係	生涯学習課 社会教育担当
1. 行動計画名	(2) 現代社会の課題や市民の学習要望に応える学習機会の充実		
2. 個別施策名	イ 芸術文化活動の振興		
3. 平成28年度 の取組み内容	○豊科郷土博物館：「安曇野歴史散歩」「縄文土器を作ろう!」「昔の暮らしを体験しよう!」など ○豊科近代美術館：「ナイトミュージアム」「春を呼ぶコンサート」「バラ祭り」など ○田淵行男記念館：「百楽桜まつり」「雪形探訪学習会 北アルプス編」など ○高橋節郎記念美術館：「漆芸講座」「水墨画講座」「ライアーコンサート」「講演会」など ○貞享義民記念館：「古文書講座」「義民を訪ねて」「貞享義民の旧跡めぐり」など		
4. 平成29年度 の取組み内容 (実施予定を含む)	・市民の多様な学習要求に応えるため、ニーズを把握し講座を開設する。		
5. 施策推進による主な成果等 ※できるだけ数値等を記載	・芸術・文化講座など参加者数 (14,844人/年)		
6. 来年度以降の当該施策推進に向けての課題等	・市民が自然・民族・歴史・考古等諸分野を学ぶ機会を設ける。		
7. 第2次教育大綱 (H30~34年度)への記載の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし 【「なし」の理由】 ※経緯、法律・制度改正及び他の事業との統合等の理由を記載		
8. その他特記事項			

(様式1)

平成28年度・29年度 第1次安曇野市教育大綱 行動計画検証シート

項目	4 生涯学習	所管課・係	生涯学習課 社会教育担当
1. 行動計画名	(2) 現代社会の課題や市民の学習要望に応える学習機会の充実		
2. 個別施策名	ウ 国際理解、外国人支援及び地域の安全・安心を進める活動の推進		
3. 平成28年度 の取組み内容	○国際理解・外国人支援 ・現状の相談業務体制の維持、継続 ○安全・安心を進める活動の推進 ・「地域自主防災会議」地域ごとに3回（穂高地域、明科地域は4回）開催 ・「助言及び指導」防災訓練の実施方法等について随時実施 ・「防災意識の高揚」依頼により防災に関する出前講座を実施 ・「補助金制度の見直し」補助金交付要綱の改正（平成29年4月1日から施行）		
4. 平成29年度 の取組み内容 （実施予定を 含む）	○国際理解・外国人支援 ・現状の相談業務体制の維持、継続 ○安全・安心を進める活動の推進 ・自主防災組織活性化事業の実施 ①市と自主防災組織または自主防災組織相互で情報の交換などを行う場として、地域毎に自主防災会議を開催する。 ②自主防災組織が防災訓練を実施するために必要な助言や指導を行う。 ③平常時の自主防災活動を通して、自助共助の防災意識の高揚を図る。 ④自主防災組織防災活動支援補助金制度の見直しに向け検討する。		
5. 施策推進による主な成果等 ※できるだけ数値等を記載	・外国人支援相談件数（569回数/年） ・自主防災組織設置数（83ヶ所）		
6. 来年度以降の当該施策推進に向けての課題等	・地域に住む外国人が、国籍による不当な差別や不利益、また慣習の違い等によるトラブルを防ぐため、現状の相談業務体制を維持し地道な対応を継続して、住みやすい地域づくりを目指す。 ・市民の防災意識を高める機会を設ける。 ・市民が災害時の対応方法について学ぶ機会を設ける。		
7. 第2次教育大綱（H30～34年度）への記載の必要性	☑あり ☐なし 【「なし」の理由】 ※経緯、法律・制度改正及び他の事業との統合等の理由を記載		
8. その他特記事項			

(様式1)

平成28年度・29年度 第1次安曇野市教育大綱 行動計画検証シート

項目	4 生涯学習	所管課・係	生涯学習課 社会教育担当
1. 行動計画名	(2) 現代社会の課題や市民の学習要望に応える学習機会の充実		
2. 個別施策名	エ 人権尊重の学習の推進		
3. 平成28年度の取組み内容	<p>○平成28年度の重点は、「高齢者に関する問題」について、高齢者が健康で安全に生き生きと生活できるように、家庭と地域の課題として協同して取り組む。また、「同和問題」を過去の人権課題とするのではなく、人権に関わる全ての問題につながる現実の課題として引き続き研修を深め、差別の本質について学び、あらゆる人権問題に視点をあてて次の事業に取り組む。</p> <p>(1) 人権教育推進リーダー研修の充実 (2) 地域住民の人権啓発の推進 (3) 学社連携事業の推進 (4) 企業人権教育の推進</p>		
4. 平成29年度の取組み内容 (実施予定を含む)	<p>○平成29年度の重点は、「障がいのある人に関する問題」について、「障害者差別解消法」が昨年より施行され、かけがえのない命の尊さを自覚し、互いに認め合い共に生きる喜びを分かち合う社会を築く必要がある。</p> <p>また、「同和問題」を過去の人権課題とするのではなく、人権に関わる全ての問題につながる現実の課題として引き続き研修を深め、差別の本質について学び、あらゆる人権問題に視点をあてて次の事業に取り組む。</p> <p>(1) 人権教育推進リーダー研修の充実 (2) 地域住民の人権啓発の推進 (3) 学社連携事業の推進 (4) 企業人権教育の推進</p>		
5. 施策推進による主な成果等 ※できるだけ数値等を記載	人権教育参加者数 (4,407人/年)		
6. 来年度以降の当該施策推進に向けての課題等	・安曇野市人権教育・啓発推進計画の基本目標と基本方針に基づき、人権問題の現状と課題に対し、あらゆる場を通じた人権教育・啓発を推進することができた。		
7. 第2次教育大綱(H30~34年度)への記載の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし 【「なし」の理由】 ※経緯、法律・制度改正及び他の事業との統合等の理由を記載		
8. その他特記事項			

(様式1)

平成28年度・29年度 第1次安曇野市教育大綱 行動計画検証シート

項目	4 生涯学習	所管課・係	生涯学習課 社会教育担当
1. 行動計画名	(2) 現代社会の課題や市民の学習要望に応える学習機会の充実		
2. 個別施策名	オ 情報化に応じた学習の推進		
3. 平成28年度の取組み内容	○学校開放講座 穂高商業高校・明科高校・豊科南中学校 ○地区公民館講座 三郷公民館		
4. 平成29年度の取組み内容 (実施予定を含む)	○学校開放講座 穂高商業高校・明科高校・豊科南中学校 ○地区公民館講座 三郷公民館		
5. 施策推進による主な成果等 ※できるだけ数値等を記載	・パソコン等 IT 関係講座 (4回数/年)		
6. 来年度以降の当該施策推進に向けての課題等	・情報化に対応する能力向上や情報セキュリティの学習の推進。利用するためのルールやマナーを学習する機会が必要。		
7. 第2次教育大綱 (H30~34年度)への記載の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし 【「なし」の理由】 ※経緯、法律・制度改正及び他の事業との統合等の理由を記載		
8. その他特記事項			

(様式1)

平成28年度・29年度 第1次安曇野市教育大綱 行動計画検証シート

項目	4 生涯学習	所管課・係	生涯学習課 社会教育担当
1. 行動計画名	(3) 生涯学習を支える環境の整備		
2. 個別施策名	ア 公民館や交流学習センターを中心とした生涯学習施設の有効活用		
3. 平成28年度の取組み内容	<ul style="list-style-type: none">・安曇野市公民館の運営について、公民館運営審議会からの答申により「安曇野市公民館の理念」を平成27年10月26日に制定。この理念の下、館長並びに職員は時代に即した運営を展開する。・7月24日～8月1日にかけて、5会場で6回の新総合体育館整備に関する市民説明会を開催・11月20日～23日にかけて、5会場で5回の新体育館整備基本計画（案）市民説明会を開催・11月21日～12月20日にかけて、パブリックコメントの募集・平成29年1月 新総合体育館整備基本計画策定・平成28年度末状況 総蔵書数：405,887冊 平成28年度貸出数：764,311冊・図書館利用者の利便性向上のため、平成25年5月からインターネット蔵書検索予約サービスを実施している。・平成28年度から学校図書館のリクエスト等により、都度、学校へ配本している。・地域の交流、学習の核となるよう市民への周知、蔵書、図書館講座などの充実を図っていく。・市民や友の会との協働による調査・研究活動を進め、資料の蓄積並びに会員増を図る。・友の会、文化協会会員とともに会員の高齢化とともに会員数の減少が顕著である。展示施設の増加に伴い、これらの会に加入しない個人での活動成果の発表形態や、安曇野スタイルネットワークなど別組織への参加など、学びの形態が変化している。		
4. 平成29年度の取組み内容（実施予定を含む）	<ul style="list-style-type: none">・平成28年度より、安曇野市公民館の理念に基づき、各公民館が運営方針を定め事業を実施した。継続事業も内容を点検し、改善した。・安曇野市の今後のスポーツ振興施策の指針となるスポーツ振興計画の具現化に向けた施設の整備計画や各種事業計画を検討し、大規模な施設改修やそれに伴う計画を立てる。・資料並びに蔵書の整備充実・情報通信を活用したサービスの充実・読書活動の推進・新三郷図書館のオープン（平成29年度末予定）・市民や友の会との協働による調査・研究活動を進め、資料の蓄積並びに会員増を図る。・友の会、文化協会会員とともに会員の高齢化とともに会員数の減少が顕著である。展示施設の増加に伴い、これらの会に加入しない個人での活動成果の発表		

	形態や、安曇野スタイルネットワークなど別組織への参加など、学びの形態が変化している。
5. 施策推進による主な成果等 ※できるだけ数値等を記載	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域公民館団体利用者数(豊科の劇場を除く) (133, 344 人/年) ・ 体育協会加入者数 (6, 214 人/年) ・ 図書館の年間利用者数 (414, 307 人/年) ・ 芸術・文化活動者数 (2, 733 人/年)
6. 来年度以降の当該施策推進に向けての課題等	
7. 第2次教育大綱(H30~34年度)への記載の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし 【「なし」の理由】 ※経緯、法律・制度改正及び他の事業との統合等の理由を記載
8. その他特記事項	

(様式1)

平成28年度・29年度 第1次安曇野市教育大綱 行動計画検証シート

項目	4 生涯学習	所管課・係	生涯学習課 社会教育担当
1. 行動計画名	(3) 生涯学習を支える環境の整備		
2. 個別施策名	イ 学習情報提供と学習相談体制の充実		
3. 平成28年度の取組み内容	・市民活動サポートセンターに、協働コーディネーター養成講座を修了した市民活動コーディネーターとサポーターを配置し、取材活動、情報の収集、発信等を行っている。		
4. 平成29年度の取組み内容 (実施予定を含む)	・協働を担うあらゆる主体の情報を収集し、施設に備え置くとともに、ホームページや「くるりん通信」等を通じて広く発信する。また、複数の団体をつなげるなど必要に応じたコーディネートを行う。		
5. 施策推進による主な成果等 ※できるだけ数値等を記載	○市民情報交流拠点設置数(1ヶ所) 【平成28年度実績】取材件数:17件 「くるりん通信」発行:8号~14号		
6. 来年度以降の当該施策推進に向けての課題等			
7. 第2次教育大綱(H30~34年度)への記載の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし 【「なし」の理由】 ※経緯、法律・制度改正及び他の事業との統合等の理由を記載		
8. その他特記事項			

(様式1)

平成28年度・29年度 第1次安曇野市教育大綱 行動計画検証シート

項目	4 生涯学習	所管課・係	生涯学習課 社会教育担当
1. 行動計画名	(3) 生涯学習を支える環境の整備		
2. 個別施策名	ウ 学習に参加しやすい環境づくり		
3. 平成28年度の取組み内容	○ファミリーサポートセンター 【平成28年度実績】 (会員数) 依頼会員数：790名 協力会員数：111名 依頼協力会員数：34名 (実施事業) 運営委員会会議：6回/年 広報誌発行：6回/年 協力会員養成講習会：7日/年 (新規協力会：19名) スキルアップ講習会：1回/年 (協力会員15名) ふれあい祭：1回/年 (来場参加者272名) 交流会 1回/年 (協力会員34名)		
4. 平成29年度の取組み内容 (実施予定を含む)	・ 託児の支援を行いたい者と託児の支援が必要な個人及び団体を組織化し、相互支援活動の支援を行うことにより、安心して子育てができる環境づくりの推進を目的に実施する。 ・ 協力会員のスキルアップを図るための講習会や、新規協力会員の育成を図るための講習会の開催をする。 ・ 会員相互の親睦及び交流活動の場を提供し、子育てに対する情報の共有を促す取り組みを実施する。		
5. 施策推進による主な成果等 ※できるだけ数値等を記載	○ファミリーサポートセンター登録者数 (867人/年)		
6. 来年度以降の当該施策推進に向けての課題等			
7. 第2次教育大綱 (H30～34年度)への記載の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし 【「なし」の理由】 ※経緯、法律・制度改正及び他の事業との統合等の理由を記載		
8. その他特記事項			

(様式1)

平成28年度・29年度 第1次安曇野市教育大綱 行動計画検証シート

項目	4 生涯学習	所管課・係	生涯学習課 社会教育担当
1. 行動計画名	(4) 学習成果を活かし支え合う協働のまちづくり		
2. 個別施策名	ア 成果発表の機会の充実		
3. 平成28年度の取組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・各地区公民館対抗スポーツ大会の開催。 ・各地域の文化祭及び芸能発表会など ・総合芸術展の開催。 		
4. 平成29年度の取組み内容 (実施予定を含む)	<ul style="list-style-type: none"> ・各地区公民館対抗スポーツ大会の開催。 ・各地域の文化祭及び芸能発表会など ・総合芸術展の開催。 		
5. 施策推進による主な成果等 ※できるだけ数値等を記載	<ul style="list-style-type: none"> ・各地区公民館対抗スポーツ大会参加者 豊科地域：1,700人 穂高地域：970人 三郷地域：969人 堀金地域：243人 明科地域：530人 ・各地域文化祭・芸能発表会等 豊科地域：3,110人 穂高地域：483人(参加・出展者のみ) 三郷地域：2,836人 堀金地域：3,300人 明科地域：1,040人 ・総合芸術展 出展数：88点 来場者：1069人 		
6. 来年度以降の当該施策推進に向けての課題等			
7. 第2次教育大綱(H30～34年度)への記載の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし 【「なし」の理由】 ※経緯、法律・制度改正及び他の事業との統合等の理由を記載		
8. その他特記事項			

(様式1)

平成28年度・29年度 第1次安曇野市教育大綱 行動計画検証シート

項目	4 生涯学習	所管課・係	生涯学習課 社会教育担当
1. 行動計画名	(4) 学習成果を活かし支え合う協働のまちづくり		
2. 個別施策名	イ ボランティア活動の推進		
3. 平成28年度の取組み内容	・ボランティア活動の推進は、子どもから高齢者まであらゆる市民が、積極的に取り組めるよう、情報提供や団体・組織等の育成が必要であり、各地区公民館における活動（日赤奉仕団等）をさらに推進する。 ・社協と連携し、ボランティア団体の新規育成とともにボランティアに関する意識の高揚を図る。		
4. 平成29年度の取組み内容（実施予定を含む）	・本年度は平成30年度から5年間の地域福祉計画を策定する年度であり、社協の地域福祉活動計画と連携した計画のもと、福祉意識の一層の高揚を図り、市地域福祉計画の施策の柱の1つになっている「生涯学習の促進」にも繋げていく。		
5. 施策推進による主な成果等 ※できるだけ数値等を記載	・ボランティア団体数（203団体）		
6. 来年度以降の当該施策推進に向けての課題等			
7. 第2次教育大綱（H30～34年度）への記載の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし 【「なし」の理由】 ※経緯、法律・制度改正及び他の事業との統合等の理由を記載		
8. その他特記事項			

(様式1)

平成28年度・29年度 第1次安曇野市教育大綱 行動計画検証シート

項目	4 生涯学習	所管課・係	生涯学習課 社会教育担当
1. 行動計画名	(4) 学習成果を活かし支え合う協働のまちづくり		
2. 個別施策名	ウ 市民と行政の協働や市民交流の推進		
3. 平成28年度 の取組み内容	<p>○市民と行政の協働の推進</p> <ul style="list-style-type: none">・市民活動サポートセンターに市民活動のための交流の場を設け、あわせて情報の収集と発信、スキルアップのための講座開催、相談、コーディネート等を行った。また、つながりひろがる地域づくり事業補助金を交付し、市民活動の支援及び促進を図った。・協働フォーラムや成果発表会を開催したり事例集を作成するなどして、協働への理解を深める機会を設けた。また、人材育成のための講座を開設した。・市民、地元区及び関係団体と協働で、光城山1000人SAKURAプロジェクトに取り組み、サクラの植樹、歴史講座、交流会等を実施した。 <p>【平成28年度実績】</p> <p>市民活動サポートセンター講座（くるりん講座他）：15回</p> <p>○地域公民館の機能の充実</p> <ul style="list-style-type: none">・市民自らが主体となって人づくりや住みやすい地域づくりに取り組むとき、地域公民館がその拠り所となるよう機能を充実する。・明科公民館 平成24年度竣工 穂高公民館 平成25年度竣工 豊科公民館 平成27年度竣工 三郷公民館 平成28年度竣工 <p>【平成28年度実績】</p> <p>豊科公民館：869件 穂高公民館：1850件 三郷公民館：1608件 堀金公民館：2127件 明科公民館：2172件</p>		
4. 平成29年度 の取組み内容 (実施予定を 含む)	<p>○市民と行政の協働の推進</p> <ul style="list-style-type: none">・平成29年4月1日施行の安曇野市自治基本条例に基づく協働によるまちづくりを推進するため、出前講座等を通じて条例の周知を図る。・市民活動サポートセンター登録団体数を増やすとともに、諸事業により主体的な市民活動の促進・支援を図る。 <p>○地域公民館の機能の充実</p> <ul style="list-style-type: none">・市民自らが主体となって人づくりや住みやすい地域づくりに取り組むとき、地域公民館がその拠り所となるよう機能を充実する。 <p>【平成29年度予定】</p> <ul style="list-style-type: none">・堀金公民館 平成29年度竣工		

<p>5. 施策推進による主な成果等 ※できるだけ数値等を記載</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市民活動センターへの登録団体数 (59 団体) ・ 地域公民館団体利用件数 (豊科の劇場を除く) (8,626 件/年)
<p>6. 来年度以降の当該施策推進に向けての課題等</p>	
<p>7. 第2次教育大綱 (H30~34年度)への記載の必要性</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>あり <input type="checkbox"/>なし 【「なし」の理由】 ※経緯、法律・制度改正及び他の事業との統合等の理由を記載</p>
<p>8. その他特記事項</p>	

(様式1)

平成28年度・29年度 第1次安曇野市教育大綱 行動計画検証シート

項目	4 生涯学習	所管課・係	生涯学習課 社会教育担当
1. 行動計画名	(5) 一人ひとりが伝える役割を果たすまちづくり		
2. 個別施策名	ア 生涯の各段階に応じ役割を果たすまちづくり		
3. 平成28年度の取組み内容	・平成28年度市内10小学校において延べ312日実施、延べ参加人数24,991人		
4. 平成29年度の取組み内容 (実施予定を含む)	・放課後の児童の安全、安心な居場所づくりの実施		
5. 施策推進による主な成果等 ※できるだけ数値等を記載	・放課後子ども教室登録児童数(991人/年)		
6. 来年度以降の当該施策推進に向けての課題等			
7. 第2次教育大綱(H30~34年度)への記載の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし 【「なし」の理由】 ※経緯、法律・制度改正及び他の事業との統合等の理由を記載		
8. その他特記事項			

(様式1)

平成28年度・29年度 第1次安曇野市教育大綱 行動計画検証シート

項目	4 生涯学習	所管課・係	生涯学習課 社会教育担当
1. 行動計画名	(5) 一人ひとりが伝える役割を果たすまちづくり		
2. 個別施策名	イ 風土に根ざした技や知恵を広げ伝える仕組みの構築		
3. 平成28年度の取組み内容	・豊科郷土博物館：「安曇野歴史散歩」「昔の暮らしを体験しよう！」など		
4. 平成29年度の取組み内容 (実施予定を含む)	・昔から伝えられてきた暮らしの技や知恵を、地域において伝承してきている人たちの発掘や、その人たちが持つ技や知恵などを、誰もが見て学べるように、情報としての整理が必要。 ・伝承されてきた技や知恵の高さについて認識を高め、多くの人がこれらを体験し、身につけ、さらに伝えていく機会を充実する。		
5. 施策推進による主な成果等 ※できるだけ数値等を記載	・文化課において成果をとりまとめている（地域文化の理解と尊重及び伝統文化や郷土芸能の保存と継承）。		
6. 来年度以降の当該施策推進に向けての課題等			
7. 第2次教育大綱（H30～34年度）への記載の必要性	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし 【「なし」の理由】 ※経緯、法律・制度改正及び他の事業との統合等の理由を記載 6 文化振興(2) 伝えたい安曇野の文化 イ地域文化の理解と尊重及び伝統文化や郷土芸能の保存と継承に統合。		
8. その他特記事項			

(様式1)

平成28年度・29年度 第1次安曇野市教育大綱 行動計画検証シート

項目	4 生涯学習	所管課・係	生涯学習課 社会教育担当
1. 行動計画名	(5) 一人ひとりが伝える役割を果たすまちづくり		
2. 個別施策名	ウ リーダーバンク制度の充実		
3. 平成28年度 の取組み内容	・リーダーバンク設置要綱に基づき、生涯学習の指導を行う者を13分野登録し、周知・活用した。(15件の問合せ・利用あり)		
4. 平成29年度 の取組み内容 (実施予定を 含む)	・リーダーバンク設置要綱に基づき、生涯学習の指導を行う者を13分野登録し、周知・活用する。 ・今年度は、リーダーバンク登録者の更新を行う(2年に1回)ため、指導者を増やすための周知(広報等)を行う予定。		
5. 施策推進に よる主な成果 等 ※できるだけ数 値等を記載	・リーダーバンク登録数(個人2・団体72/年) 更新:70 新規登録:4		
6. 来年度以降 の当該施策推 進に向けての 課題等	・リーダーバンク登録者の研修会等を開催し、登録者同士の情報交換や質の向上を目指す。 ・リーダーバンクの活用を増やすために、市の広報や地区公民館への周知等を計画的に行う。		
7. 第2次教育 大綱(H30~34 年度)への記載 の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし 【「なし」の理由】 ※経緯、法律・制度改正及び他の事業との統合等の理由を記載		
8. その他特記 事項			

(様式1)

平成28年度・29年度 第1次安曇野市教育大綱 行動計画検証シート

項目	5 スポーツ振興	所管課・係	生涯学習課 スポーツ推進担当
1. 行動計画名	(1) 生涯スポーツの推進		
2. 個別施策名	ア 子どもスポーツ活動の推進		
3. 平成28年度の取組み内容	①親子ウキウキ体操教室の開催(年中児～年長児) 全4教室で延べ80回開催(5～12月)、延べ2,307人が参加 ②親子スポーツ教室の開催(2歳児～就園前) 全1教室で24回開催(5～2月)、延べ977人が参加 ③わんぱくGYM教室の開催(年中児～年長児) 全4教室で延べ50回開催(5～2月)、延べ1,013人が参加		
4. 平成29年度の取組み内容(実施予定を含む)	①親子ウキウキ体操教室の開催(年中児～年長児) 全4教室で各教室の定員は25組、延べ80回開催予定(5～12月) ②親子スポーツ教室の開催(2歳児～就園前) 全1教室で定員は40組、24回開催予定(5～2月) ③わんぱくGYM教室の開催(年中児～年長児) 全4教室で各教室の定員は25人、延べ50回開催予定(5～2月)		
5. 施策推進による主な成果等 ※できるだけ数値等を記載	就学前の子どもが器具等を使った運動を行い、運動に親しむきっかけづくりを行うことができた。 (数値等は上記3に記載)		
6. 来年度以降の当該施策推進に向けての課題等	内容の精査を図りながら、継続していきたいと考えている。		
7. 第2次教育大綱(H30～34年度)への記載の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし 【「なし」の理由】 ※経緯、法律・制度改正及び他の事業との統合等の理由を記載		
8. その他特記事項			

(様式1)

平成28年度・29年度 第1次安曇野市教育大綱 行動計画検証シート

項目	5 スポーツ振興	所管課・係	生涯学習課 スポーツ推進担当
1. 行動計画名	(1) 生涯スポーツの推進		
2. 個別施策名	イ スポーツに親しむ機会の充実		
3. 平成28年度 の取組み内容	各種スポーツ教室の開催 (ニュースポーツ教室、ヘルスアップ教室、スマイルステップ教室、ウェーブリングストレッチ教室、ピラティス教室、ヨガ教室、インターバル速歩講座<体験会を含む>、ノルディック・ウォーク講習会、ポールウォーキング講習会、安曇野ウォーキング、ボディシェイプアップ教室、アーチェリー教室、ファミリースポーツカフェ<委託事業>、ランニングクリニック)		
4. 平成29年度 の取組み内容 (実施予定を 含む)	各種スポーツ教室の開催 (㊟スラックライン体験会、アーチェリー教室、ニュースポーツ教室、ポールウォーキング教室、㊟男のコンディショニングエクササイズ教室、ウェーブリングストレッチ教室、ピラティス教室、ヨガ教室、ノルディックウォーク教室、㊟スポーツ吹矢体験会、㊟エクササイズ体験教室、ボディシェイプアップ教室、インターバル速歩講座<体験会を含む>、㊟障がい者スポーツ体験会、ランニングクリニック)		
5. 施策推進による 主な成果等 ※できるだけ数 値等を記載	全て(子ども対象の教室も含む)のスポーツ教室の平成28年度の状況は次のとおり。定員数：1,810人 申込者数：1,469人 延べ参加人数：12,887人 平均参加率：78.8% 近年は、教室内容の精査や定員数を増やすなどしながら、運動に親しむ機会の充実を図っている。		
6. 来年度以降 の当該施策推 進に向けての 課題等	一般向けの教室については、参加者の年齢層の幅(10代~80代)が広く、講師が内容を考える際に苦慮されている。一定の年齢制限を設けることができれば良いが、他の課(健康推進課、介護保険課など)との連携が必要になってくるものと思われる。		
7. 第2次教育 大綱(H30~34 年度)への記載 の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし 【「なし」の理由】 ※経緯、法律・制度改正及び他の事業との統合等の理由を記載		
8. その他特記 事項			

(様式1)

平成28年度・29年度 第1次安曇野市教育大綱 行動計画検証シート

項目	5 スポーツ振興	所管課・係	生涯学習課 スポーツ推進担当
1. 行動計画名	(1) 生涯スポーツの推進		
2. 個別施策名	ウ スポーツによる健康・体力づくりの推進		
3. 平成28年度の取組み内容	前記(1)イに記載した内容と同様。		
4. 平成29年度の取組み内容 (実施予定を含む)	前記(1)イに記載した内容と同様。		
5. 施策推進による主な成果等 ※できるだけ数値等を記載	前記(1)イに記載した内容と同様。		
6. 来年度以降の当該施策推進に向けての課題等	前記(1)イに記載した内容と同様。		
7. 第2次教育大綱(H30~34年度)への記載の必要性	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし 【「なし」の理由】 ※経緯、法律・制度改正及び他の事業との統合等の理由を記載 前頁(1)イの内容と組み合わせて実施していく予定		
8. その他特記事項			

(様式1)

平成28年度・29年度 第1次安曇野市教育大綱 行動計画検証シート

項目	5 スポーツ振興	所管課・係	生涯学習課 スポーツ推進担当
1. 行動計画名	(1) 生涯スポーツの推進		
2. 個別施策名	エ コーディネーショントレーニングの普及		
3. 平成28年度の取組み内容	・前年度は市内保育園9園での実施であったが、13園に拡大して「幼保育園コーディネーショントレーニング(COT)派遣事業」を実施した。 ・COTキッズ教室を2期(全10回)開催した。 ・指導者育成のため、ブロンズセミナーを開催した。		
4. 平成29年度の取組み内容(実施予定を含む)	・前年度13園であった「幼保育園コーディネーショントレーニング(COT)派遣事業」については、18園まで拡大して実施予定。 ・COTキッズ教室を2期(全10回)開催する予定。 ・市内の保育士を対象とした「学ぶ会」を開催予定。		
5. 施策推進による主な成果等 ※できるだけ数値等を記載	いろいろな動きにチャレンジすることで脳と神経回路を刺激し、運動学習能力を高めるトレーニング。特に10歳までに継続的に行うことで、運動能力を向上させる可能性が高まるものと考えている。		
6. 来年度以降の当該施策推進に向けての課題等	平成29年度は市内の1園を除く全ての認定子ども園への派遣を実施することができたが、講師の人数が限られているため、1園当たりの派遣頻度が低下している。今後は、市内の保育士を対象とした学ぶ会を定期的に行い、保育士自身が指導を実施できるような体制へと移行していきたい。なお、現在の講師については、小学校低学年を対象に実施できるようにしていきたい。		
7. 第2次教育大綱(H30~34年度)への記載の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし 【「なし」の理由】 ※経緯、法律・制度改正及び他の事業との統合等の理由を記載		
8. その他特記事項			

(様式1)

平成28年度・29年度 第1次安曇野市教育大綱 行動計画検証シート

項目	5 スポーツ振興	所管課・係	生涯学習課 スポーツ推進担当
1. 行動計画名	(1) 生涯スポーツの推進		
2. 個別施策名	オ スポーツに親しむための情報サービスの向上		
3. 平成28年度の取組み内容	・ 各種の情報(チラシ)を市内の公共施設(本庁舎、支所、体育施設、公民館など)に置き、周知。 ・ 広報誌を通じた情報提供 ・ 市のホームページやツイッターを活用した情報提供		
4. 平成29年度の取組み内容(実施予定を含む)	同上		
5. 施策推進による主な成果等 ※できるだけ数値等を記載			
6. 来年度以降の当該施策推進に向けての課題等	各年代のニーズにあった情報提供方法を今後も模索していく必要がある。		
7. 第2次教育大綱(H30~34年度)への記載の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし 【「なし」の理由】 ※経緯、法律・制度改正及び他の事業との統合等の理由を記載		
8. その他特記事項			

(様式1)

平成28年度・29年度 第1次安曇野市教育大綱 行動計画検証シート

項目	5 スポーツ振興	所管課・係	生涯学習課 スポーツ推進担当
1. 行動計画名	(2) スポーツ施設の整備と有効活用		
2. 個別施策名	ア 公共スポーツ施設の整備・充実		
3. 平成28年度 の取組み内容	安曇野市公式スポーツ施設整備計画の中で、最も施設整備の優先順位が高いとされた新総合体育館の建設に向けて、新総合体育館整備基本計画を策定した。		
4. 平成29年度 の取組み内容 (実施予定を 含む)	新総合体育館整備基本計画で計画した、新総合体育館の整備に向けて、新総合体育館建設基本設計をとりまとめる。		
5. 施策推進に よる主な成果 等 ※できるだけ数 値等を記載	新総合体育館整備基本計画を策定した。		
6. 来年度以降 の当該施策推 進に向けての 課題等	合併特例債の発行期限である、平成32年度末までに新総合体育館を完成させなければならない。		
7. 第2次教育 大綱(H30~34 年度)への記載 の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし 【「なし」の理由】 ※経緯、法律・制度改正及び他の事業との統合等の理由を記載		
8. その他特記 事項			

(様式1)

平成28年度・29年度 第1次安曇野市教育大綱 行動計画検証シート

項目	5 スポーツ振興	所管課・係	生涯学習課 スポーツ推進担当
1. 行動計画名	(2) スポーツ施設の整備と有効活用		
2. 個別施策名	イ 自然を生かしたスポーツ環境づくり		
3. 平成28年度 の取組み内容	市内6施設のマレットゴルフ場においては、指定管理者制度を導入し、地元マレットゴルフ協会等へ管理を委託し、自然を生かしたコースづくり等、より良い施設整備を図っている。また、平成28年度で指定管理者契約期間が終了するのに伴い、施設管理の経験を生かしていただくため、平成29年度以降5年間の指定管理契約の継続手続きを行った。		
4. 平成29年度 の取組み内容 (実施予定を 含む)	指定管理制度を導入している市内6施設のマレットゴルフ場は、平成29年度以降も5年間の指定管理契約の継続を行い、快適な環境づくりと施設の安全確保に努めていただいている。		
5. 施策推進に よる主な成果 等 ※できるだけ数 値等を記載	指定管理者制度を導入しているマレットゴルフ場入場者 豊科水辺公園マレットゴルフ場及び豊科水辺マレットノース 18 25,829人 権現宮マレットゴルフ場 24,788人 穂高立足マレットゴルフ場 11,000人 三郷黒沢マレットゴルフ場 11,948人 御宝田マレットゴルフ場 11,343人		
6. 来年度以降 の当該施策推 進に向けての 課題等	指定管理者となっているマレットゴルフ協会等の会員の高齢化 施設の老朽化		
7. 第2次教育 大綱 (H30～34 年度)への記載 の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし 【「なし」の理由】 ※経緯、法律・制度改正及び他の事業との統合等の理由を記載		
8. その他特記 事項			

(様式1)

平成28年度・29年度 第1次安曇野市教育大綱 行動計画検証シート

項目	5 スポーツ振興	所管課・係	生涯学習課 スポーツ推進担当
1. 行動計画名	(3) 競技スポーツの振興と指導者の育成		
2. 個別施策名	ア 選手の育成・支援		
3. 平成28年度の取組み内容	・ 激励金の交付（全国大会等に参加する選手に対する支援） ＜交付額等：1,030千円（全国大会80件、世界大会3件）＞ ・ 体育協会への補助金：6,200千円、スポーツ少年団への補助金：4,400千円		
4. 平成29年度の取組み内容（実施予定を含む）	同上		
5. 施策推進による主な成果等 ※できるだけ数値等を記載	選手等の活動に対して、資金的な支援を実施しており、一定の成果はあるものと考えている。		
6. 来年度以降の当該施策推進に向けての課題等	体協等への補助については、市での実施が難しい「競技力向上」の観点に、より注力していただくような方向性を検討していきたい。		
7. 第2次教育大綱（H30～34年度）への記載の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし 【「なし」の理由】 ※経緯、法律・制度改正及び他の事業との統合等の理由を記載		
8. その他特記事項			

(様式1)

平成28年度・29年度 第1次安曇野市教育大綱 行動計画検証シート

項目	5 スポーツ振興	所管課・係	生涯学習課 スポーツ推進担当
1. 行動計画名	(3) 競技スポーツの振興と指導者の育成		
2. 個別施策名	イ 高い技術に触れる機会の充実		
3. 平成28年度 の取組み内容	・プロバスケットボール（bjリーグ・信州ブレイブウォリアーズ）の試合（プレシーズンゲーム）の後援 ・Vプレミアリーグに所属するジェイテクト STINGS が主体となるバレーボール教室の後援		
4. 平成29年度 の取組み内容 （実施予定を 含む）	同上		
5. 施策推進に よる主な成果 等 ※できるだけ数 値等を記載	国内のトップリーグなどに所属するチームの試合や練習などを見ることで、その競技に対する興味ややる気の向上が図られるものと考えている。		
6. 来年度以降 の当該施策推 進に向けての 課題等	市内の現状の体育施設では、全国レベルの競技を開催することが難しい。		
7. 第2次教育 大綱（H30～34 年度）への記載 の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし 【「なし」の理由】 ※経緯、法律・制度改正及び他の事業との統合等の理由を記載		
8. その他特記 事項			

(様式1)

平成28年度・29年度 第1次安曇野市教育大綱 行動計画検証シート

項目	5 スポーツ振興	所管課・係	生涯学習課 スポーツ推進担当
1. 行動計画名	(3) 競技スポーツの振興と指導者の育成		
2. 個別施策名	ウ 指導者の養成と指導体制の活性化		
3. 平成28年度の取組み内容	青少年スポーツ指導者講習会を開催 期日：平成29年2月26日(日) 講師：渋谷崇行さん(一般財団法人スポーツフォーキッズジャパン代表) 内容：ジュニアスポーツ指導者のための役に立つスポーツ心理学セミナー		
4. 平成29年度の取組み内容(実施予定を含む)	青少年スポーツ指導者講習会を開催予定 期日：平成29年2月25日(日) 講師：徳武有紀さん(一般財団法人日本ペップトーク普及協会) 内容：(仮題)ペップトーク～目標を達成させる最強のショートスピーチ～		
5. 施策推進による主な成果等 ※できるだけ数値等を記載	青少年のスポーツ指導者の資質向上の一助になるものと考えている。		
6. 来年度以降の当該施策推進に向けての課題等	指導者の不足や資質面での課題など、スポーツ指導者を取り巻く環境は今まで以上に難しくなっているものと考えている。 講習会の複数開催や、指導者の資格取得に対する支援策なども検討していく必要があるものと考えている。		
7. 第2次教育大綱(H30～34年度)への記載の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし 【「なし」の理由】 ※経緯、法律・制度改正及び他の事業との統合等の理由を記載		
8. その他特記事項			

(様式1)

平成28年度・29年度 第1次安曇野市教育大綱 行動計画検証シート

項目	5 スポーツ振興	所管課・係	生涯学習課 スポーツ推進担当
1. 行動計画名	(4) 高齢者・障がい者スポーツの推進		
2. 個別施策名	ア 高齢者スポーツ活動の支援		
3. 平成28年度 の取組み内容	(明確な年齢制限を設けている教室) インターバル速歩講座 (50歳以上)		
4. 平成29年度 の取組み内容 (実施予定を 含む)	(明確な年齢制限を設けている教室) インターバル速歩講座 (50歳以上)		
5. 施策推進に よる主な成果 等 ※できるだけ数 値等を記載	・インターバル速歩講座には40人が参加し、全13回の出席率は88%であった。 また、体験会を5回開催し、126人の参加があった。		
6. 来年度以降 の当該施策推 進に向けての 課題等	・高齢者スポーツは、他の課(介護保険課など)と連携をしながら、年代の棲 み分けをした方が良いと思われる。		
7. 第2次教育 大綱(H30~34 年度)への記載 の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし 【「なし」の理由】 ※経緯、法律・制度改正及び他の事業との統合等の理由を記載		
8. その他特記 事項			

(様式1)

平成28年度・29年度 第1次安曇野市教育大綱 行動計画検証シート

項目	5 スポーツ振興	所管課・係	生涯学習課 スポーツ推進担当
1. 行動計画名	(4) 高齢者・障がい者スポーツの推進		
2. 個別施策名	イ 障がい者スポーツ活動の支援		
3. 平成28年度の の取り組み内容	・リオパラリンピックの陸上競技に参加した樋口選手の応援 (壮行会、パブリックビューイング、報告会の開催) ・障がい者クライミング教室 ※企画したが、参加者がいなかったため開催できなかった。		
4. 平成29年度 の取り組み内容 (実施予定を 含む)	・障がい者スポーツ体験会(ブラインドサッカー、車いすバスケットボール、 ボッチャ)		
5. 施策推進に よる主な成果 等 ※できるだけ数 値等を記載	・障がい者クライミング教室は、企画したが、参加者がいなかったため開催で きなかった。		
6. 来年度以降 の当該施策推 進に向けての 課題等	・障がい者スポーツについては、企画しても参加者がいないなど課題がある。 イベント時に各種スポーツが体験できる機会を設けるなど、他のスポーツ教 室の開催とは違う手法を用いていく必要があるものと思われる。また、福祉 課(障がい福祉担当)との連携も重要と思われる。		
7. 第2次教育 大綱(H30~34 年度)への記載 の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし 【「なし」の理由】 ※経緯、法律・制度改正及び他の事業との統合等の理由を記載		
8. その他特記 事項			

(様式1)

平成28年度・29年度 第1次安曇野市教育大綱 行動計画検証シート

項目	5 スポーツ振興	所管課・係	生涯学習課 スポーツ推進担当
1. 行動計画名	(5) スポーツを通じたコミュニティづくり		
2. 個別施策名	ア 総合型地域スポーツクラブの育成支援		
3. 平成28年度の取組み内容	・委託事業（ファミリースポーツカフェ）による支援 ・独自活動のチラシ配布等の支援		
4. 平成29年度の取組み内容（実施予定を含む）	同上		
5. 施策推進による主な成果等 ※できるだけ数値等を記載	・ファミリースポーツカフェは全6回で202人の参加があった。		
6. 来年度以降の当該施策推進に向けての課題等	市内唯一のクラブとして、今後も地域スポーツ活動の一助を担っていただきたいと考えているが、運営（資金）で苦慮している面もある。 市から今まで以上の支援をすることが必要と考えている。		
7. 第2次教育大綱（H30～34年度）への記載の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし 【「なし」の理由】 ※経緯、法律・制度改正及び他の事業との統合等の理由を記載		
8. その他特記事項			

(様式1)

平成28年度・29年度 第1次安曇野市教育大綱 行動計画検証シート

項目	5 スポーツ振興	所管課・係	生涯学習課 スポーツ推進担当
1. 行動計画名	(5) スポーツを通じたコミュニティづくり		
2. 個別施策名	イ スポーツを通じた交流の充実		
3. 平成28年度 の取組み内容	市民スポーツ祭総合開会式及びスポーツ交流会等の開催		
4. 平成29年度 の取組み内容 (実施予定を 含む)	同上		
5. 施策推進に よる主な成果 等 ※できるだけ数 値等を記載	市民スポーツ祭総合開会式等には、300人を超える参加者があった。		
6. 来年度以降 の当該施策推 進に向けての 課題等	市民スポーツ祭の種目別競技会は、全17種目が6月～12月の間で開催されている。他種目の方々が一同に会するような機会を設け、人と人がつながるようなイベントなどを開催していく必要があるものと思われる。 また、平成31年度に10回目となる総合開会式等の内容についても、検討していく必要がある。		
7. 第2次教育 大綱(H30～34 年度)への記載 の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし 【「なし」の理由】 ※経緯、法律・制度改正及び他の事業との統合等の理由を記載		
8. その他特記 事項			

(様式1)

平成28年度・29年度 第1次安曇野市教育大綱 行動計画検証シート

項目	5 スポーツ振興	所管課・係	生涯学習課 スポーツ推進担当
1. 行動計画名	(5) スポーツを通じたコミュニティづくり		
2. 個別施策名	ウ スポーツボランティア活動の推進		
3. 平成28年度 の取組み内容	安曇野ハーフマラソンにおける活動 (所管：観光交流促進課)		
4. 平成29年度 の取組み内容 (実施予定を 含む)	同上		
5. 施策推進に よる主な成果 等 ※できるだけ数 値等を記載	特記事項なし		
6. 来年度以降 の当該施策推 進に向けての 課題等	現在の状況とすれば、主にハーフマラソンのみが活動の場となっており、それ以外の活動場所がない状況である。ボランティアの組織体制の構築とともに、活動場所を確保できるようなイベントなどの開催も併せて検討していく必要があるものと思われる。		
7. 第2次教育 大綱 (H30～34 年度)への記載 の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし 【「なし」の理由】 ※経緯、法律・制度改正及び他の事業との統合等の理由を記載		
8. その他特記 事項			

(様式1)

平成28年度・29年度 第1次安曇野市教育大綱 行動計画検証シート

項目	5 スポーツ振興	所管課・係	生涯学習課 スポーツ推進担当
1. 行動計画名	(6) 安曇野市公式スポーツ施設整備計画の推進		
2. 個別施策名			
3. 平成28年度 の取組み内容	安曇野市公式スポーツ施設整備計画の中で最も施設整備の優先順位が高いとされた、新総合体育館の建設に向けて、新総合体育館整備基本計画を策定した。		
4. 平成29年度 の取組み内容 (実施予定を 含む)	新総合体育館整備基本計画で計画した、新総合体育館の整備に向けて、新総合体育館建設基本設計をとりまとめる。		
5. 施策推進に よる主な成果 等 ※できるだけ数 値等を記載	新総合体育館整備基本計画を策定した。		
6. 来年度以降 の当該施策推 進に向けての 課題等	合併特例債の発行期限である、平成32年度末までに新総合体育館を完成させなければならない。		
7. 第2次教育 大綱(H30~34 年度)への記載 の必要性	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし 【「なし」の理由】 ※経緯、法律・制度改正及び他の事業との統合等の理由を記載 5(2)アと同じため、統合する。		
8. その他特記 事項			

(様式1)

平成28年度・29年度 第1次安曇野市教育大綱 行動計画検証シート

項目	6 文化振興	所管課・係	文化課 文化財保護係・博物館係
1. 行動計画名	(1) 残したい安曇野の文化		
2. 個別施策名	ア 自然との共生と自然環境の保全		
3. 平成28年度の取組み内容	安曇野市レッドデータ展(豊科郷土博物館) 自然講座「安曇野の自然の魅力」(豊科郷土博物館) 自然講座「生きものたちが歩んできたはるかなる道を辿る」(豊科郷土博物館) 自然講座「早春賦の碑から三角島周辺」(豊科郷土博物館) 豊科南小他市内5小学校「昆虫出前展示」(豊科郷土博物館・新市立博物館準備室) 明科中学校他市内4中学校「岩石出前展示」(豊科郷土博物館・新市立博物館準備室) 教育会館「昆虫出前展示」(豊科郷土博物館・新市立博物館準備室) 出前講座「岩原自然観察会」(豊科郷土博物館) 等		
4. 平成29年度の取組み内容(実施予定を含む)	安曇野市レッドデータ展(豊科郷土博物館) 自然講座の開催(豊科郷土博物館) 小中学校「出前展示」(豊科郷土博物館・新市立博物館準備室) 出前講座(豊科郷土博物館) 等		
5. 施策推進による主な成果等 ※できるだけ数値等を記載	安曇野市レッドデータ展Ⅰ 入館者763人(豊科郷土博物館) 安曇野市レッドデータ展Ⅱ 入館者690人(豊科郷土博物館) 自然講座「安曇野の自然の魅力」参加者63人(豊科郷土博物館) 自然講座「生きものたちが歩んできたはるかなる道を辿る」参加者41人(豊科郷土博物館) 自然講座「早春賦の碑から三角島周辺」参加者16人(豊科郷土博物館) 小学校「昆虫出前展示」豊科南小他市内5校開催(豊科郷土博物館・新市立博物館準備室) 中学校「岩石出前展示」明科中学校他市内4校開催(豊科郷土博物館・新市立博物館準備室) 教育会館「昆虫出前展示」299人観覧(豊科郷土博物館・新市立博物館準備室) 出前講座「岩原自然観察会」(豊科郷土博物館) 参加者19人		
6. 来年度以降の当該施策推進に向けての課題等	専門職員の人材確保		
7. 第2次教育大綱(H30~34年度)への記載の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし 【「なし」の理由】 ※経緯、法律・制度改正及び他の事業との統合等の理由を記載		
8. その他特記事項			

(様式1)

平成28年度・29年度 第1次安曇野市教育大綱 行動計画検証シート

項目	6 文化振興	所管課・係	文化課 文化財保護係
1. 行動計画名	(1) 残したい安曇野の文化		
2. 個別施策名	イ 文化的景観の保全		
3. 平成28年度の 取り組み内容	安曇野市民家調査 平成24～26年に実施した安曇野市民家調査の総括として、市内の特徴的な古民家の間取等の詳細調査と、本棟、直屋、茅葺等の古民家が点在する「豊科高家飯田地区」の民家調査と、文化的景観にたった集落形成等の変遷に関する調査を行った。		
4. 平成29年度の 取り組み内容 (実施予定を 含む)	古民家調査(継続) 特徴的な古民家の間取等の詳細調査		
5. 施策推進に よる主な成果 等 ※できるだけ数 値等を記載	曇野市民家調査 特徴的な古民家の間取等の詳細調査 本棟造り・・・4棟 直屋・・・1棟 茅 葺・・・2棟 町屋・・・1棟 「豊科高家飯田地区」、文化的景観にたった集落形成等の変遷に関する調査		
6. 来年度以降 の当該施策推 進に向けての 課題等	市内にある古民家のうち、取り壊しを予定している物件について、できるだけ記録保存をはかる。		
7. 第2次教育 大綱(H30～34 年度)への記載 の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし 【「なし」の理由】 ※経緯、法律・制度改正及び他の事業との統合等の理由を記載		
8. その他特記 事項			

(様式1)

平成28年度・29年度 第1次安曇野市教育大綱 行動計画検証シート

項目	6 文化振興	所管課・係	文化課 文化振興係・文化財保護係																											
1. 行動計画名	(2) 伝えたい安曇野の文化																													
2. 個別施策名	ア 先人の顕彰と資料・作品の計画的な収集																													
3. 平成28年度の取組み内容	貞享義民記念館・田淵行男記念館・高橋節郎記念美術館・飯沼飛行士記念館・ 臼井吉見文学館・熊井啓記念館の運営 小室孝雄・等々力巳吉・高橋節郎・田淵行男作品及び資料の収集 安曇野市にとって重要な地域資料の収集 信州安曇野能楽鑑賞会の実施 第5回田淵行男賞写真作品公募及び展覧会の実施 豊科郷土博物館及び新市立博物館準備室による企画展、出前展示（コンパクト 展示）の実施 出前講座：「よみがえる安曇野」上映会の開催																													
4. 平成29年度の取組み内容（実施予定を含む）	豊科郷土博物館・穂高郷土資料館・貞享義民記念館・田淵行男記念館・高橋節 郎記念美術館・飯沼飛行士記念館・臼井吉見文学館・熊井啓記念館の運営 高橋節郎・田淵行男作品及び資料の収集 安曇野市にとって重要な地域資料の収集 信州安曇野能楽鑑賞会の実施 豊科郷土博物館、貞享義民記念館及び新市立博物館準備室による企画展、出前 展示（コンパクト展示）の実施 豊科郷土博物館、穂高郷土資料館の常設展示の展示替え あづみのフィルムアーカイブ事業「よみがえる安曇野Ⅱ」の制作																													
5. 施策推進による主な成果等 ※できるだけ数値等を記載	博物館等の運営状況(平成28年度) <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>施設名</th> <th>運営</th> <th>利用者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>豊科近代美術館</td> <td rowspan="4">(公財) 安曇野文化財団</td> <td>23,826人</td> </tr> <tr> <td>田淵行男記念館</td> <td>10,790人</td> </tr> <tr> <td>飯沼飛行士記念館</td> <td>604人</td> </tr> <tr> <td>穂高陶芸会館</td> <td>2,278人</td> </tr> <tr> <td>臼井吉見文学館</td> <td>ほたるぶくろの会</td> <td>625人</td> </tr> <tr> <td>高橋節郎記念美術館</td> <td>直営</td> <td>14,335人</td> </tr> <tr> <td>豊科郷土博物館</td> <td>直営</td> <td>17,149人</td> </tr> <tr> <td>貞享義民記念館</td> <td>直営</td> <td>7,012人</td> </tr> <tr> <td>穂高郷土資料館</td> <td>直営</td> <td>1,180人</td> </tr> </tbody> </table> <p>出前展示（コンパクト展示） 総計26回、延べ460日開催 出前講座：「よみがえる安曇野」上映会 実施箇所20ヶ所 視聴者延べ1000人を超える</p>			施設名	運営	利用者数	豊科近代美術館	(公財) 安曇野文化財団	23,826人	田淵行男記念館	10,790人	飯沼飛行士記念館	604人	穂高陶芸会館	2,278人	臼井吉見文学館	ほたるぶくろの会	625人	高橋節郎記念美術館	直営	14,335人	豊科郷土博物館	直営	17,149人	貞享義民記念館	直営	7,012人	穂高郷土資料館	直営	1,180人
施設名	運営	利用者数																												
豊科近代美術館	(公財) 安曇野文化財団	23,826人																												
田淵行男記念館		10,790人																												
飯沼飛行士記念館		604人																												
穂高陶芸会館		2,278人																												
臼井吉見文学館	ほたるぶくろの会	625人																												
高橋節郎記念美術館	直営	14,335人																												
豊科郷土博物館	直営	17,149人																												
貞享義民記念館	直営	7,012人																												
穂高郷土資料館	直営	1,180人																												
6. 来年度以降の当該施策推進に向けての課題等	マネリ化した事業の見直し・実行委員会の高齢化 顕彰団体や研究者の高齢化・指定管理施設の見直し 新設の文書館で人物顕彰事業を計画的に推進する体制の構築																													

7. 第2次教育 大綱（H30～34 年度）への記 載の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし 【「なし」の理由】 ※経緯、法律・制度改正及び他の事業との統合等の理由を記載
8. その他特記 事項	

(様式1)

平成28年度・29年度 第1次安曇野市教育大綱 行動計画検証シート

項目	6 文化振興	所管課・係	文化課 文化振興係・文化財保護係・博物館係
1. 行動計画名	(2) 伝えたい安曇野の文化		
2. 個別施策名	イ 地域文化の理解と尊重及び伝統文化や郷土芸能の保存と継承		
3. 平成28年度の取組み内容	『ふるさと安曇野きのう・きょう・あした』(豊科郷土博物館広報誌)、『安曇野風土』、研究紀要、各町村誌などの刊行及び頒布 「安曇野 人の一生 大人＝一人前になるってどんなこと？」(豊科郷土博物館) 「長野県の遺跡発掘2016」「4000年前の縄文人」展(豊科郷土博物館) 「長野県の遺跡発掘2016巡回展 記念講演会&トーク」(豊科郷土博物館) 「民具ワークショップ①～⑤」(豊科郷土博物館) 博物館講座「縄文土器を作ろう!」(豊科郷土博物館) 「WS子どもの魔除け・背守りを作ろう」(豊科郷土博物館) 「ナイトミュージアム 手作りろうそくと夜の博物館で肝試し」(豊科郷土博物館) 「長野県の遺跡発掘2016巡回展遺跡報告会(豊科郷土博物館) 安曇野歴史散歩「岐阜県関市現地見学」(豊科郷土博物館) 安曇野歴史散歩「明科廃寺のなぞに迫るV」(豊科郷土博物館) 「こたつ講座①～⑤」(豊科郷土博物館) 県立歴史館連携講座(豊科郷土博物館) 友の会戦時生活部との講座、講演会(豊科郷土博物館)等 出前展示「七夕展」(豊科郷土博物館・新市立博物館準備室) 出前展示「盆－先祖を迎える日－展」(豊科郷土博物館・新市立博物館準備室) 出前展示「秋の七草－千年の時を超えて－」(豊科郷土博物館・新市立博物館準備室) 出前展示「月を愛で秋の収穫を祝う」(豊科郷土博物館・新市立博物館準備室) 出前展示「多文化社会を生きる私たち」(豊科郷土博物館・新市立博物館準備室) 出前展示「正月様どこまでござった」(豊科郷土博物館・新市立博物館準備室) 出前展示「虫っておもしろい!」(豊科郷土博物館・新市立博物館準備室) 出前展示「安曇野の春の訪れ」(豊科郷土博物館・新市立博物館準備室) 出前展示「興味深々あづみのFOOD」(豊科郷土博物館・新市立博物館準備室) 市内小学校3校各2回出前授業(豊科郷土博物館) 出前講座の開催(豊科郷土博物館) 「水野氏と松本城②」(貞享義民記念館) 「義民を訪ねて⑰」(貞享義民記念館) 「義民を訪ねて⑱」(貞享義民記念館) 「貞享義民旧跡巡り」(貞享義民記念館) 「古文書歴史講座」(貞享義民記念館) 朗読会「おしゅん2016～加助騒動と少女」(貞享義民記念館) 等		

4. 平成 29 年度 の取組み内容 (実施予定を 含む)	『安曇野風土記』等の刊行及び頒布 出前展示 (豊科郷土博物館・新市立博物館準備室) 市内小学校出前授業 (豊科郷土博物館) 出前講座の開催 等 「安曇平のお船祭り」調査の実施 (H29~H31)
5. 施策推進に よる主な成果 等 ※できるだけ数 値等を記載	「安曇野 人の一生 大人＝一人前になるってどんなこと？」(豊科郷土博物館) 「長野県の遺跡発掘 2016」「4000 年前の縄文人」展 入館者数 6,496 人(豊科郷土博物館) 「長野県の遺跡発掘 2016 巡回展 記念講演会&トーク」参加者数 269 人(豊科郷土博物館) 「民具ワークショップ①～⑤」(豊科郷土博物館) 参加者数①2 人、②34 人、③16 人、④18 人、⑤3 人 博物館講座「縄文土器を作ろう!」(豊科郷土博物館) 参加者数 60 人 「WS 子どもの魔除け・背守りを作ろう」(豊科郷土博物館) 参加者数 14 人 「ナイトミュージアム 手作りろうそくと夜の博物館で肝試し」(豊科郷土博物館) 参加者数 49 人 「長野県の遺跡発掘 2016 巡回展遺跡報告会(豊科郷土博物館) 参加者数 61 人 安曇野歴史散歩「岐阜県関市現地見学」(豊科郷土博物館) 参加者数 37 人 安曇野歴史散歩「明科廃寺のなぞに迫るV」(豊科郷土博物館) 参加者数 80 人 「こたつ講座①～⑤」(豊科郷土博物館) 参加者数 157 人 市内小学校 3 校各 2 回出前授業 (豊科郷土博物館) 参加者数 631 人 出前講座の開催(豊科郷土博物館) 20 回 「水野氏と松本城②」(貞享義民記念館) 参加者 20 人 「義民を訪ねて⑰」(貞享義民記念館) 参加者 30 人 「義民を訪ねて⑱」(貞享義民記念館) 参加者 20 人 「貞享義民旧跡巡り」(貞享義民記念館) 参加者 19 人 「古文書歴史講座」(貞享義民記念館) 参加者 157 人 等
6. 来年度以降 の当該施策推 進に向けての 課題等	市で收藏している歴史資料の保存、活用等を見据えて、学芸務全般で郷土博物館、貞享義民記念館、文書館等と有機的な連携をしつつ、博物館構想を推進する必要がある。
7. 第 2 次教育 大綱 (H30～34 年度)への記載 の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし 【「なし」の理由】 ※経緯、法律・制度改正及び他の事業との統合等の理由を記載
8. その他特記 事項	

(様式1)

平成28年度・29年度 第1次安曇野市教育大綱 行動計画検証シート

項目	6 文化振興	所管課・係	文化課 文化振興係、博物館係
1. 行動計画名	(3) 感じたい安曇野の文化		
2. 個別施策名	ア 文化芸術施設の整備・充実		
3. 平成28年度の取組み内容	豊科近代美術館展示室天井等改装工事 田淵行男記念館地階エアコン取替工事 穂高陶芸会館駐車場整備工事・自火報修繕工事 文化財資料センター軒天剥落修繕工事 信州安曇野能楽鑑賞会のホールでの実施 安曇野文化講演会の実施		
4. 平成29年度の取組み内容 (実施予定を含む)	旧堀金公民館を安曇野市文書館としてリユースするための改修工事 豊科郷土博物館空調設備工事 田淵行男記念館壁紙張り替え工事 田淵行男記念館水庭改修工事 信州安曇野能楽鑑賞会のホールでの実施 県民コンサートの実施 安曇野文化講演会の実施		
5. 施策推進による主な成果等 ※できるだけ数値等を記載	(1)平成28年度文化講演会 来場者数 315人		
6. 来年度以降の当該施策推進に向けての課題等	穂高郷土資料館及び三郷・堀金の旧資料館には、多くの歴史・民俗・古文書等の資料が収蔵されているため、27年度策定した「安曇野市新市立博物館構想」においても新市立博物館設置後の統廃合までは施設の利活用を行っていく計画である。収蔵資料の活用等を見据えて、学芸務全般で準備室・郷土博物館と有機的な連携をしつつ、博物館構想を推進する必要がある。 「穂高鐘の鳴る丘集会所」の建物の傷みが進んでおり、市指定有形文化財のため、文化財保護審議会等の審議を踏まえて方向性を検討していく必要がある。 ホール事業の充実 美術館・博物館でのwifiの整備		
7. 第2次教育大綱(H30~34年度)への記載の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし 【「なし」の理由】 ※経緯、法律・制度改正及び他の事業との統合等の理由を記載		
8. その他特記事項			

(様式1)

平成28年度・29年度 第1次安曇野市教育大綱 行動計画検証シート

項目	6 文化振興	所管課・係	文化課 文化振興係
1. 行動計画名	(3) 感じたい安曇野の文化		
2. 個別施策名	イ 特色ある文化芸術施設の運営と施設間の連携強化		
3. 平成28年度の取組み内容	美術館博物館連携事業(ギャラリートークリレー・外国語パンフレットの発行・学校ミュージアム・出前ミュージアムの実施) 安曇野アートライン推進協議会事業への協力 上記の事業をとおして、施設間の連携を密にし、協力して事業を行った。		
4. 平成29年度の取組み内容(実施予定を含む)	美術館博物館連携事業(ワークショップ大集合・ギャラリートークリレー・学校ミュージアム・出前ミュージアムの実施) 安曇野アートライン推進協議会事業への協力 上記の事業をとおして、施設間の連携を密にし、協力して事業を行った。		
5. 施策推進による主な成果等 ※できるだけ数値等を記載	平成28年度 ア 美術館等連携事業印刷物等作成 市立美術館・博物館の年間行事予定一覧表を全校児童・生徒に配布。 イ ギャラリートークリレー・学校ミュージアム・外国語パンフレットの発行 ほか、文化庁の補助金を得て、市内公私立の美術館博物館で実行委員会を組織して諸事業を実施。児童の利用促進に結び付けることができた。 計2,127人		
6. 来年度以降の当該施策推進に向けての課題等	市民参画のあり方の検討		
7. 第2次教育大綱(H30~34年度)への記載の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし 【「なし」の理由】 ※経緯、法律・制度改正及び他の事業との統合等の理由を記載		
8. その他特記事項			

(様式1)

平成28年度・29年度 第1次安曇野市教育大綱 行動計画検証シート

項目	6 文化振興	所管課・係	文化課 文化振興係
1. 行動計画名	(3) 感じたい安曇野の文化		
2. 個別施策名	ウ 芸術鑑賞機会の充実と市民活動の育成支援		
3. 平成28年度の取組み内容	美術館博物館連携事業（ギャラリートークリレー・学校ミュージアム・出前ミュージアムの実施） 早春賦音楽祭・信州安曇野能楽鑑賞会等の実施		
4. 平成29年度の取組み内容（実施予定を含む）	美術館博物館連携事業（ギャラリートークリレー・学校ミュージアム・出前ミュージアムの実施） 早春賦音楽祭・信州安曇野能楽鑑賞会等の実施		
5. 施策推進による主な成果等 ※できるだけ数値等を記載	平成28年度(1) 第17回安曇野紙ヒコーキ競技大会 参加者数 60人 (2) 第12回あづみの公園早春賦音楽祭 来場者数 15,114人 (3) 第53回童謡まつり 来場者数 550人 (4) 第26回信州安曇野能楽鑑賞会 来場者数 565人 (5) 『安曇野文化』刊行 第19号～22号発行		
6. 来年度以降の当該施策推進に向けての課題等	事業のマンネリ化 実行委員会構成員の高齢化		
7. 第2次教育大綱（H30～34年度）への記載の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし 【「なし」の理由】 ※経緯、法律・制度改正及び他の事業との統合等の理由を記載		
8. その他特記事項			

(様式1)

平成28年度・29年度 第1次安曇野市教育大綱 行動計画検証シート

項目	6 文化振興	所管課・係	文化課 文化財保護係
1. 行動計画名	(4) 学びたい安曇野の文化		
2. 個別施策名	ア 文化財の保存と活用		
3. 平成28年度 の取組み内容	埋蔵文化財包蔵地内での記録保存（緊急発掘調査）の実施 緊急発掘調査等に伴う報告書の作成 埋蔵文化財資料や旧堀金民俗資料館の古書等の整理 文化財関連資料の刊行 発掘調査現地説明会への協力 埋蔵文化財出土資料を活用した展示（「長野県の遺跡発掘2016」） 指定文化財保護のための補助事業の実施 文化財保護柵等改修といわれの地標柱等建替え工事 文化財マップの作成		
4. 平成29年度 の取組み内容 （実施予定を 含む）	埋蔵文化財包蔵地内での記録保存（発掘調査）の実施 緊急発掘調査等に伴う報告書の作成 國學院大學主催、発掘調査（F9号墳）現地説明会への協力 埋蔵文化財出土資料を活用した展示（「長野県の遺跡発掘2017」「古墳で考える 安曇野のそもそも」） 指定文化財保護のための補助事業の実施 重要文化財會根原家住宅保存修理事業（H29・30） 文化財等説明板、標柱等の改修		
5. 施策推進に よる主な成果 等 ※できるだけ数 値等を記載	H26・27年度に実施した発掘調査報告書の刊行 4冊 公共・民間の事業開発に伴う発掘調査 民間3件 公共1件／試掘調査5件 発掘調査（F9号墳）現地説明会開催への協力 指定文化財保護のための補助事業の実施 ①無形民俗文化財保存伝承事業…13件 ②有形文化財の修理…2件 ③文化財防災等設置及び維持管理…4件 文化財保護柵等改修2ヶ所、いわれの地標柱等建替え工事4ヶ所		
6. 来年度以降 の当該施策推 進に向けての 課題等	無形民俗文化財の伝承者並びに有形文化財の管理者及び管理組織の高齢化が 浮き彫りになってきている。長期的な視点に立った文化財の保存管理方法につ いて検討が必要。		
7. 第2次教育 大綱（H30～34 年度）への記載 の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし 【「なし」の理由】 ※経緯、法律・制度改正及び他の事業との統合等の理由を記載		
8. その他特記 事項			

(様式1)

平成28年度・29年度 第1次安曇野市教育大綱 行動計画検証シート

項目	6 文化振興	所管課・係	文化課 文化財保護係・博物館係
1. 行動計画名	(4) 学びたい安曇野の文化		
2. 個別施策名	イ 古文書や歴史的価値ある行政文書の保存と活用及びデジタルアーカイブの推進と市史(誌)編纂		
3. 平成28年度の取組み内容	1 古文書整理作業 安曇野市の歴史解明、将来の市誌編纂事業へ向けた基礎資料蓄積のため、市内にある古文書の調査収集と整理作業(目録作成) ・古文書整理作業(古文書の仕分け、写真撮影、古文書検索システムへの登録) ・調査員による古文書調査 「二木家文書」整理作業 2 歴史的価値ある公文書整理事業 歴史的価値ある公文書の収集作業を進め、これまで収集した公文書を整理 ・文書管理・検索システムへの登録作業 3 公文書館開館準備 文書管理・検索システム機能追加		
4. 平成29年度の取組み内容(実施予定を含む)	平成30年開館予定の文書館において、重要文書等を保存・活用できるよう準備を進める。		
5. 施策推進による主な成果等 ※できるだけ数値等を記載	「飯沼家(大東)文書」(2,743点)目録の作成		
6. 来年度以降の当該施策推進に向けての課題等	文書館条例等の制定 文書館への資料の引越し作業 検索システムの構築		
7. 第2次教育大綱(H30~34年度)への記載の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし 【「なし」の理由】 ※経緯、法律・制度改正及び他の事業との統合等の理由を記載		
8. その他特記事項			

(様式1)

平成28年度・29年度 第1次安曇野市教育大綱 行動計画検証シート

項目	6 文化振興	所管課・係	文化課 文化振興係・博物館係
1. 行動計画名	(5) 育てたい安曇野の文化		
2. 個別施策名	ア 地域文化を支える人材の育成		
3. 平成28年度の取組み内容	第5回そば猪口アート公募展の実施 第5回田淵行男賞写真作品公募の実施 東京藝術大学音楽学部による楽器演奏指導 青木道喜師・立命館大学能学部による能楽教室の実施 豊科郷土博物館への研究者・専門家の配置		
4. 平成29年度の取組み内容 (実施予定を含む)	第6回そば猪口アート公募展の実施 東京藝術大学音楽学部による楽器演奏指導 青木道喜師・立命館大学能学部による能楽教室の実施		
5. 施策推進による主な成果等 ※できるだけ数値等を記載	平成28年度(1) 東京藝術大学との交流事業 参加生徒数 331人(目標150人) 合同コンサート来場者数 327人(目標400人) 小中学校合同吹奏楽祭: 827人 (2) 能楽教室 鑑賞者数 733人 (3) 昔の暮らし体験教室の開催 834人		
6. 来年度以降の当該施策推進に向けての課題等	ボランティアの育成		
7. 第2次教育大綱(H30~34年度)への記載の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし 【「なし」の理由】 ※経緯、法律・制度改正及び他の事業との統合等の理由を記載		
8. その他特記事項			

(様式1)

平成28年度・29年度 第1次安曇野市教育大綱 行動計画検証シート

項目	6 文化振興	所管課・係	文化課 文化振興係
1. 行動計画名	(5) 育てたい安曇野の文化		
2. 個別施策名	イ 地域文化の創造		
3. 平成28年度の取組み内容	安曇野アートライン推進協議会・安曇野スタイルネットワークとの連携 (公財)安曇野文化財団への補助		
4. 平成29年度の取組み内容 (実施予定を含む)	安曇野アートライン推進協議会・安曇野スタイルネットワークとの連携 (公財)安曇野文化財団への補助		
5. 施策推進による主な成果等 ※できるだけ数値等を記載	平成28年度 西洋中世家具収蔵庫の公開 安曇野スタイル2016参加者数 16,128人		
6. 来年度以降の当該施策推進に向けての課題等	(公財)安曇野文化財団の自主事業の多様化 情報の収集と発信		
7. 第2次教育大綱(H30~34年度)への記載の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし 【「なし」の理由】 ※経緯、法律・制度改正及び他の事業との統合等の理由を記載		
8. その他特記事項			

(様式1)

平成28年度・29年度 第1次安曇野市教育大綱 行動計画検証シート

項目	6 文化振興	所管課・係	文化課 文化振興係・博物館係
1. 行動計画名	(5) 育てたい安曇野の文化		
2. 個別施策名	ウ 産業活動との連携や文化交流の促進などによる文化資源の発掘と活用		
3. 平成28年度の取り組み内容	信州安曇野能楽鑑賞会への協賛 第5回そば猪口アート公募展の巡回(愛知県瀬戸市・山形県白鷹町) 外国語パンフレットの作成(美術館博物館連携事業) 第5回そば猪口アート公募展の事業協力(新そばと食の感謝祭) デイサービスセンターへの出前展示(美術館博物館連携事業) 県立歴史館・県埋文センターと共催による巡回展と連携講座の実現 レッドデータ展における自然科学系の組織・研究者との新たな連携 出前展示・出前講座等に国営公園・公民館・観光協会・市役所各施設等との連携協力		
4. 平成29年度の取り組み内容 (実施予定を含む)	信州安曇野能楽鑑賞会への協賛 第6回そば猪口アート公募展の巡回(愛知県瀬戸市・山形県白鷹町) 県立歴史館・県埋文センターと共催による巡回展と連携講座の実現 レッドデータ展における自然科学系の組織・研究者との新たな連携 出前展示・出前講座等に国営公園・公民館・観光協会・市役所各施設等との連携協力		
5. 施策推進による 主な成果等 ※できるだけ数値等 を記載			
6. 来年度以降の当該施策推進に向けての課題等	観光・まちづくり・国際交流・福祉・教育、産業その他の各関連分野におけるさらなる連携の強化 友の会員の高齢化、減少		
7. 第2次教育大綱 (H30~34年度)への記載の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし 【「なし」の理由】 ※経緯、法律・制度改正及び他の事業との統合等の理由を記載		
8. その他特記事項			

(様式1)

平成28年度・29年度 第1次安曇野市教育大綱 行動計画検証シート

項目	7 図書館活動	所管課・係	図書館交流課 図書館交流担当																																																												
1. 行動計画名	(1) 新鮮な資料や最新の情報の市民への提供																																																														
2. 個別施策名	ア 様々なメディアによる、新鮮な資料や最新の情報の提供																																																														
3. 平成28年度の取組み内	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>中央</th> <th>豊科</th> <th>三郷</th> <th>堀金</th> <th>明科</th> <th>合計</th> <th>H27実績</th> <th>比較</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>蔵書点数 (点)</td> <td>200,341</td> <td>81,692</td> <td>35,517</td> <td>31,783</td> <td>47,229</td> <td>396,562</td> <td>385,681</td> <td>10,881</td> </tr> <tr> <td>登録者数* (人)</td> <td>22,380</td> <td>9,991</td> <td>3,320</td> <td>2,029</td> <td>3,763</td> <td>41,483</td> <td>39,189</td> <td>2,294</td> </tr> <tr> <td>開館日数 (日)</td> <td>283</td> <td>284</td> <td>284</td> <td>283</td> <td>284</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>利用者数* (人)</td> <td>128,323</td> <td>45,284</td> <td>10,718</td> <td>13,889</td> <td>8,826</td> <td>207,040</td> <td>193,106</td> <td>13,934</td> </tr> <tr> <td>貸出点数 (点)</td> <td>479,103</td> <td>155,613</td> <td>43,824</td> <td>56,823</td> <td>28,948</td> <td>764,311</td> <td>737,380</td> <td>26,931</td> </tr> </tbody> </table>										中央	豊科	三郷	堀金	明科	合計	H27実績	比較	蔵書点数 (点)	200,341	81,692	35,517	31,783	47,229	396,562	385,681	10,881	登録者数* (人)	22,380	9,991	3,320	2,029	3,763	41,483	39,189	2,294	開館日数 (日)	283	284	284	283	284				利用者数* (人)	128,323	45,284	10,718	13,889	8,826	207,040	193,106	13,934	貸出点数 (点)	479,103	155,613	43,824	56,823	28,948	764,311	737,380	26,931
	中央	豊科	三郷	堀金	明科	合計	H27実績	比較																																																							
蔵書点数 (点)	200,341	81,692	35,517	31,783	47,229	396,562	385,681	10,881																																																							
登録者数* (人)	22,380	9,991	3,320	2,029	3,763	41,483	39,189	2,294																																																							
開館日数 (日)	283	284	284	283	284																																																										
利用者数* (人)	128,323	45,284	10,718	13,889	8,826	207,040	193,106	13,934																																																							
貸出点数 (点)	479,103	155,613	43,824	56,823	28,948	764,311	737,380	26,931																																																							
4. 平成29年度の取組み内容 (実施予定を含む)	<input type="radio"/> 図書館資料収集事業 <ul style="list-style-type: none"> ・ 新聞・雑誌購入費 5,137千円 ・ 経常図書購入費 25,000千円 ・ 新三郷・堀金図書購入費 13,972千円 ・ 学校調べ学習用図書購入費 1,000千円 																																																														
5. 施策推進による主な成果等 ※できるだけ数値等を記載	<input type="radio"/> 市民・利用者アンケート (H28実施) 結果 <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">公共図書館の施設・資料についての満足度</th> <th colspan="2">非常に満足・やや満足 (%)</th> </tr> <tr> <th>市民</th> <th>利用者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ア 大人向けの図書</td> <td>42.9</td> <td>66.6</td> </tr> <tr> <td>イ 子ども向けの図書</td> <td>33.6</td> <td>46.5</td> </tr> <tr> <td>ウ 雑誌</td> <td>32.2</td> <td>42.9</td> </tr> <tr> <td>エ 新聞</td> <td>28.8</td> <td>36.5</td> </tr> <tr> <td>オ 参考図書 (辞典類)</td> <td>19.2</td> <td>23.7</td> </tr> <tr> <td>カ 視聴覚資料 (CD・DVD・ビデオ)</td> <td>9.6</td> <td>17.0</td> </tr> <tr> <td>キ 図書館の施設・設備</td> <td>57.3</td> <td>65.3</td> </tr> <tr> <td>ク 市・その他の情報を知る</td> <td>15.2</td> <td>18.3</td> </tr> </tbody> </table>								公共図書館の施設・資料についての満足度	非常に満足・やや満足 (%)		市民	利用者	ア 大人向けの図書	42.9	66.6	イ 子ども向けの図書	33.6	46.5	ウ 雑誌	32.2	42.9	エ 新聞	28.8	36.5	オ 参考図書 (辞典類)	19.2	23.7	カ 視聴覚資料 (CD・DVD・ビデオ)	9.6	17.0	キ 図書館の施設・設備	57.3	65.3	ク 市・その他の情報を知る	15.2	18.3																										
公共図書館の施設・資料についての満足度	非常に満足・やや満足 (%)																																																														
	市民	利用者																																																													
ア 大人向けの図書	42.9	66.6																																																													
イ 子ども向けの図書	33.6	46.5																																																													
ウ 雑誌	32.2	42.9																																																													
エ 新聞	28.8	36.5																																																													
オ 参考図書 (辞典類)	19.2	23.7																																																													
カ 視聴覚資料 (CD・DVD・ビデオ)	9.6	17.0																																																													
キ 図書館の施設・設備	57.3	65.3																																																													
ク 市・その他の情報を知る	15.2	18.3																																																													
6. 来年度以降の当該施策推進に向けての課題等	<input type="radio"/> 総蔵書数は、第1次図書館基本計画 (以下「第1次計画」という。) の目標数に達したが、平成28年度に実施した市民アンケートでは、図書館資料のさらなる充実を求める意見が多いことから、市民のニーズをとらえながら選書をしていく必要がある。 <input type="radio"/> 視聴覚資料については、アンケートの満足度が低いことから、充実に努める必要がある。																																																														
7. 第2次教育大綱 (H30～34年度)への記載の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし 【「なし」の理由】 ※経緯、法律・制度改正及び他の事業との統合等の理由を記載																																																														
8. その他特記事項																																																															

(様式1)

平成28年度・29年度 第1次安曇野市教育大綱 行動計画検証シート

項目	7 図書館活動	所管課・係	図書館交流課 図書館交流担当																																																																			
1. 行動計画名	(2) さまざまな「学び」の場としての図書館サービスの充実																																																																					
2. 個別施策名	ア あらゆる年代の市民が自由に訪れ、個人やグループが気軽に学ぶことができる生涯学習の拠点施設として基本的なサービスの充実																																																																					
3. 平成28年度の取組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ○ 図書館資料収集事業 対前年増加数 10,881点 ○ ブックスタート事業 ○ 図書館配本事業 ○ 図書館講演会、各種おはなし会、図書館講座、映画上映会等の開催 ○ 図書館フェスタ(9月10・11日)の開催 ○ 読書通帳の推進 																																																																					
4. 平成29年度の取組み内容 (実施予定を含む)	平成28年度と同様に取り組んでいく。																																																																					
5. 施策推進による主な成果等 ※できるだけ数値等を記載	○ 市民・利用者アンケート(H28.12実施)結果																																																																					
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">図書館のサービスについての満足度</th> <th colspan="2">非常に満足・やや満足(%)</th> </tr> <tr> <th>市民</th> <th>利用者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>ア 開館時間</td><td>47.9</td><td>59.2</td></tr> <tr><td>イ 休館日(月曜日)</td><td>29.6</td><td>35.7</td></tr> <tr><td>ウ 祝日の翌日及び館内整理日を休館にしていること</td><td>29.8</td><td>30.9</td></tr> <tr><td>エ 資料貸出点数</td><td>51.0</td><td>55.6</td></tr> <tr><td>オ 資料貸出期間</td><td>46.7</td><td>63.0</td></tr> <tr><td>カ 予約・リクエストサービス</td><td>33.7</td><td>54.0</td></tr> <tr><td>キ 本の探しやすさ</td><td>35.7</td><td>45.4</td></tr> <tr><td>ク 館内検索機(OPAC)の使いやすさ</td><td>26.6</td><td>37.0</td></tr> <tr><td>ケ 自動貸出機の使いやすさ</td><td>51.8</td><td>59.0</td></tr> <tr><td>コ 本や調べものの相談(レファレンスサービス)</td><td>25.6</td><td>36.3</td></tr> <tr><td>サ コピーサービス</td><td>16.0</td><td>17.6</td></tr> <tr><td>シ 読書支援サービス</td><td>9.9</td><td>11.7</td></tr> <tr><td>ス 団体貸出サービス</td><td>8.4</td><td>11.9</td></tr> <tr><td>セ インターネットコーナーの利用</td><td>10.8</td><td>12.0</td></tr> <tr><td>ソ AVブースの利用</td><td>7.8</td><td>9.4</td></tr> <tr><td>タ 図書館ホームページの内容</td><td>14.4</td><td>17.3</td></tr> <tr><td>チ 季節や行事にあわせた図書館資料の企画展示</td><td>33.6</td><td>45.4</td></tr> <tr><td>ツ 行事・講座などの催し物</td><td>27.9</td><td>35.7</td></tr> <tr><td>テ 閲覧用のいす・机の数</td><td>44.1</td><td>48.4</td></tr> <tr><td>ト 図書のリサイクルコーナーの利用のしやすさ</td><td>16.2</td><td>24.2</td></tr> <tr><td>ナ 職員の接遇</td><td>57.1</td><td>73.8</td></tr> </tbody> </table>			図書館のサービスについての満足度	非常に満足・やや満足(%)		市民	利用者	ア 開館時間	47.9	59.2	イ 休館日(月曜日)	29.6	35.7	ウ 祝日の翌日及び館内整理日を休館にしていること	29.8	30.9	エ 資料貸出点数	51.0	55.6	オ 資料貸出期間	46.7	63.0	カ 予約・リクエストサービス	33.7	54.0	キ 本の探しやすさ	35.7	45.4	ク 館内検索機(OPAC)の使いやすさ	26.6	37.0	ケ 自動貸出機の使いやすさ	51.8	59.0	コ 本や調べものの相談(レファレンスサービス)	25.6	36.3	サ コピーサービス	16.0	17.6	シ 読書支援サービス	9.9	11.7	ス 団体貸出サービス	8.4	11.9	セ インターネットコーナーの利用	10.8	12.0	ソ AVブースの利用	7.8	9.4	タ 図書館ホームページの内容	14.4	17.3	チ 季節や行事にあわせた図書館資料の企画展示	33.6	45.4	ツ 行事・講座などの催し物	27.9	35.7	テ 閲覧用のいす・机の数	44.1	48.4	ト 図書のリサイクルコーナーの利用のしやすさ	16.2	24.2	ナ 職員の接遇	57.1
図書館のサービスについての満足度	非常に満足・やや満足(%)																																																																					
	市民	利用者																																																																				
ア 開館時間	47.9	59.2																																																																				
イ 休館日(月曜日)	29.6	35.7																																																																				
ウ 祝日の翌日及び館内整理日を休館にしていること	29.8	30.9																																																																				
エ 資料貸出点数	51.0	55.6																																																																				
オ 資料貸出期間	46.7	63.0																																																																				
カ 予約・リクエストサービス	33.7	54.0																																																																				
キ 本の探しやすさ	35.7	45.4																																																																				
ク 館内検索機(OPAC)の使いやすさ	26.6	37.0																																																																				
ケ 自動貸出機の使いやすさ	51.8	59.0																																																																				
コ 本や調べものの相談(レファレンスサービス)	25.6	36.3																																																																				
サ コピーサービス	16.0	17.6																																																																				
シ 読書支援サービス	9.9	11.7																																																																				
ス 団体貸出サービス	8.4	11.9																																																																				
セ インターネットコーナーの利用	10.8	12.0																																																																				
ソ AVブースの利用	7.8	9.4																																																																				
タ 図書館ホームページの内容	14.4	17.3																																																																				
チ 季節や行事にあわせた図書館資料の企画展示	33.6	45.4																																																																				
ツ 行事・講座などの催し物	27.9	35.7																																																																				
テ 閲覧用のいす・机の数	44.1	48.4																																																																				
ト 図書のリサイクルコーナーの利用のしやすさ	16.2	24.2																																																																				
ナ 職員の接遇	57.1	73.8																																																																				

6. 来年度以降の当該施策推進に向けての課題等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 多様な資料の収集、整理、提供とともに様々な講座等のサービスを継続していく必要がある。 ○ 学んだ成果を図書館活動に活かす環境づくりが必要である。
7. 第2次教育大綱（H30～34年度）への記載の必要性	<p><input checked="" type="checkbox"/>あり <input type="checkbox"/>なし</p> <p>【「なし」の理由】</p> <p>※経緯、法律・制度改正及び他の事業との統合等の理由を記載</p>
8. その他特記事項	

(様式1)

平成28年度・29年度 第1次安曇野市教育大綱 行動計画検証シート

項目	7 図書館活動	所管課・係	図書館交流課 図書館交流担当			
1. 行動計画名	(2) さまざまな「学び」の場としての図書館サービスの充実					
2. 個別施策名	イ 市民の余暇活動を支援する施設として、図書館が役割を果たすべきサービスの確立					
3. 平成28年度の取組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ○ インターネット利用が利用できるパソコン設置（三郷館を除く。） ○ オンラインデータベース（信濃毎日新聞、辞書辞典検索、法律、農業、官報）の提供（中央館のみ） ○ AVブースの設置（三郷館を除く。） ○ 持ち込みパソコンのインターネット設読。（三郷館を除く。） ○ 豊科・穂高交流学習センター、明科学習館、堀金図書館へのWi-Fiの設置（三郷館を除く。） 					
4. 平成29年度の取組み内容 (実施予定を含む)	○ 新三郷図書館の開館により、オンラインデータベースの提供以外のサービスの開始					
5. 施策推進による主な成果等 ※できるだけ数値等を記載	公共図書館サービスの利用状況		いつも利用する・比較的利用する(%)		利用しない・知らなかった(%)	
			市民	利用者	市民	利用者
	ア	図書館にある本や雑誌・視聴覚資料などを借りる	37.8	74.7	13.5	3.4
	イ	本や雑誌、視聴覚資料の予約をする	5.7	19.3	63.1	34.2
	ウ	館内の利用者検索機(OPAC)等を使う	14.1	20.7	46.2	33.4
	エ	他の図書館にある本や雑誌を取り寄せてもらう	5.5	17.3	62.2	38.0
	オ	図書館の本を館内で読む	22.8	31.1	13.0	18.2
	カ	図書館の新聞・雑誌を館内で読む	20.5	21.9	22.6	22.4
	キ	図書館の資料を使って調べものをする	11.0	13.5	30.1	25.8
	ク	本や調べものについて、職員に相談する(レファレンス)	2.4	7.4	61.7	42.3
	ケ	図書館の資料をコピーする	0.3	2.8	77.5	64.6
	コ	おはなし会や講演会・講座などの催し物に参加する	3.0	7.1	70.8	50.8
	サ	図書館のパソコンでインターネットを利用する	0.7	3.6	77.0	71.7
	シ	新聞記事検索、法令情報検索、農業出版物検索などのデータベースを利用する	0.3	0.0	80.6	77.2
	ス	図書館の持ち込みパソコン席を利用する	0.4	1.1	85.9	81.4
	セ	視聴覚(AV)コーナーを利用する	0.2	1.8	83.9	78.9
	ソ	図書のリサイクルコーナーを利用する	1.2	2.6	76.0	60.7
タ	市・その他の情報を知る	1.8	4.9	70.7	62.0	
6. 来年度以降の当該施策推進に向けての課題等	○ アンケートでは、レファレンス、データベース、AVコーナーなどの利用が少ないことから、さらなる周知が必要である。					

7. 第2次教育 大綱 (H30～34 年度)への記載 の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし 【「なし」の理由】 ※経緯、法律・制度改正及び他の事業との統合等の理由を記載
8. その他特記 事項	

(様式1)

平成28年度・29年度 第1次安曇野市教育大綱 行動計画検証シート

項目	7 図書館活動	所管課・係	図書館交流課 図書館交流担当																
1. 行動計画名	(2) さまざまな「学び」の場としての図書館サービスの充実																		
2. 個別施策名	ウ 図書館施設の充実を図るため、新たな堀金図書館及び三郷図書館の改修・建設																		
3. 平成28年度の取組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ○ 堀金図書館 H28. 4. 1 堀金複合施設内にリニューアルオープン (700 m²) ○ 三郷図書館 <ul style="list-style-type: none"> ・ H27. 3. 23～H28. 6. 28 設計業務 ・ H28. 5. 2～H28. 12. 19 旧三郷支所解体工事 ・ H29. 1. 17 三郷交流学習センター建設起工式 																		
4. 平成29年度の取組み内容 (実施予定を含む)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 三郷図書館 <ul style="list-style-type: none"> ・ ～H29. 12. 22 建設工事 ・ H30. 3. 10 三郷交流学習センター (三郷図書館) 開館 (予定) 																		
5. 施策推進による主な成果等 ※できるだけ数値等を記載	<ul style="list-style-type: none"> ○ 堀金図書館の年度別個人貸出数 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成25年度</th> <th>平成26年度</th> <th>平成27年度</th> <th>平成28年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>個人貸出点数</td> <td>22,819</td> <td>24,562</td> <td>21,080</td> <td>56,823</td> </tr> <tr> <td>蔵書点数</td> <td>23,507</td> <td>24,431</td> <td>27,834</td> <td>31,783</td> </tr> </tbody> </table>					平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	個人貸出点数	22,819	24,562	21,080	56,823	蔵書点数	23,507	24,431	27,834	31,783
	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度															
個人貸出点数	22,819	24,562	21,080	56,823															
蔵書点数	23,507	24,431	27,834	31,783															
6. 来年度以降の当該施策推進に向けての課題等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 堀金図書館 平成30年度、蔵書目標数の41,000冊を目指す。 ○ 三郷図書館 平成32年度、蔵書目標数の53,000冊を目指す。 																		
7. 第2次教育大綱 (H30～34年度)への記載の必要性	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし 【「なし」の理由】 平成29年度をもって本事業は、三郷図書館の開館により終了するため。																		
8. その他特記事項																			

(様式1)

平成28年度・29年度 第1次安曇野市教育大綱 行動計画検証シート

項目	7 図書館活動	所管課・係	図書館交流課 図書館交流担当															
1. 行動計画名	(3) 「地域の教育力」を高める活動の推進																	
2. 個別施策名	ア 子どもの多様な能力を伸ばすために学校図書館及び地域・家庭学習支援の充実																	
3. 平成28年度の取組み内容	<input type="radio"/> 学校調べ学習用図書の整備 <input type="radio"/> 中学年向け等のおすすめブックリストの作成と読書通帳の利用促進 <input type="radio"/> 図書館フェスタでの中学生ビブリオバトルの開催 <input type="radio"/> 市内小中学校、保育所、児童館への団体貸し付けと配本																	
4. 平成29年度の取組み内容 (実施予定を含む)	平成28年度事業を継続するとともに、次の事業に取り組んでいる。 <input type="radio"/> 高学年向けおすすめブックリストの作成 <input type="radio"/> 中学生の職場体験業務のカリキュラム化と学校での読書活動推進のための修了書の発行 <input type="radio"/> 子ども(春)の読書月間(H29.4.1~5.14)																	
5. 施策推進による主な成果等 ※できるだけ数値等を記載	<input type="radio"/> 読書通帳配布数 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>中央</th> <th>豊科</th> <th>三郷</th> <th>堀金</th> <th>明科</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>240</td> <td>247</td> <td>84</td> <td>138</td> <td>139</td> <td>848</td> </tr> </tbody> </table>					中央	豊科	三郷	堀金	明科	計	240	247	84	138	139	848	
中央	豊科	三郷	堀金	明科	計													
240	247	84	138	139	848													
6. 来年度以降の当該施策推進に向けての課題等	<input type="radio"/> 学校・学校図書館、地域との連携の強化に取り組んでいく必要がある。																	
7. 第2次教育大綱(H30~34年度)への記載の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし 【「なし」の理由】 ※経緯、法律・制度改正及び他の事業との統合等の理由を記載																	
8. その他特記事項																		

(様式1)

平成28年度・29年度 第1次安曇野市教育大綱 行動計画検証シート

項目	7 図書館活動	所管課・係	図書館交流課 図書館交流担当				
1. 行動計画名	(3) 「地域の教育力」を高める活動の推進						
2. 個別施策名	イ 市民の地域活動、生活、仕事などに必要な資料・情報の収集と提供						
3. 平成28年度の取組み内容	<input type="checkbox"/> 読書週間、課題図書のご案内、安曇野市ゆかりの人物、季節や時事的な話題に関する図書の企画展示 <input type="checkbox"/> デイサービス、病院等への配本 <input type="checkbox"/> 安曇野ならではのビジネス支援を目的とした図書館講座（中央館）の開催						
4. 平成29年度の取組み内容（実施予定を含む）	平成28年度と同様に取り組んでいる。						
5. 施策推進による主な成果等 ※できるだけ数値等を記載	○ 蔵書数H29. 3. 31 現在)						
	分類	中央	豊科	三郷	堀金	明科	計
	3 社会科学	20,043	5,835	2,103	2,263	3,692	33,936
	4 自然科学	15,213	5,232	1,988	1,956	3,146	27,535
	5 技術・工学	11,559	4,841	1,421	1,814	2,539	27,535
6 産業	6,047	2,444	709	826	1,223	11,249	
6. 来年度以降の当該施策推進に向けての課題等	○ 実用書等については、最新の情報を提供していく必要がある。						
7. 第2次教育大綱（H30～34年度）への記載の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし 【「なし」の理由】 ※経緯、法律・制度改正及び他の事業との統合等の理由を記載						
8. その他特記事項							

(様式1)

平成28年度・29年度 第1次安曇野市教育大綱 行動計画検証シート

項目	7 図書館活動	所管課・係	図書館交流課 図書館交流担当			
1. 行動計画名	(4) 図書館利用に障がいのある方々への支援					
2. 個別施策名	ア 「図書館に来られない」「活字資料を読むことが困難」等への具体的な支援					
3. 平成28年度の取組み内容	<input type="radio"/> 大活字本の蔵書の充実 <input type="radio"/> 拡大読書機の設置（三郷以外） <input type="radio"/> 団体貸出の実施					
4. 平成29年度の取組み内容（実施予定を含む）	<input type="radio"/> 平成28年度事業の継続 <input type="radio"/> 新三郷図書館への拡大読書機の導入					
5. 施策推進による主な成果等 ※できるだけ数値等を記載	<input type="radio"/> 大活字本点数					
	中央	豊科	三郷	堀金	明科	計
	961	704	223	123	310	2,321
6. 来年度以降の当該施策推進に向けての課題等	<input type="radio"/> 団体貸出について、市民への周知を図る必要がある。					
7. 第2次教育大綱（H30～34年度）への記載の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし 【「なし」の理由】 ※経緯、法律・制度改正及び他の事業との統合等の理由を記載					
8. その他特記事項	<input type="radio"/> 公共交通の充実については、図書館利用にとどまらない全市的な取り組みが必要である。					

(様式1)

平成28年度・29年度 第1次安曇野市教育大綱 行動計画検証シート

項目	7 図書館活動	所管課・係	図書館交流課 図書館交流担当
1. 行動計画名	(4) 図書館利用に障がいのある方々への支援		
2. 個別施策名	イ 容易かつ効率的に資料・情報を利用できるための整備・拡充		
3. 平成28年度の取組み内容	○ DAISY録音図書の相互貸借 ○ 朗読協力者研修会 (毎月1回、年12回)		
4. 平成29年度の取組み内容 (実施予定を含む)	平成28年度と同様、継続して取り組んでいる。		
5. 施策推進による主な成果等 ※できるだけ数値等を記載	○ 音訳広報利用者 8人 (H28) ○ DAISY録音図書相互貸借、借受件数 35点 (H28)		
6. 来年度以降の当該施策推進に向けての課題等	○ サービスの周知を図る必要がある。		
7. 第2次教育大綱 (H30～34年度)への記載の必要性	☑あり ☐なし 【「なし」の理由】 ※経緯、法律・制度改正及び他の事業との統合等の理由を記載		
8. その他特記事項			

(様式1)

平成28年度・29年度 第1次安曇野市教育大綱 行動計画検証シート

項目	7 図書館活動	所管課・係	図書館交流課 図書館交流担当																									
1. 行動計画名	(4) 図書館利用に障がいのある方々への支援																											
2. 個別施策名	ウ 対面朗読、大活字本、自宅への配本、最新の電子書籍配信等のサービスの充実																											
3. 平成28年度 の取組み内容	○ 音訳した広報の提供 ○ 大活字本の蔵書の充実																											
4. 平成29年度 の取組み内容 (実施予定を 含む)	平成28年度と同様、継続して取り組んでいる。																											
5. 施策推進に よる主な成果 等 ※できるだけ数 値等を記載	○ 大活字本蔵書数 <table border="1"><thead><tr><th></th><th>中央</th><th>豊科</th><th>三郷</th><th>堀金</th><th>明科</th><th>計</th></tr></thead><tbody><tr><td>H27</td><td>952</td><td>705</td><td>204</td><td>107</td><td>310</td><td>2,278</td></tr><tr><td>H28</td><td>961</td><td>704</td><td>223</td><td>123</td><td>310</td><td>2,321</td></tr></tbody></table> ○ DAISY録音図書等郵送サービス <table border="1"><tbody><tr><td>H27</td><td>57件</td></tr><tr><td>H28</td><td>35件</td></tr></tbody></table>				中央	豊科	三郷	堀金	明科	計	H27	952	705	204	107	310	2,278	H28	961	704	223	123	310	2,321	H27	57件	H28	35件
	中央	豊科	三郷	堀金	明科	計																						
H27	952	705	204	107	310	2,278																						
H28	961	704	223	123	310	2,321																						
H27	57件																											
H28	35件																											
6. 来年度以降 の当該施策推 進に向けての 課題等	○ 電子書籍の提供について、検討を深めていく必要がある。 ○ サービスの周知を図る必要がある。																											
7. 第2次教育 大綱 (H30~34 年度)への記載 の必要性	☑あり ☐なし 【「なし」の理由】 ※経緯、法律・制度改正及び他の事業との統合等の理由を記載																											
8. その他特記 事項																												

(様式1)

平成28年度・29年度 第1次安曇野市教育大綱 行動計画検証シート

項目	7 図書館活動	所管課・係	図書館交流課 図書館交流担当				
1. 行動計画名	(5) 安曇野市の歴史文化の伝承						
2. 個別施策名	ア 地域文化の掘り起こしや継承のための郷土資料・情報の網羅的収集と保存						
3. 平成28年度 の取組み内容	○ 本市にゆかりのある作品や輩出された著名な人物の著作、研究資料等を、積極的に収集						
4. 平成29年度 の取組み内容 (実施予定を 含む)	平成28年度と同様、継続して取り組んでいる。						
5. 施策推進に よる主な成果 等 ※できるだけ数 値等を記載	○ 郷土資料蔵書点数						
		中央	豊科	三郷	堀金	明科	計
	H27	12,507	7,480	3,535	2,376	2,344	28,242
	H28	12,944	7,750	3,777	2,998	2,481	29,950
6. 来年度以降 の当該施策推 進に向けての 課題等	○ 地区公民館活動等に取り組んでいる成果を収集し、整理していく必要がある。						
7. 第2次教育 大綱 (H30~34 年度)への記載 の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし 【「なし」の理由】 ※経緯、法律・制度改正及び他の事業との統合等の理由を記載						
8. その他特記 事項							

(様式1)

平成28年度・29年度 第1次安曇野市教育大綱 行動計画検証シート

項目	7 図書館活動	所管課・係	図書館交流課 図書館交流担当
1. 行動計画名	(5) 安曇野市の歴史文化の伝承		
2. 個別施策名	イ 新しい文化の創造に役立つ郷土資料・情報の整理・活用		
3. 平成28年度 の取組み内容	○ 本市の統計資料、諸計画等の行政資料を整理し、提供している。		
4. 平成29年度 の取組み内容 (実施予定を 含む)	平成28年度と同様、継続して取り組んでいる。		
5. 施策推進に よる主な成果 等 ※できるだけ数 値等を記載	【(5) アと同じ】		
6. 来年度以降 の当該施策推 進に向けての 課題等	○ 本市だけでなく、関係する行政機関から出される資料を収集していく必要がある。		
7. 第2次教育 大綱 (H30~34 年度)への記載 の必要性	☑あり ☐なし 【「なし」の理由】 ※経緯、法律・制度改正及び他の事業との統合等の理由を記載		
8. その他特記 事項			

(様式1)

平成28年度・29年度 第1次安曇野市教育大綱 行動計画検証シート

項目	7 図書館活動	所管課・係	図書館交流課 図書館交流担当
1. 行動計画名	(5) 安曇野市の歴史文化の伝承		
2. 個別施策名	ウ 郷土資料のデジタル化やアーカイブを、市民参加型の講座開設や学校との連携で活用		
3. 平成28年度 の取組み内容	(特になし)		
4. 平成29年度 の取組み内容 (実施予定を 含む)	(特になし)		
5. 施策推進に よる主な成果 等 ※できるだけ数 値等を記載	(特になし)		
6. 来年度以降 の当該施策推 進に向けての 課題等			
7. 第2次教育 大綱 (H30~34 年度)への記載 の必要性	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし 【「なし」の理由】 文化課において、映像資料等のアーカイブとその活用を行っているため ※経緯、法律・制度改正及び他の事業との統合等の理由を記載		
8. その他特記 事項			

(様式1)

平成28年度・29年度 第1次安曇野市教育大綱 行動計画検証シート

項目	7 図書館活動	所管課・係	図書館交流課 図書館交流担当				
1. 行動計画名	(6) 市民の調査・研究支援体制の強化援助						
2. 個別施策名	ア 情報活用アドバイザーとしてのレファレンス（相談・調査）サービスの充実						
3. 平成28年度 の取組み内容	○ 広報、HP等でのレファレンスサービスの利用促進 ○ 県立図書館、図書館協会主催の研修への参加や全職員を対象にした研修会の実施（年2回）						
4. 平成29年度 の取組み内容 （実施予定を 含む）	平成28年度と同様、継続して取り組んでいる。						
5. 施策推進に よる主な成果 等 ※できるだけ数 値等を記載	○ 調査・相談件数 <table border="1"><tr><td>H27</td><td>3,414件</td></tr><tr><td>H28</td><td>4,469件</td></tr></table>			H27	3,414件	H28	4,469件
H27	3,414件						
H28	4,469件						
6. 来年度以降 の当該施策推 進に向けての 課題等	○ 職員のスキルアップに引き続き取り組んでいく必要がある。						
7. 第2次教育 大綱（H30～34 年度）への記載 の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし 【「なし」の理由】 ※経緯、法律・制度改正及び他の事業との統合等の理由を記載						
8. その他特記 事項							

(様式1)

平成28年度・29年度 第1次安曇野市教育大綱 行動計画検証シート

項目	7 図書館活動	所管課・係	図書館交流課 図書館交流担当															
1. 行動計画名	(6) 市民の調査・研究支援体制の強化援助																	
2. 個別施策名	イ 中央図書館と分館および他市町村図書館との連携強化による情報活用の充実																	
3. 平成28年度 の取組み内容	○ 休館日を除く、市内図書館間の図書の回収及び配本																	
4. 平成29年度 の取組み内容 (実施予定を 含む)	○ 中信地域公共図書館統一企画展示「信州山の日」																	
5. 施策推進に よる主な成果 等 ※できるだけ数 値等を記載	○ 利用状況																	
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th rowspan="2">調査・相談件数</th> <th colspan="2">相互貸借</th> </tr> <tr> <th>借受</th> <th>貸出</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H27</td> <td>24,685 件</td> <td>430</td> <td>278</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>28,414 件</td> <td>350</td> <td>286</td> </tr> </tbody> </table>				年度	調査・相談件数	相互貸借		借受	貸出	H27	24,685 件	430	278	H28	28,414 件	350	286
年度	調査・相談件数	相互貸借																
		借受	貸出															
H27	24,685 件	430	278															
H28	28,414 件	350	286															
6. 来年度以降 の当該施策推 進に向けての 課題等	○ 中央館の先駆的な取り組みと各地域館への波及を検討していく。																	
7. 第2次教育 大綱 (H30~34 年度)への記載 の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし 【「なし」の理由】 ※経緯、法律・制度改正及び他の事業との統合等の理由を記載																	
8. その他特記 事項																		

(様式1)

平成28年度・29年度 第1次安曇野市教育大綱 行動計画検証シート

項目	7 図書館活動	所管課・係	図書館交流課 図書館交流担当									
1. 行動計画名	(6) 市民の調査・研究支援体制の強化援助											
2. 個別施策名	ウ インターネット予約の推進											
3. 平成28年度の取組み内容	<input type="radio"/> 平成25年5月に稼働した図書館予約検索システムの維持管理 <input type="radio"/> 利用者登録時のインターネット登録の積極的な勧誘											
4. 平成29年度の取組み内容 (実施予定を含む)	平成28年度と同様、継続して取り組んでいる。											
5. 施策推進による主な成果等 ※できるだけ数値等を記載	<input type="radio"/> 予約件数 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>予約数</th> <th>うちインターネット</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H27</td> <td>24,685件</td> <td>15,713件</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>28,414件</td> <td>19,123件</td> </tr> </tbody> </table>			年度	予約数	うちインターネット	H27	24,685件	15,713件	H28	28,414件	19,123件
年度	予約数	うちインターネット										
H27	24,685件	15,713件										
H28	28,414件	19,123件										
6. 来年度以降の当該施策推進に向けての課題等	<input type="radio"/> 引き続き、利用促進に努めていく。											
7. 第2次教育大綱(H30～34年度)への記載の必要性	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし 【「なし」の理由】 システム稼働から4年が経過し、予約件数の7割がインターネット予約になったため。 ※経緯、法律・制度改正及び他の事業との統合等の理由を記載											
8. その他特記事項												

報告第3号	教育部 生涯学習課
平成29年12月25日提出	(課長)蓮井 昭夫 (担当係長)内山 渉

タイトル	新総合体育館建設に係る現在の状況について
要旨	<p>新総合体育館建設事業については、平成29年9月に「新総合体育館建設基本設計業務委託契約」を締結し、基本設計業務に着手している。</p> <p>本事業の経過について報告するものです。</p>
	<p>1 これまでの経過</p> <p>(1) 基本設計業務委託について</p> <p>平成29年7月に開催した、公募型プロポーザルによる審査検討委員会で最優秀者に特定された、大建・エーアンドエー安曇野市新総合体育館建設設計共同企業体と平成29年9月に新総合体育館建設基本設計業務委託契約を締結した。</p> <p>工期は、平成30年3月23日までである。</p> <p>(2) 新総合体育館基本設計市民ワークショップの開催（資料1）</p> <p>平成29年11月5日（日）に第1回、14日（火）に第2回の新総合体育館基本設計市民ワークショップを開催した。</p> <p>第1回には9名が参加し、「新総合体育館で何をしたい？」をテーマとして議論した。</p> <p>第2回には18名が参加し、「新総合体育館をどう使う？」をテーマとして議論した。</p> <p>(3) 新総合体育館建設基本設計に伴う体育施設利用団体等意見交換会の開催</p> <p>12月1日（金）に新総合体育館建設基本設計に伴う体育施設利用団体等意見交換会を開催した。当日は10団体から代表者の出席があり、新総合体育館に対する意見、要望を聴取した。</p> <p>出席のなかった団体へは、文書により意見・要望を募集する。</p> <p>(4) 新総合体育館建設事業地元説明会の開催</p> <p>12月2日（土）に新総合体育館建設事業地元説明会を開催し、新総合体育館建設事業及び周辺道路整備計画を説明した。</p>

対象は、豊科南部総合公園の周辺地域である、豊科地域の上鳥羽区、下鳥羽区、真々部区、飯田区、下飯田区、中曽根区の計6区。

11月の回覧板で周知し、当日は11名の市民が出席した。

2 今後の予定（資料2）

平成30年1月より、地質調査及び用地測量を実施予定。

3月末までに新総合体育館建設基本設計を完了する予定をしており、平成30年度予算へ建設費、用地取得に要する費用等を計上する。

今後については、平成30年度に実施設計、平成31年度に建設工事に着工し、合併特例債の発行期限である平成32年度末までの完成を目指す。

展望ロビー

- 多世代交流**
- お年寄り子どもが交流できるように
- スポーツ以外の活動**
- スポーツをした後、ご飯を食べたり、お茶を飲んだりするスペースがほしい
 - 屋外空間の活用として、カフェなどがあれば良い
- 誰でも利用できる**
- 大会時には家族や祖父母が来るため、ロビー空間にチャイラーがあるといい
 - スポーツしない人でも気軽に立ち寄れるロビー
 - 公園で走った人が、休めるスペース
 - スポーツしない人でも利用できるスペースがほしい

会議室

- 使いやすさ**
- 会議室の近くに給湯室がほしい
 - 会議室は四角ではなく円形に
 - 可動できる会議室
 - 会議室は、使い勝手が良いように、広くも分割しても使えるようにしたい
 - アリーナから直接入れる位置に会議室がほしい
- スポーツ以外の活動**
- 大きな車でカラオケできるように
 - 小学生や中学生が体験学習で泊まることのできる
 - シアター上映してほしい

体育館全体

- 誰にとっても使いやすい**
- ゆとりや優しいさのある施設に
- 安全・安心な施設**
- 照明などは落下しないように
- 誰でも利用できる**
- コミュニティセンターのような体育館
 - 市民体育館としても、社会教育施設としても使える施設に
 - スポーツする人だけでなく、スポーツしない人のことも考えた施設
- 安曇野らしさ**
- 他にはない体育館の魅力を
 - 魅力ある施設にしてほしい
 - 長野の自然環境を最大限に生かしてほしい
 - 木のぬくもりがある施設、でも高そう...
 - スポーツしている姿、動いている姿が外からも見える、感じられる空間

フロムナード

- 使いやすさ**
- 雨風がきちんと防げる半屋外空間
- 多目的ひろば**
- 屋外広場は若い世代に
 - スポーツ以外の活動
 - 駐車場でオートキャンプがしたい
- 多様なスポーツ活動**
- 屋外でのスポーツは予約なしで自由に使えるといい

展望デッキ

- 安曇野らしさ**
- 北アルプスが見える場所がほしい(アリーナでなくても良い)
 - 四季がある北アルプスの展望の確保
- 使いやすさ**
- 雨風がきちんと防げる半屋外空間

サブアリーナ

- 大会での利用**
- サブアリーナにも観客席がほしい
 - 大規模な大会ではサブアリーナもフルで使う必要がある
- トレーニング室**
- 多様なスポーツ活動
 - 最近ではダンスやヨガをしている人が多い
 - 学生がダンスができるように壁や開口がミラーになるとよい

WC

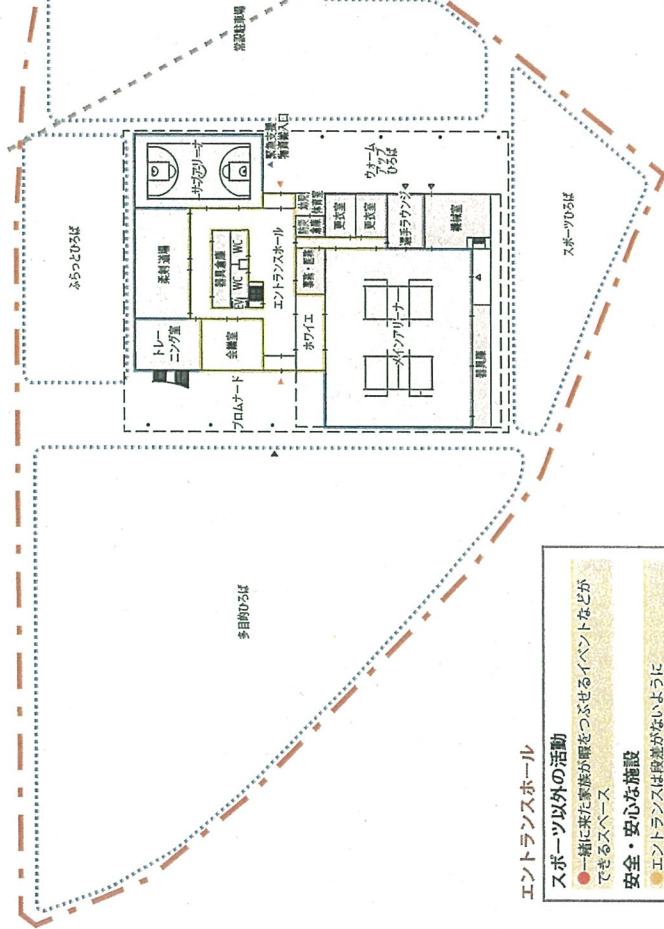
- 大会での利用**
- 大規模な大会に対応したトイレの数がほしい、閉会式後に集中する
 - 誰にとっても使いやすい
 - 車椅子、高齢者のためのトイレ
 - 洋式トイレと和式トイレ

駐車場

- 大会での利用**
- 十分な広さの駐車場
 - 安全・安心な施設
 - 十分に広い駐車場に

幼児体育室

- 多世代交流**
- 子どもを一時的に預けてもらえる機能がほしい



メインアリーナ

- 使いやすさ**
- ガラス張りの体育館の場合、遠光をきちんとしてほしい
- 多様なスポーツ活動**
- 競技用照明は目に優しいCFL
 - 卓球、ニュースポーツをしたい
 - 色んなスポーツができるばいいが、コートの幅が多くなると不便
- スポーツ以外の活動**
- 椅子を出してコンサートもしてほしい
 - 移動式収納でステージ幅がほしい
 - 興業ができる体育館に
 - スポーツだけでなく、企業イベントでも使えるように
- 大会での利用**
- 大規模な大会ができるように
 - 40台以上の車庫スペースがほしい
 - プロスポーツを誘致したい

エントランスホール

- スポーツ以外の活動**
- 一緒に来た家族が暇をつぶせるイベントなどができるスペース
- 安全・安心な施設**
- エントランスは段差がないように
 - あっても車椅子で自力で上れるように
- 安曇野らしさ**
- 郷土の画家の作品などが展示できると良い

器具庫

- 使いやすさ**
- 器具庫は広く確保してほしい
 - 現状はぐちゃぐちゃ
- ランニングコース (屋外)**
- 起伏のあるランニングコースがいい

ランニングコース

- 健康づくり**
- 観客席まわりでウォーキングしたい
- スポーツひろば**
- 建設的な要素でスポーツを促す
 - Ex.壁でテニスのボールを打てるなど

ウォームアップひろば

- 安全・安心な施設**
- 屋内スポーツは上履きと下履きの行き来が難しい
- 大会での利用**
- ウォーミングアップできる広場に
 - 使いやすさ
 - 雨風がきちんと防げる半屋外空間

1階平面イメージ

※本図は技術図書集のものであり、実際の設計が確定したものではありません。

する・見る・支える

- 『空間』を養う
- 『活動』を養う
- 『市民交流』
- 『安全・安心』
- 『健康長寿』

展望ロビー

- 多様なスポーツ活動**
- 展望デッキやロビーでもダンスやヨガができるように
- 使いやすさ**
- ウォームアップ広場・展望デッキ・ロビーはサブアリーナほど広くなくてよい
 - 給湯室がほしい
- 空間の設え**
- 秋の物の自動販売機がほしい
 - 災害時でも使えるように
 - 自動販売機を充実させてほしい
- スポーツ以外の活動**
- テーブル・椅子がほしい
 - 土日のみでもよいので飲食店がほしい

会議室

- 使いやすさ**
- 会議室は2つでは足りない
- 安全・安心な施設**
- 壁にスリットがあると中が見えるので、安心できる

屋外

- 安全・安心な施設**
- 西側道路の雑草を解消してほしい
 - 下水道の上は防災用トイレが設置できるように
- 使いやすさ**
- 芝、アスファルトなど広場ごとに仕上を覚えてほしい
 - 屋外トイレが欲しい
 - 喫煙所はあったほうがいい
- スポーツ以外の活動**
- デッキみたいに使えようように
- 空間の設え**
- 樹木はないほうがいい

体育館全体

- 安全・安心な施設**
- 防災機能を維持させることは大事にした
- 省工ネ**
- 太陽光パネルを設置してほしい
- 運営**
- 将来の負担を考えるとなるべく収入が多くなるような運営してほしい

柔剣道場

- 使いやすさ**
- 柔剣道場にも更衣室が欲しい
 - 柔剣道場を2階にすれば、1階を有効利用できる
- 空間の設え**
- 柔剣道場の床の間はなくてもよい

フロムナード

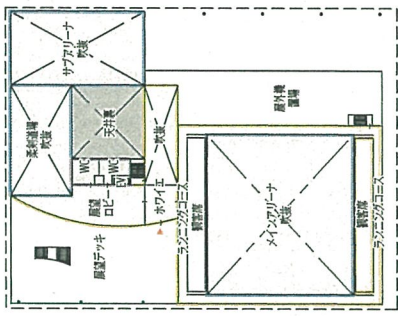
- 使いやすさ**
- 雨天時に一時的にしのげるスペース
- 空間の設え**
- ベンチを設置してほしい
 - 木陰ができる樹林が欲しい
- 多目的ひろば**
- 多様なスポーツ活動**
- コンクリート舗装の20m×20mのスケートボード広場がほしい
- 大会での利用**
- 駐車場としても使えるようになるべくアスファルト敷きにしてほしい
 - オートキャンプはやめてほしい

展望デッキ

- 多様なスポーツ活動**
- 展望デッキやロビーでもダンスやヨガができるように
- 安全・安心な施設**
- 2階に前部緑地公園との連絡通路がほしい
- 使いやすさ**
- 雨天時に一時的にしのげるスペース
 - 展望デッキが広すぎる? 広さを工夫してほしい
- ふらっとひろば**
- 空間の設え**
- ベンチを設置してほしい
 - 木陰ができる樹林が欲しい

サブアリーナ

- 大会での利用**
- 収納式の観音席
 - スポーツ以外の活動
 - 文化センターみたいに使いたい
- 使いやすさ**
- サブアリーナに器具庫がほしい
- トレーニング室**
- 使いやすさ**
- トレーニング室と事務室が隣接しているので、連携をとれるようにしてほしい
 - 防音してほしい
- スポーツ以外の活動**
- トレーニング室でも会議ができるように
- 多様なスポーツ活動**
- 講習会などができるように
 - 空間の設え
 - トレーニング室は器具庫にしてよい



2階平面イメージ

※本図は候補案のイメージであり、実際の設計が確定したものではありません。

WC

- 安全・安心な施設**
- 緊急時にライトなどを光で確認できるように
- 使いやすさ**
- トイレ・更衣室は分散配置してほしい
 - 市民と選手等が交錯しないように、メインアリーナ側にもトイレが欲しい

駐車場

- 安全・安心な施設**
- 防犯用・救急車が利用に用いる駐車場がいい

幼児体育室

- 多世代交流**
- 子供が遊べるスペース

防災倉庫

- 使いやすさ**
- 防災倉庫は外からも搬入できるように

選手ラウンジ・更衣室

- 安全・安心な施設**
- 更衣室・選手ラウンジのセキュリティの強化
- 使いやすさ**
- トイレ・更衣室は分散配置してほしい

メインアリーナ

- 安全・安心な施設**
- 床材はメンテナンスできるように
- 使いやすさ**
- 防球ネットがほしい
 - 西日のネットはカーテンもしくはそれ以外で電動が良い
 - メイン・サブアリーナ間の移動時間を短くしてほしい
 - 照明はLEDにしてほしい
 - メインアリーナは北側のほうが直射日光等の問題はなくなる
 - 四階観音席がよい、最低でも3方はほしい
 - 公式のバスケットコート・バレーコート3面ほしい
 - 選手ラウンジを本都庁として使えるように
 - 大会本部席となる場所が必要
 - 観音席の角度はしっかりと見やすいように意図的にしてほしい
- 大会での利用**
- 企業等の専用フェアができるよう、どこからでも入れるように
- スポーツ以外の活動**
- 企業の専用フェアができるよう、どこからでも入れるように

する・見る・伝える

- 『空間』を養育キーワード
- 『活動』を養育キーワード

ランニングコース

- 誰にでも使いやすい**
- ヒアリンググループを兼設してほしい
 - 園内での角ばったコースは足によくなくない
- 使いやすさ**
- ランニングコースのコルナーには丸みを持たせてほしい
- スポーツひろば**
- 多様なスポーツ活動**
- 3on3 ができるバスケットコートがほしい

エントランスホール

- スポーツ以外の活動**
- 気軽に立ち寄れて休めるスペース
 - 簡単な飲食ができる
- 器具庫**
- 使いやすさ**
- 収納スペースが足りない

事務室

- 多様なスポーツ活動**
- 市民団体常駐の事務所がほしい
- ウォームアップひろば**
- 使いやすさ**
- ウォームアップひろばは人工芝がよい
 - ウォームアップ広場・展望デッキ・ロビーはサブアリーナほど広くなくてよい
- 多様なスポーツ活動**
- ダンスの練習ができるようにミラーにしてほしい

新総合体育館建設関連事業スケジュール

平成33年4月供用開始予定

事業	項目	平成29年度(2017年度)			平成30年度(2018年度)			平成31年度(2019年度)			平成32年度(2020年度)																	
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3			
体育館建設	基本設計																											
	基本設計に関わる市民ワークショップ																											
	基本設計に関わる市民説明会																											
	現地測量																											
	地質調査用地測量																											
	実施設計																											
周辺道路整備	建設工事																											
	現地測量詳細設計																											
	用地測量(公園前)																											
	用地測量(交差点)																											
	工事(交差点・水路)																											
	工事(公園前)																											

報告第4号	教育部 図書館交流課
平成29年12月25日提出	(課長) 丸山 高人 (担当) 細田 昌伸

タイトル	第2次安曇野市図書館基本計画について
報告を要する事項の内容	パブリックコメントの実施
要旨	「第2次安曇野市図書館基本計画」の策定に伴い、案が完成したので、パブリックコメントを実施します。
説明	<p>1 策定の経過等</p> <p>H28. 7. 26 教育員会7月定例会 第2次計画の策定について決定</p> <p>9. 28～ 図書館協議会で協議(6回)</p> <p>12. 12 市民アンケート 2,500人 回答1,164人 ～12. 27 (回収率:46.5%)</p> <p>12. 12 利用者アンケート 392人 ～H29. 1. 11</p> <p>12. 12 市内17校児童生徒 477人 ～12. 21 (各校小学6年生、中学2年生1クラス抽出)</p> <p>H29. 7. 22 市民ワークショップ(参加者10人)</p> <p>2 案(別冊)の概要</p> <p>(1) 計画の位置づけ</p> <p>本市の行政運営の基本となる第2次安曇野市総合計画のもと、教育大綱、第2次安曇野市生涯学習推進計画、第2次安曇野市文化振興計画を補完する計画であるとともに、図書館法第7条の2に基づく「図書館の設置及び運営上の望ましい基準(平成24年文部科学省告示第172号)に規定する「基本的運営方針」とします。</p> <p>(2) 計画の期間 平成30年度～平成39年度</p> <p>(3) 計画の構成</p> <p>第1章 計画策定の目的と背景</p> <p>第2章 本市の公共図書館の現状等</p> <p>第3章 基本理念</p> <p>第4章 基本方針</p>

3 パブリックコメントについて

(1) 実施期間

平成 29 年 12 月 26 日 (火) ~平成 30 年 1 月 24 日 (水)

(2) 周知等

平成 29 年 12 月 20 日発行広報紙及びホームページ

(3) 実施場所

穂高交流学習センター「みらい」及び各支所地域課、各地域公民館、各図書館、市ホームページ

(4) 提出方法

任意の用紙に意見・提言を日本語で記載し、個人の場合は、住所・氏名、電話番号を、法人の場合は、法人名・代表者名・所在地・電話番号を必ず明記のうえ、郵送・持参・ファクス・メールのいずれかの方法で提出。(必要事項の記載がない場合や、電話・口頭による受付はできない)

平成 29 年 12 月 25 日開催

安曇野市教育委員会 12 月定例会配布資料

【別冊】

～知と心がみたまされる図書館を目指して～

第 2 次安曇野市図書館基本計画（案）

平成 30 年度～平成 39 年度

平成 29 年 12 月

安曇野市教育委員会

目 次

第1章 計画策定の目的と背景	2
1 計画の目的	2
2 計画の背景	2
3 計画の位置づけ	2
4 計画期間	3
第2章 本市の公立図書館の現状等	4
1 第1次計画の策定と図書館整備	4
2 公立図書館の現状と課題	4
第3章 基本理念	7
第4章 基本方針	7
1 市民への新鮮な資料や最新の情報の提供	7
2 さまざまな「学び」の場としての図書館サービスの充実	7
3 「地域の教育力」を高める活動の推進	8
4 図書館の利用に障がいのある方々の障がいの除去	9
5 本市の歴史と文化の継承	9
6 市民の調査・研究の支援の強化	9
7 計画の推進	10
資 料 編	11
1 目標基準例（日本の図書館 2011(日本図書館協会編)）	11
2 公立図書館概要	12
3 開館時間・休館日・貸出条件	12
4 蔵書数の推移	12
5 蔵書構成（平成 29 年 3 月 31 現在）	13
6 個人貸出点数の推移	13
7 地域別・年齢別・男女別貸出状況（平成 28 年度）	14
8 インターネットコーナー、AVブース設置状況	14
9 市民、利用者、小中学生アンケート	15
10 市民ワークショップ	24
11 策定経過等	25

第1章 計画策定の目的と背景

1 計画の目的

超少子高齢化・人口減少社会の到来とともに、グローバル化、高度情報化への進展など、社会情勢は常に変化しており、本市においてもそれは例外ではありません。このような中、多様化する市民の要望に的確に対応し、すべての市民に計画的で充実した図書館サービスを提供し、本市の公立図書館の目指す姿を明らかにするために、安曇野市図書館基本計画（以下「第1次計画」という。）に引き続き、第2次安曇野市図書館基本計画を策定するものです。

2 計画の背景

本市は、平成20年3月に「第1次安曇野市総合計画（以下「総合計画」という。）」を策定し、将来像を「北アルプスに生まれ 共に響き合う 田園産業都市 安曇野」としました。この総合計画に基づき、図書館は、生涯学習の推進を担う施設とし、図書館を核とした交流学习施設等の整備、機能の充実を図ってきました。

また、平成21年9月に策定した第1次計画では、市民から信頼され、広く利用される図書館を目指し、基本理念に「市民へ質の高い情報を提供できる『情報のセンター』を目指します。」と「生涯学習の中核として市民の『学び』のニーズに応えます。」の二つを掲げ、資料・サービス等の充実を図ってきました。

このようなことから、総合計画及び第1次計画の期間中の平成21年9月に中央図書館、平成23年2月に豊科図書館、平成28年4月に堀金図書館、平成30年3月に三郷図書館が新設開館し、施設の整備は、概ね終了することとなりました。

また、第1次計画の期間中には、図書館法第7条の2に基づく「図書館の設置及び運営上の望ましい基準（平成24年文部省告示第172号）」が改正され、基本的運営方針、指標、目標等の設定、図書館の運営状況の評価及びその公表、ボランティア活動の機会の提供等を含んだ基準が示されました。

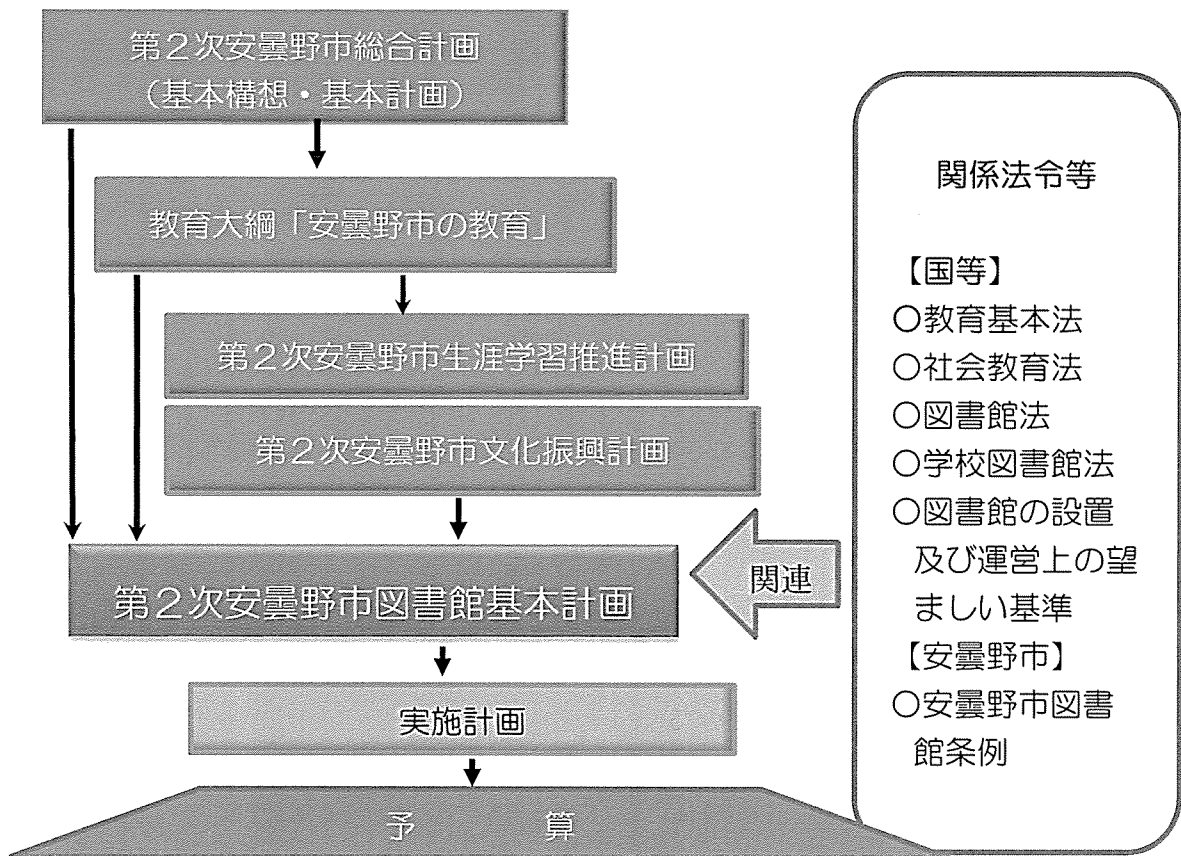
本市の生涯学習の推進には、誰もが学びやすく、学習意欲が高まる環境づくりに取り組むことや、市民の高度化・多様化するニーズに対応した学習機会を提供することが重要であり、図書館は、生涯学習の中核となる「情報センター」として、社会変化に対応したサービスの充実を図っていく必要があります。

本計画は、このような背景の中、図書館の機能をさらに充実し、図書館サービスの質的向上を図るため、総合計画などの上位計画を受け、本市の目指す図書館の姿を明らかにし、その実現に向けた施策を示すものです。

3 計画の位置づけ

本市の行政運営の基本となる計画である第2次総合計画のもと、教育大綱、個別計画である第2次安曇野市生涯学習推進計画（平成30年度～平成39年度）、第2次安曇野市文化振興計画（平成30年度～平成39年度）を補完する計画である

とともに、「図書館の設置及び運営上の望ましい基準」に規定する「基本的運営方針」にあたるものとします。



4 計画期間

本計画は、平成30年度～39年度の10年間とします。ただし、毎年度、点検と検証を行いながら、必要に応じて見直しをするものとします。

第2章 本市の公立図書館の現状等

1 第1次計画の策定と図書館整備

安曇野市まちづくり計画（新市建設計画）（平成17年3月策定）では、「地域を拠点とした生涯学習活動の活発化」の具体的な施策として、「住民ニーズに応え、各地域に図書館を建設し、ネットワーク化を図ります。なお、地域によっては、生涯学習センターなどの機能も併設させます。」とされていました。

平成17年10月の市政施行時の本市の図書館は、明科図書館を除く4館は、狭小で会議室などの必要な設備が整備されておらず、新鮮で多様な資料が少ないなど、総蔵書数、開架冊数、一人当たりの貸出冊数、利用者登録率が県内19市の平均値を下回り、充実した図書館サービスを提供しているとは言い難い状況でした。

このようなことから、第1次計画では、次の6つの項目を基本方針に定め、図書館を核とした交流学習施設を整備するとともに、機能の充実を図ってきました。

- (1) 新鮮な資料や最新の情報の提供
- (2) 様々な「学び」の場としての図書館サービスの充実
- (3) 「地域の教育力」の向上
- (4) 図書館利用に障がいのある方々への支援
- (5) 市の歴史の未来への伝承
- (6) 市民の調査・研究の援助

また、図書館施策の企画立案及び推進、幅広い資料の収集と長期保存等図書館サービスの中核を担う中央図書館と、地域に根ざした身近な地域図書館の運営計画を定め、施設の充実を図るとともに各館の特色ある運営と連携に努めてきました。

2 公立図書館の現状と課題

(1) 新鮮な資料や最新の情報の豊富な提供

市政施行から平成28年度までに、蔵書数は、約2倍となり、第1次計画の蔵書目標の40万冊に達する見込みですが、アンケート等では、新しい本、雑誌などの図書館資料の充実を望む意見や、視聴覚資料に対する満足度が他の資料に比べ低いなどの課題があります。

また、中央図書館では、信濃毎日新聞、法律情報、農業、インターネット百科事典、官庁情報の5種類のオンラインデータベース環境を提供しています。

さらに、全ての図書館で本の閲覧・貸出だけでなく、公衆無線LANの供用や、インターネットを利用できるパソコン、AV視聴ブースを設置していますが、他のサービスと比較すると利用が少ないことからサービスの周知などが課題です。

(2) さまざまな「学び」の場としての図書館サービスの充実

第1次計画の策定時から、全ての図書館で土日・祝日を開館日にするとともに、中央図書館では、平日は午前9時から午後8時までを開館時間としています。

全ての図書館で、児童用図書の本棚、幼児用スペース、おはなしの部屋を設置

するとともに、図書館ボランティアが中心となったお話会を中央図書館では毎週、地域図書館では月1回程度開催しています。あわせて、対象年齢別のブックリストの作成や比較的利用が少ないヤングアダルト層のコーナーを設置しています。

また、開館日には、図書館間で資料を運ぶ配本車を運行し、他館での貸出、返却を可能とするとともに、この配本車を利用し、認定こども園、児童クラブ、市内小中学校、病院、福祉施設等への団体貸出の配本を行っています。

平成27年5月からは、新しい図書館システムを導入し、インターネットからの蔵書検索や予約に対応しています。

しかし、アンケートでは、レファレンスやデータベースの利用が少ないことから、サービスの周知を図るとともに内容の充実に努めていく必要があります。

また、情報化社会が進展し、機器の発達や利便性の向上が高まっていることから、電子媒体による情報を収集、整理し、提供することが求められています。

(3) 「地域の教育力」の向上

全ての図書館で、市民のニーズに沿った図書館講座を開催するとともに、読んだ本の感想を100冊分書き込むことで、読書意欲が高まることを目的に、読書通帳を配布しています。多くの市民に読書通帳を利用していただけるように読書週間などで利用促進の企画を行っています。

中央図書館では、子どもの多様な能力を伸ばすため、学校での調べ学習の支援に向け、市内小中学校からの要望を踏まえ、計画的に学校調べ学習用図書を整備し、小中学校へ配本をしています。

また、乳幼児から本に親しんでもらうため、市内3カ所の保健センターで実施される4か月児検診時にブックスタートパックをお渡しするブックスタート事業に取り組んでいます。

しかし、アンケートによれば、公共図書館を利用する市民の割合は、約半数となっていることから、図書館に足を運んでくれるきっかけづくりや利用が少ない10代から20代の市民の利用促進が課題です。

また、市内の小中学校との連携を深めるとともに、地域の高等学校、大学などとの連携を進める必要があります。

(4) 図書館の利用に障がいのある方々への支援

図書館利用の障がいは、「図書館に来られない」、「活字資料を読むことが困難」等様々なものがあります。このような方のために目に障がいのある方への音訳した広報の提供やDAISY図書（視覚障害などで活字の読みが困難な人のために作成されるデジタル図書）の相互貸借のサービス、配本サービスなどの充実に努めています。

高齢化が進み、図書館に来られない方の増加や、文字が読みにくくなり読書から離れてしまう高齢者の増加が予想されることから、団体貸出サービスの周知や、

大活字本の充実、デジタル録音図書の導入の検討等が必要です。

(5) 安曇野市の歴史の未来への伝承

市や教育委員会など行政が刊行する諸計画、予算などの行政資料をはじめ、行政区や団体等で作成した地域文化に関する資料等を収集、整理し、貸出に供しています。

また、郷土資料のデジタル化、アーカイブ化などについては、博物館、美術館、公文書館等と連携し、取り組んでいく必要があります。

(6) 市民の調査・研究の援助

利用者の立場に立った図書館サービスを提供し、また、市民の学習を支援するレファレンスサービスを担えるような専門的知識と新しい技術の習得や職員の育成のため、全職員を対象とした研修会を実施するとともに、県立図書館、県図書館協会等が主催する研修会に参加し、職員のスキルアップに努めています。

図書館が、図書館活動を行う上で、専門的職員である司書が果たす役割は大きいことから、職員の専門的な知識・技術の継続や蓄積が課題です。

第3章 基本理念

- 多様化する市民の「学び」に応える図書館を目指します。
- 「本と人、人と人の出会いの広場」となる図書館を目指します。

市民が生涯学習を進める上で、質の高い情報を提供できる「学習センター」、「情報センター」、「文化センター」としての図書館の充実を図ります。

また、子どもから高齢者まで、本と触れ合う機会を増やすとともに、市民と市民が、本を通して出会う機会の充実を図ります。

第4章 基本方針

1 市民への新鮮な資料や最新の情報の提供

- (1) 市民が欲しい知識や情報を入手できるよう、必要な図書資料、視聴覚資料、オンラインデータベースなどの新鮮な資料や最新の情報を提供します。
- (2) 市内の公立図書館のネットワークを緊密化し、市民の要望に応えるとともに、地域特有の歴史や文化に関連した蔵書を充実していきます。
- (3) 行政資料や各種団体等から発行される広報誌、パンフレット等の収集・整理をし、保存・提供します。
- (4) 電子媒体資料などの提供を検討します。
- (5) 中高校生から30代の世代など図書館を利用することが少ない年代層に対して、関心のもてる資料の充実を図るとともに、ニーズに合わせたイベント・講座等を開催するなど利用の増加に取り組みます。

【数値目標】

指 標	現状値 (平成28年度)	目標値 (平成39年度)
公共図書館蔵書数(点)	396,562	422,000
個人登録者数/人口(%)	44	50

2 さまざまな「学び」の場としての図書館サービスの充実

- (1) 生涯学習の拠点施設のひとつとして、あらゆる年代の市民が自由に訪れ、個人やグループが気軽に学ぶことができるサービスの充実を図ります。
- (2) 複合施設である本市の図書館の特徴を生かし、交流学習センター等と連携した図書館サービスを提供していきます。

- (3) 託児サービスの提供や、参加者が参加しやすい時間帯のおはなし会や講座等を設定していきます。
- (4) 図書館の機能を生かしたメディアリテラシー（情報を選択し、知識を使いこなすこと。）を支援します。
- (5) レファレンスを充実させ周知するとともに、商用データベースの活用促進を図ります。分野ごとのパスファインダー（特定のテーマに関する文献、情報の探し方、調べ方の案内）などを作成し、市民が自力で情報にたどり着く手助けをします。
- (6) 関係機関や専門機関と連携し、ビジネス支援サービスや医療・健康情報サービスなど市民のニーズに応じた新たなサービスの検討をします。
- (7) 異文化共生社会の実現のため、関係機関や団体と協力し、外国語で書かれた資料の収集と提供、英語のおはなし会などの開催に努め、グローバル化の進む社会に対応した図書館サービスの充実を図ります。

【数値目標】

指 標	現状値 (平成 28 年度)	目標値 (平成 39 年度)
年間利用者数（資料貸出延べ人数と講座等参加者数の合計人数）（人）	212,808	220,300

3 「地域の教育力」を高める活動の推進

- (1) 子どもの「生きる力」を育むために、小中学校用調べ学習図書を整備、カリキュラム化した職場体験の受け入れ、講座の開催などにより学校図書館及び地域や家庭学習を支援します。
- (2) 市民の地域活動、生活、仕事などに必要な資料の収集と提供を行うとともに、読書会など市民の自主的な読書活動の推進を図るグループ等を支援します。
- (3) 認定こども園、幼稚園、学校、児童館等と協力して、子どもの読書環境を整えていくとともに、子どもの読書離れを防ぎ、自主的な読書活動を推進するため、「安曇野市子ども読書活動推進計画（仮称）」を策定します。
- (4) 市内の小中学校をはじめ、地域の高等学校、大学などと連携した事業、講座等を企画するなど連携を強化します。

【数値目標】

指 標	現状値 (平成 28 年度)	目標値 (平成 39 年度)
市民 1 人あたりの貸出点数（冊）	8.0	9.0

4 図書館の利用に障がいのある方々の障がいの除去

- (1) 「図書館に来られない。」、「活字資料を読むことが困難」など、図書館の利用に障がいのある方々のために、団体貸し付けの拡充、対面朗読、大活字本の充実を図るとともに、電子書籍の導入については市民の要望や先進事例を踏まえながら検討していきます。
- (2) 市の関係機関や社会福祉協議会等と連携を図り、介護福祉施設などへの図書館利用の呼びかけや、養護学校の職場体験活動の受け入れを行います。
- (3) 朗読ボランティアのサービスを拡充し、ボランティアの朗読研修会を行うとともに、広報の録音、録音図書製作等に努めます。

【数値目標】

指 標	現状値 (平成 28 年度)	目標値 (平成 39 年度)
団体貸出点数	25,144	28,000

5 本市の歴史と文化の継承

- (1) 郷土の歴史と文化を継承し、後世に伝えるために郷土資料を網羅的に収集し、保存、提供します。
- (2) 本市の新しい文化の創造に役立つよう、郷土資料や情報を整理し、提供します。
- (3) 市の機関、教育委員会の所管する美術館、博物館等と連携し、各機関が行う行事や講座などと連携した企画等を行います。

【数値目標】

指 標	現状値 (平成 28 年度)	目標値 (平成 39 年度)
郷土資料蔵書数 (点)	29,950	38,000

6 市民の調査・研究の支援の強化

- (1) レファレンスサービスを担う職員の資質向上のため、専門知識や新しい技術の習得に努めるとともに、著作権等の法令遵守に関する研修等を充実させます。
- (2) 市民の学習の成果を生かす場としてのおはなし会や図書館講座を開催します。
- (3) 本市の図書館に蔵書のない資料でも、国立国会図書館や県立図書館などの他の図書館から取り寄せて提供相互貸借サービスを進めます。

【数値目標】

指 標	現状値 (平成 28 年度)	目標値 (平成 39 年度)
-----	-------------------	-------------------

レファレンスサービス 利用数（件）	4,469	7,280
相互貸借借受数（件）	350	450

7 計画の推進

- (1) 充実した図書館を作っていくためにアンケートの実施や市民ワークショップを開催するなど、市民との協働により、市民のニーズに沿った図書館運営に努めていきます。また、民間のノウハウを生かした図書館運営についても検討していきます。
- (2) 図書館法に基づく図書館協議会で協議の上、事業計画を策定し、公表するとともに、運営状況についての点検及び評価を毎年度行います。
- (3) わかりやすく親しみあるホームページの充実や市の広報誌、ツイッターなど様々な媒体による情報発信に努め、図書館活動の周知を図ります。
- (4) 中央図書館は、専門的な資料の充実、提供に努めるとともに、本市の図書館サービス全体の企画立案を行い、多様な事業等に取り組みます。また、地域図書館は、身近な図書館として、多くの図書館が標準的に所蔵している図書の充実に努めるとともに、地域の伝統、文化などに根差した特色ある資料の充実に図ります。
- (5) 多くの市民が利用する図書館の安全対策や個人情報の保護、迷惑行為の防止などに対応した危機管理マニュアル等の整備を図ります。
- (6) 図書のリサイクルの推進や施設の適切な管理など、環境への負荷の少ない図書館運営を行います。
- (7) 人員や資金を含めた限られた資源の有効活用を図ります。

資料編

1 目標基準例（日本の図書館 2011(日本図書館協会編)）

	上位公立図書館	安曇野市立図書館	備考
人口	85,089.0	94,779	H29.4.1 毎月人口異動調査(長野県)
図書館数	3.0	5	
図書館専有延床面積 (㎡)	4,188.4	4,525	
自動車図書館数 (台)	1.0	0	
専任職員数	10.5	4	H29.4.1 現在
うち司書	6.9	2	
司書率	90.1	50.0	
非常勤・臨時職員数	18.4	32	
うち司書	10.1	31	
委託・派遣職員数	8.5	0	
うち司書	7.8	0	
蔵書冊数	408,536.1	396,562	H29.3.31 現在
うち閉架冊数	235,164.7	90,192	
図書年間購入冊数	16,393.6	17,889	
雑誌年間購入種数	319.0		
新聞年間購入種数	33.8		
登録者数	50,544.0	41,493	
貸出点数	1,033,889.0	764,311	
人口当貸出点数	12.2	8.0	
予約件数	74,554.4	28,414	
図書館費(経常費・千円)	130,387.3	158,652	H29 年度予算
資料費(臨時含む)(千円)	31,235.0	45,109	
うち図書費	20,209.8	39,972	
うち雑誌新聞費	4,537.9	5,137	
うち視聴覚費	3,474.8		図書費に含む
人口当資料費(円)	371.3	475.9	

これからの図書館在り方検討会議報告書（平成 24 年 8 月）「図書館の設置及び運営上の望ましい基準の見直しについて」から

2 公立図書館概要

名称・所在地	現施設開館年	構造・延べ床面積 (㎡)	蔵書点数 (H28年度末)	個人利用者数 (H28年度)
中央図書館 穂高 6765-2	H21.9.12	S造 2階建て、 1,820	200,341	128,323
豊科図書館 豊科 5609-3	H23.2.11	RC 3階建て、 1,089	81,692	45,284
三郷図書館 三郷明盛 4810-1	H30.3.10	S造平屋建て、 961	35,517	10,718
堀金図書館 堀金烏川 2753-1	H28.4.1	RC 3階建て、 700	31,783	13,889
明科図書館 明科中川手 6814-1	H15.4	RC 2階建て、 817	47,229	8,826

3 開館時間・休館日・貸出条件

	開閉館時刻		休館日	貸出条件等	
	平日	その他の日		点数	期間
中央図書館	9:00~ 20:00	9:00~ 18:00	毎週月曜日 祝日の翌日 最終金曜日 年末年始 蔵書整理期間	<ul style="list-style-type: none"> ・個人 図書 10冊 AV 3点 紙芝居 2点 ・団体 図書 100冊 	<ul style="list-style-type: none"> ・個人 2週間 ・団体 1カ月
豊科図書館	10:00~18:00				
三郷図書館					
堀金図書館					
明科図書館					

4 蔵書数の推移

年度	中央図書館	豊科図書館	三郷図書館	堀金図書館	明科図書館	計
H18	51,390	61,415	27,069	21,295	40,710	201,879
H19	57,206	60,986	25,609	21,166	39,073	204,040
H20	58,243	63,298	26,290	21,396	41,481	210,708
H21	61,465	67,319	27,397	21,685	42,939	220,805
H22	151,221	46,290	28,426	21,804	44,421	292,162
H23	156,476	60,136	29,074	22,278	44,069	312,033
H24	163,420	69,361	29,895	22,993	44,645	330,314
H25	171,034	71,991	30,755	23,118	45,425	342,323
H26	178,455	74,327	31,199	23,507	46,041	353,529
H27	186,793	76,416	31,520	24,431	45,936	365,096
H28	198,097	79,458	33,622	27,834	46,670	385,681
H29	200,341	81,692	35,517	31,783	47,229	396,562

※ 中央図書館の平成17年度から20年度までは、穂高図書館の数値

5 蔵書構成 (平成 29 年 3 月 31 現在)

蔵書構成	5館合計		中央図書館		豊科図書館		三郷図書館		堀金図書館		明科図書館	
	全蔵書	うち児童	全蔵書	うち児童	全蔵書	うち児童	全蔵書	うち児童	全蔵書	うち児童	全蔵書	うち児童
総記	8,772	1,467	5,661	822	1,439	300	484	87	490	110	698	148
1 哲学	11,221	1,278	6,503	632	2,197	324	745	112	763	110	1,013	100
2 歴史	27,199	4,883	14,038	2,275	6,203	1,217	2,069	478	1,889	452	3,000	461
3 社会科学	33,936	5,369	20,043	3,002	5,835	1,189	2,103	344	2,263	410	3,692	424
4 自然科学	27,535	9,183	15,213	4,457	5,232	1,918	1,988	971	1,956	812	3,146	1,025
5 技術・工学	22,174	3,339	11,559	1,469	4,841	860	1,421	307	1,814	273	2,539	430
6 産業	11,249	2,120	6,047	933	2,444	498	709	193	826	206	1,223	290
7 芸術・美術	29,877	5,649	13,798	2,483	8,134	1,414	2,479	581	1,941	504	3,525	667
8 言語	5,186	1,612	2,519	670	1,337	539	377	134	451	153	502	116
9 文学	114,252	35,213	57,574	16,498	22,420	7,188	12,330	4,627	9,379	3,215	12,549	3,685
B 文庫	20,343		10,127		2,824		996		597		5,799	
D 大活字本	2,321		961		704		223		123		310	
N 郷土資料	29,950		12,944		7,750		3,777		2,998		2,481	
R 参考図書	3,720	151	1,831		594	1	40	1	507	64	748	85
OC 大型紙芝居	59	59	19	19	14	14	9	9	10	10	7	7
C 紙芝居	2,929	2,929	1,129	1,129	770	770	412	412	323	323	295	295
E 絵本	40,223	40,223	17,558	17,558	7,984	7,984	4,957	4,957	4,542	4,542	5,182	5,182
YE 洋書絵本	1,105	1,105	648	648	251	251	48	48	43	43	115	115
OE 大型絵本	394	394	159	159	81	81	60	60	65	65	29	29
Y 洋書	913	205	626	135	186	28	61	23	30	14	10	5
T 点字	124	15	105		7	6	2	2			10	7
M コミック	3,080	799	1,279	1	445	85	227	79	773	285	356	349
図書計	396,562	115,993	200,341	52,890	81,692	24,667	35,517	13,425	31,783	11,591	47,229	13,420

6 個人貸出点数の推移

年度	中央図書館	豊科図書館	三郷図書館	堀金図書館	明科図書館	計
H17	86,109	61,918	35,893	12,933	44,964	241,817
H18	96,950	69,311	40,108	22,402	58,858	287,629
H19	112,162	72,624	41,574	29,325	64,856	320,541
H20	128,021	80,220	48,597	35,416	66,813	359,067
H21	331,115	85,747	47,036	36,275	66,329	566,502
H22	556,589	57,509	40,313	24,923	43,971	723,305
H23	499,233	173,082	33,601	18,496	38,551	762,963
H24	492,527	164,334	33,474	20,391	32,735	743,461
H25	485,126	168,037	42,433	22,819	31,062	749,477
H26	473,419	151,948	42,769	24,562	30,862	723,560
H27	486,420	165,752	34,443	21,080	29,685	737,380
H28	479,103	155,613	43,824	56,823	28,948	764,311

※ 中央図書館の平成 17 年度から 20 年度までは、穂高図書館の数値

7 地域別・年齢別・男女別貸出状況（平成28年度）

地域名	平成28年度地区別貸出数/平成27年国勢調査地域人口													
	男							女						
	0～15歳	15～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上	計	0～15歳	15～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上	計
豊科	10.4	1.3	3.6	5.6	3.6	4.4	4.8	13.2	4.5	19.5	14.4	9.3	5.0	9.6
豊科南穂高	6.7	1.7	2.7	4.7	4.2	3.3	3.8	10.4	5.0	14.1	10.4	7.1	4.1	6.9
豊科高家	6.4	0.9	2.5	3.3	3.7	3.8	3.6	6.9	3.4	13.7	9.9	4.7	2.7	5.6
豊科田沢	2.8	0.5	0.2	4.9	1.9	5.4	3.4	10.1	6.0	12.4	5.1	4.7	2.7	5.4
豊科光	8.8	0.8	2.6	2.1	4.0	4.7	4.3	4.5	22.9	10.6	9.9	10.7	7.2	9.6
小計	8.4	1.2	3.0	4.6	3.6	4.1	4.2	10.5	5.0	16.6	11.9	7.4	4.1	7.8
穂高	15.3	1.9	4.3	6.6	4.5	7.4	6.9	21.8	7.1	26.5	21.7	9.8	7.4	13.4
穂高北穂高	10.8	0.3	3.7	7.6	4.2	4.0	5.1	14.4	5.6	17.0	12.1	10.3	6.5	9.6
穂高有明	15.1	1.7	5.4	9.1	5.0	9.4	8.3	17.4	4.3	19.4	21.3	12.3	9.2	12.9
穂高柏原	12.9	1.6	3.6	6.2	7.4	6.3	6.4	16.7	4.5	20.2	17.8	11.4	6.7	11.4
穂高牧	14.4	1.0	4.9	10.0	12.0	4.9	7.2	31.2	6.6	26.0	21.1	9.8	9.3	14.5
小計	14.2	1.6	4.4	7.5	5.6	7.5	7.1	18.7	5.5	22.1	19.8	11.0	7.8	12.8
三郷小倉	14.9	0.7	1.5	3.4	2.4	0.6	2.6	9.2	1.5	6.7	17.3	6.9	0.8	4.5
三郷温	6.7	1.0	4.5	2.3	1.0	2.4	2.9	9.3	3.1	12.9	8.3	3.4	2.5	5.7
三郷明盛	7.3	1.1	4.3	4.6	3.0	2.9	3.8	16.3	5.0	17.3	13.6	4.9	4.4	9.2
小計	7.7	1.0	4.0	3.6	2.2	2.3	3.3	13.2	3.9	14.8	12.0	4.6	3.1	7.4
堀金烏川	12.0	2.7	2.6	6.2	2.3	4.8	5.3	19.1	4.6	18.0	18.3	5.4	5.2	10.4
堀金三田	11.5	2.1	2.4	3.5	2.1	4.8	4.7	16.4	4.8	22.8	14.6	5.0	3.1	9.0
小計	11.8	2.6	2.5	5.6	2.3	4.8	5.1	18.4	4.7	19.2	17.6	5.3	4.6	10.1
明科光	4.0	0.6	1.9	4.1	1.9	2.2	2.3	6.3	0.3	19.5	7.6	1.3	4.0	4.7
明科中川手	10.1	0.3	3.4	7.9	3.9	3.9	4.9	17.8	5.3	16.5	18.5	4.1	3.5	8.5
明科東川手	11.0	1.0	1.1	2.3	0.4	3.3	3.2	7.2	3.3	6.3	10.7	3.4	2.2	4.1
明科七貴	7.2	1.7	1.8	4.3	3.0	3.9	3.8	8.1	3.1	17.1	9.0	5.8	2.9	5.8
明科南陸郷	5.5	0.0	5.2	0.3	0.0	1.8	1.8	6.7	3.4	32.3	5.3	7.1	0.5	4.3
小計	8.4	0.9	2.5	5.2	2.5	3.4	3.8	11.5	3.4	16.6	12.2	4.2	2.9	6.3
市内計	10.8	1.4	3.6	5.6	3.8	5.0	5.1	14.8	4.6	18.3	15.2	7.7	5.1	9.4

8 インターネットコーナー、AVブース設置状況

	インターネット	AVブース	備 考
中央図書館	4	7	
豊科図書館	4	2	
三郷図書館	4	4	
堀金図書館	3	2	
明科図書館	3	3	

9 市民、利用者、小中学生アンケート

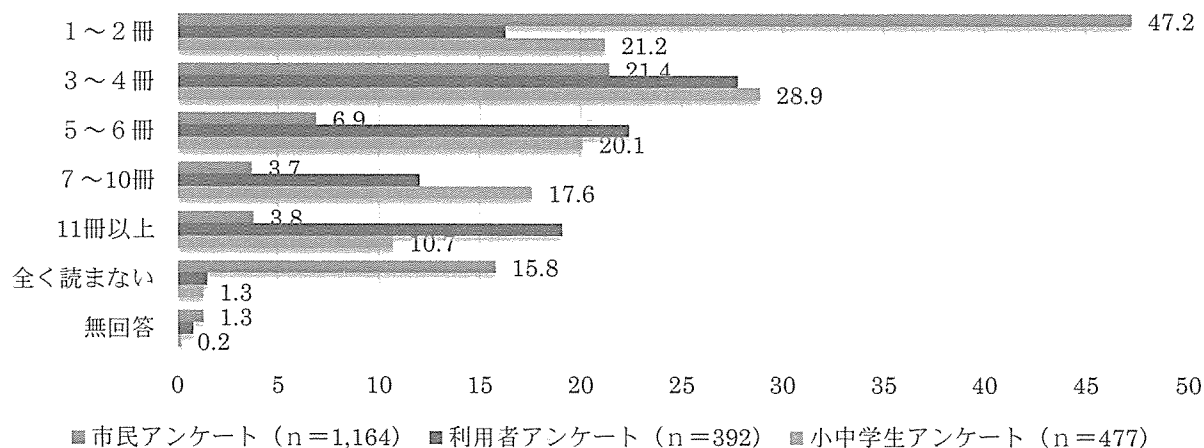
(1) 調査の概要

	市民アンケート	利用者アンケート	小中学生アンケート
調査対象	16歳以上の安曇野市民 2,500人(住民基本台帳 から無作為抽出)	市内の図書館利用者	市内17小中学校の小学 6年生・中学2年生(各 校1クラス)
調査方法	郵送による配布・回収	図書館内で配布・回収	授業内に配布・回収
調査期間	平成28年12月12日 ～平成28年12月27日	平成28年12月12日 ～平成29年1月11日	平成28年12月12日 ～平成28年12月21日
回答数	1,164票 (回収率46.5%)	392票	477票

(2) アンケート結果の概要

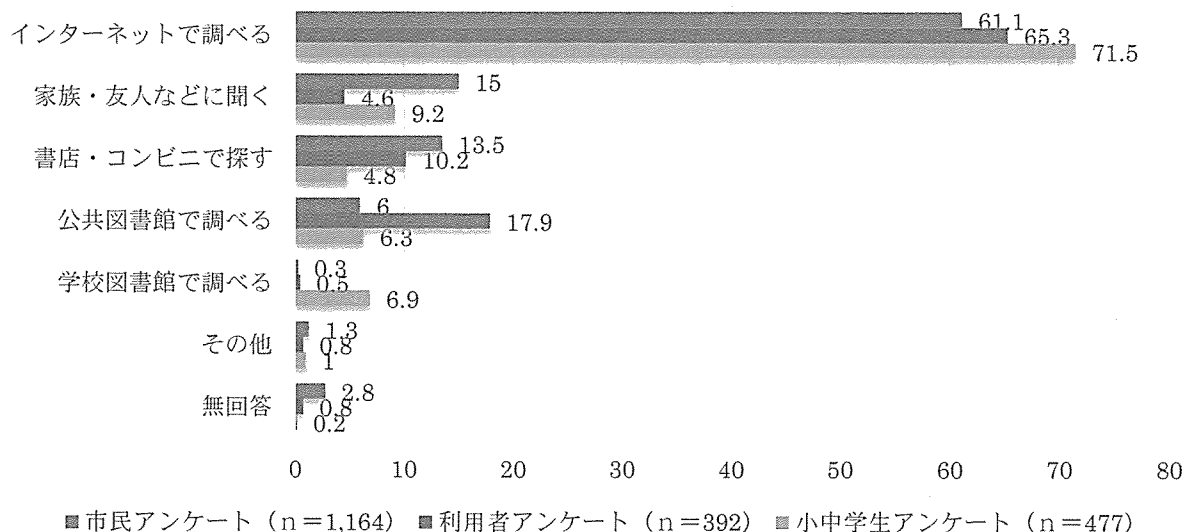
単位 %

1カ月の平均読書量

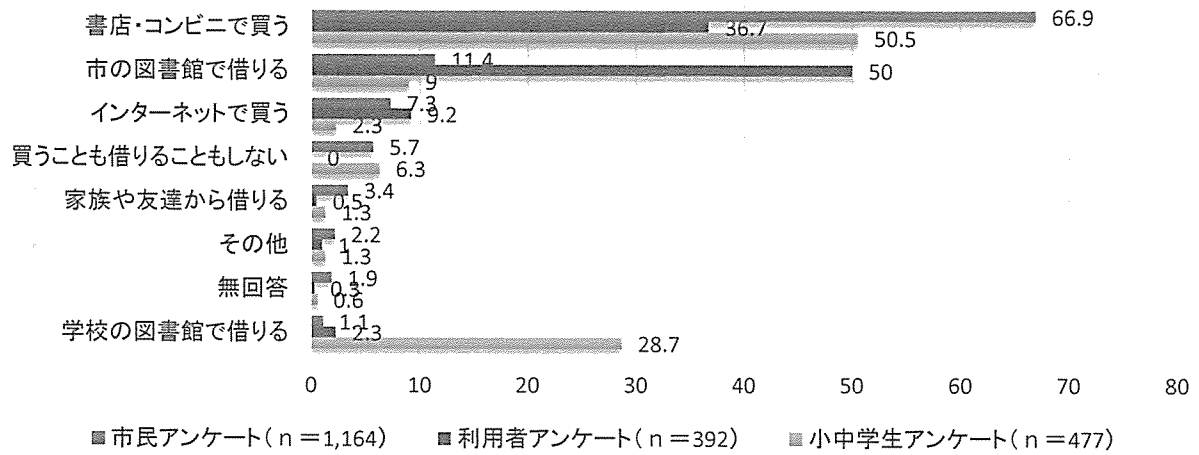


単位 %

知りたいことの入手方法

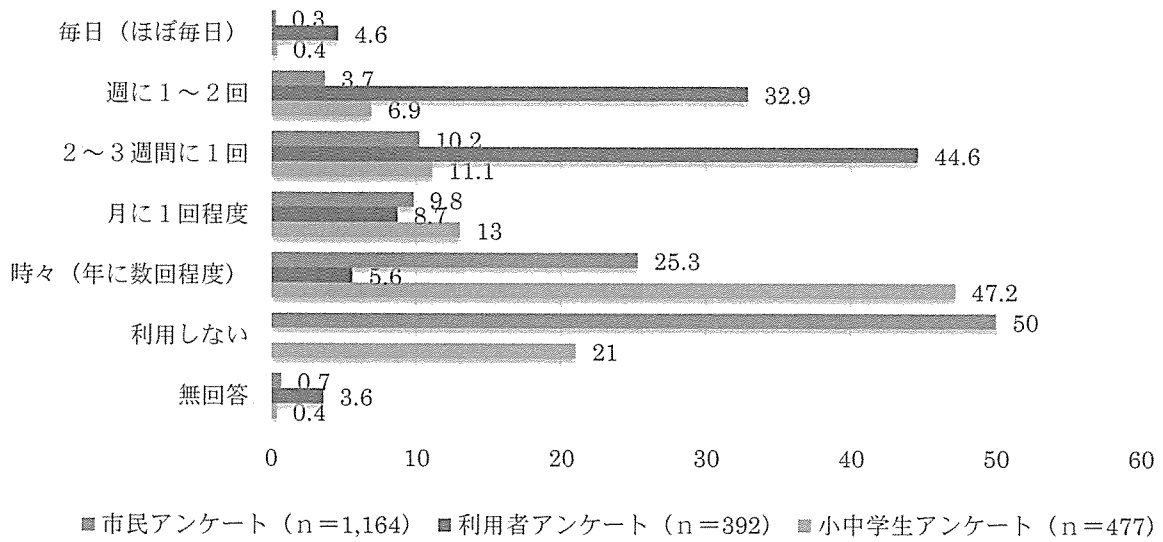


本の入手方法



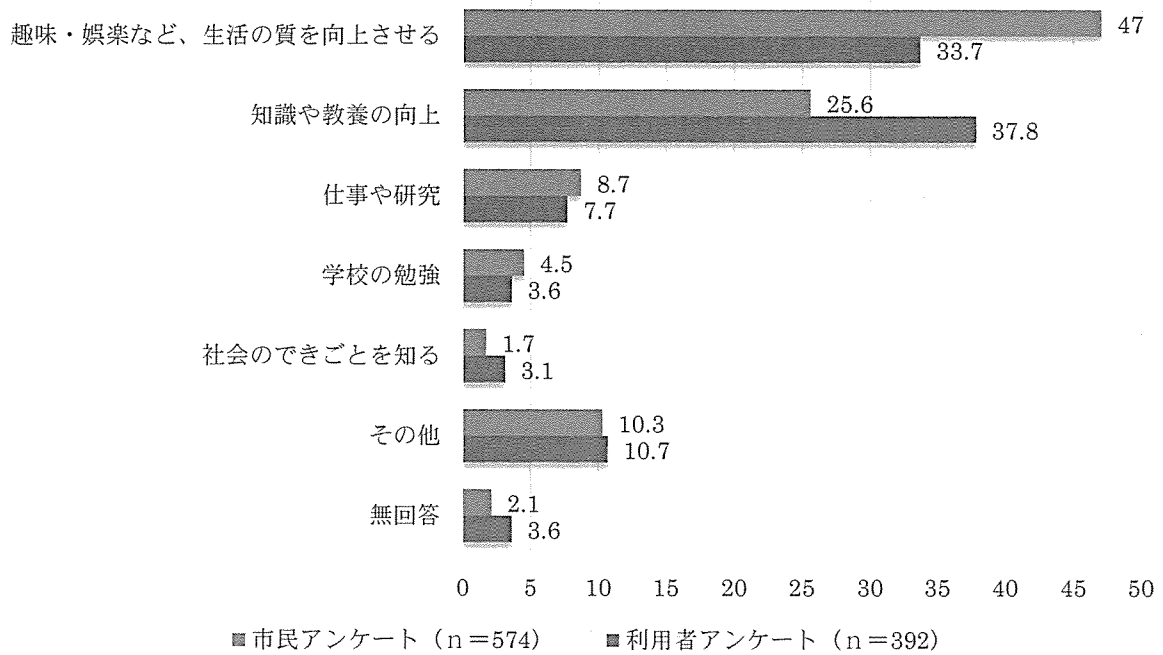
単位 %

公共図書館の利用頻度



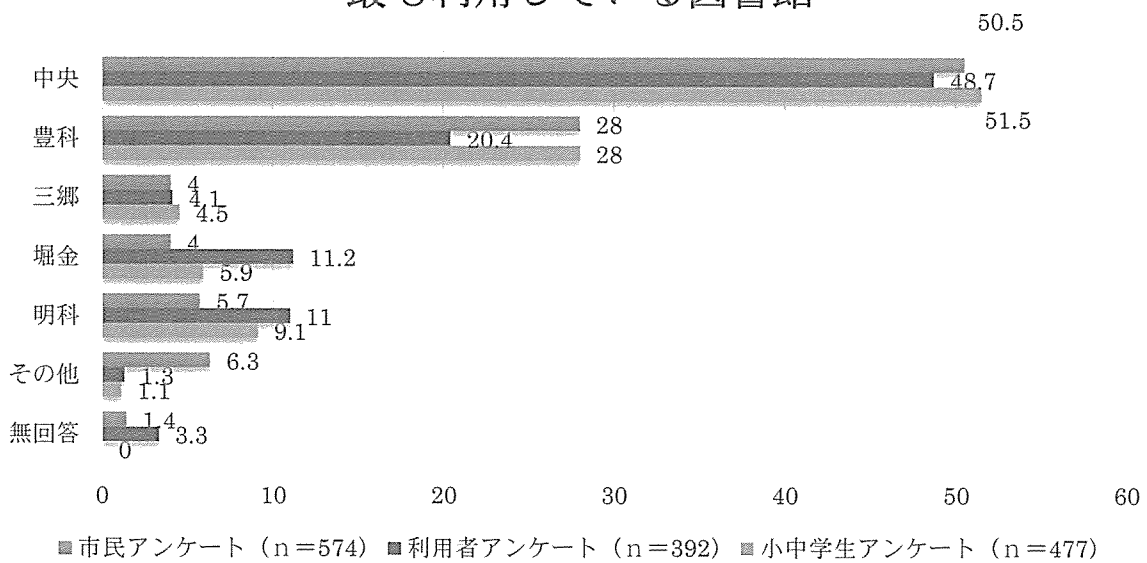
単位 %

図書館の利用目的



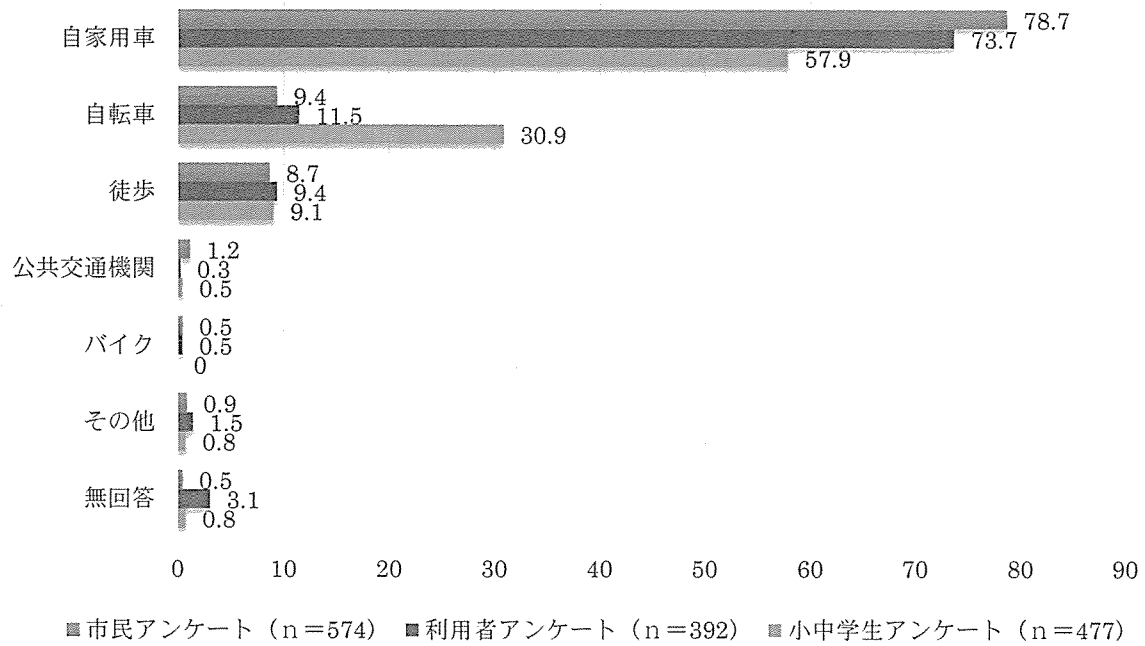
単位 %

最も利用している図書館



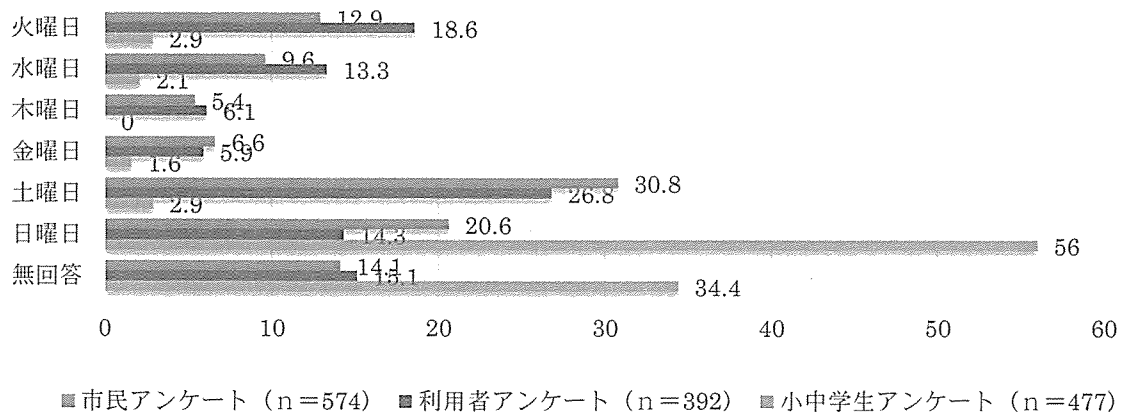
単位 %

来館の手段



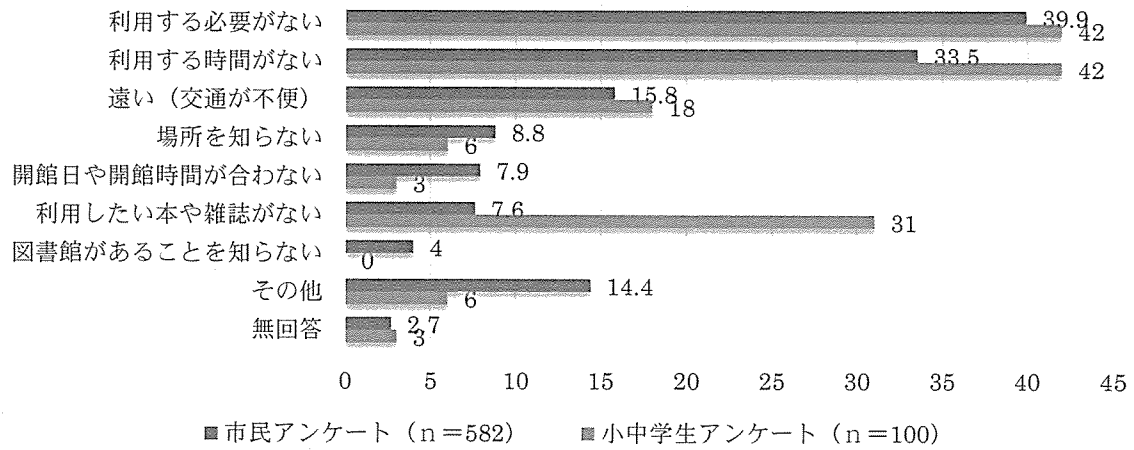
単位 %

よく利用する曜日



単位 %

図書館利用しない理由



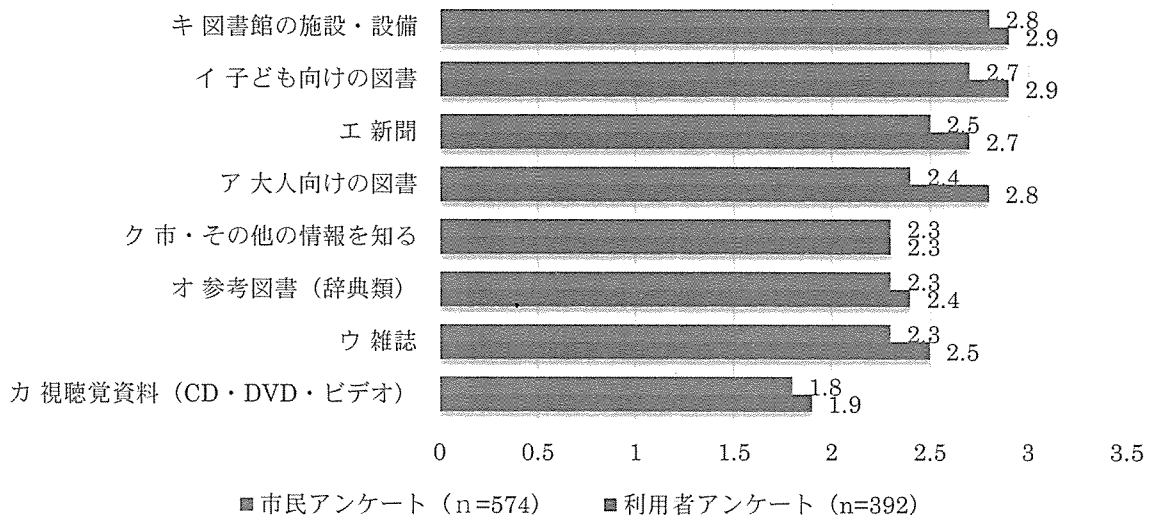
※ 複数回答あり

回答いただいた選択肢をそれぞれ以下のように換算し、それらの合計値を指数化して、グラフにしました。

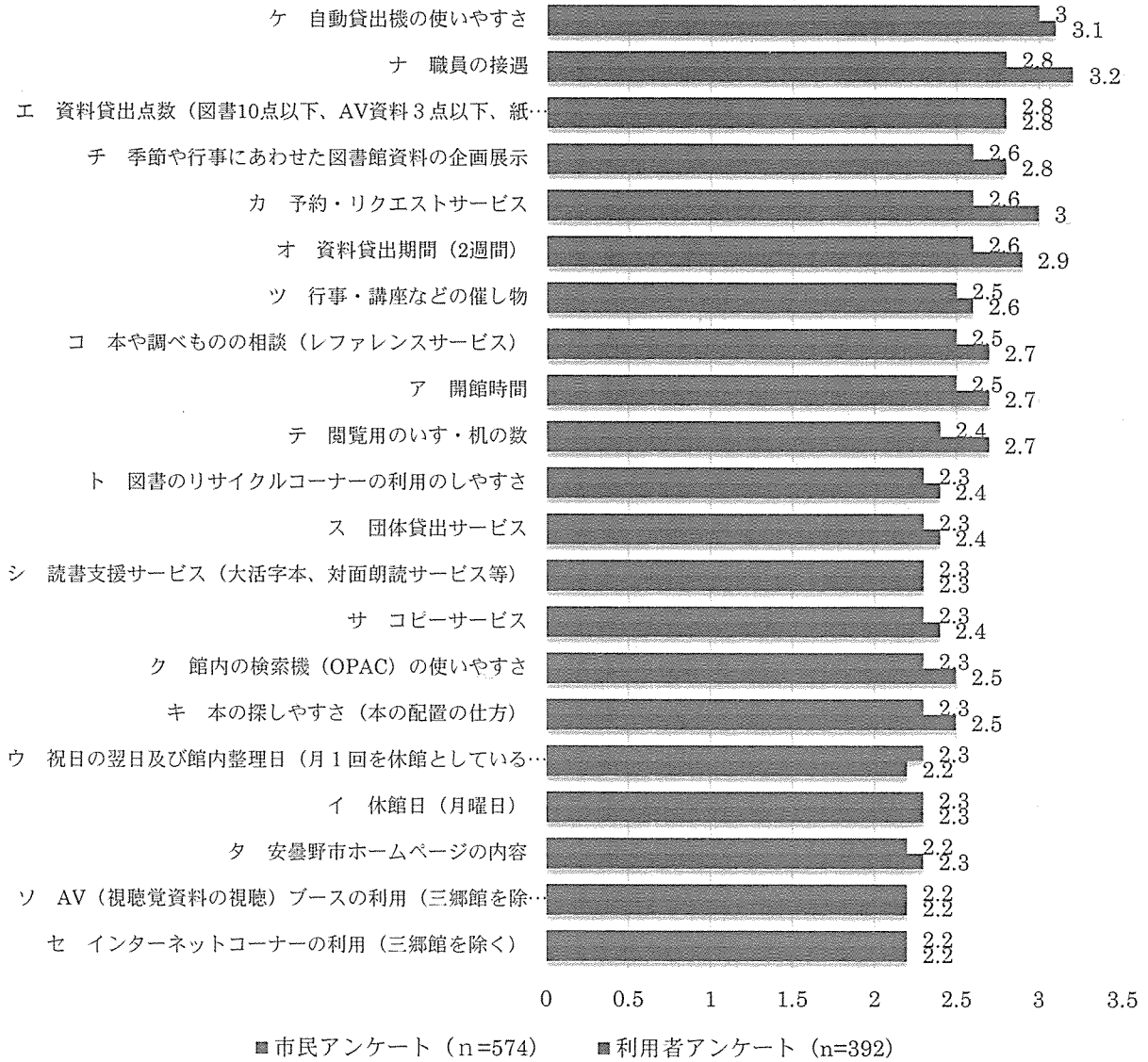
- ・非常に満足 4点
- ・やや満足 3点
- ・どちらでもない 2点
- ・やや不満 1点

※ わからない、無回答は、除いて計算しています。

施設・資料についての満足度



図書館のサービスについての満足度

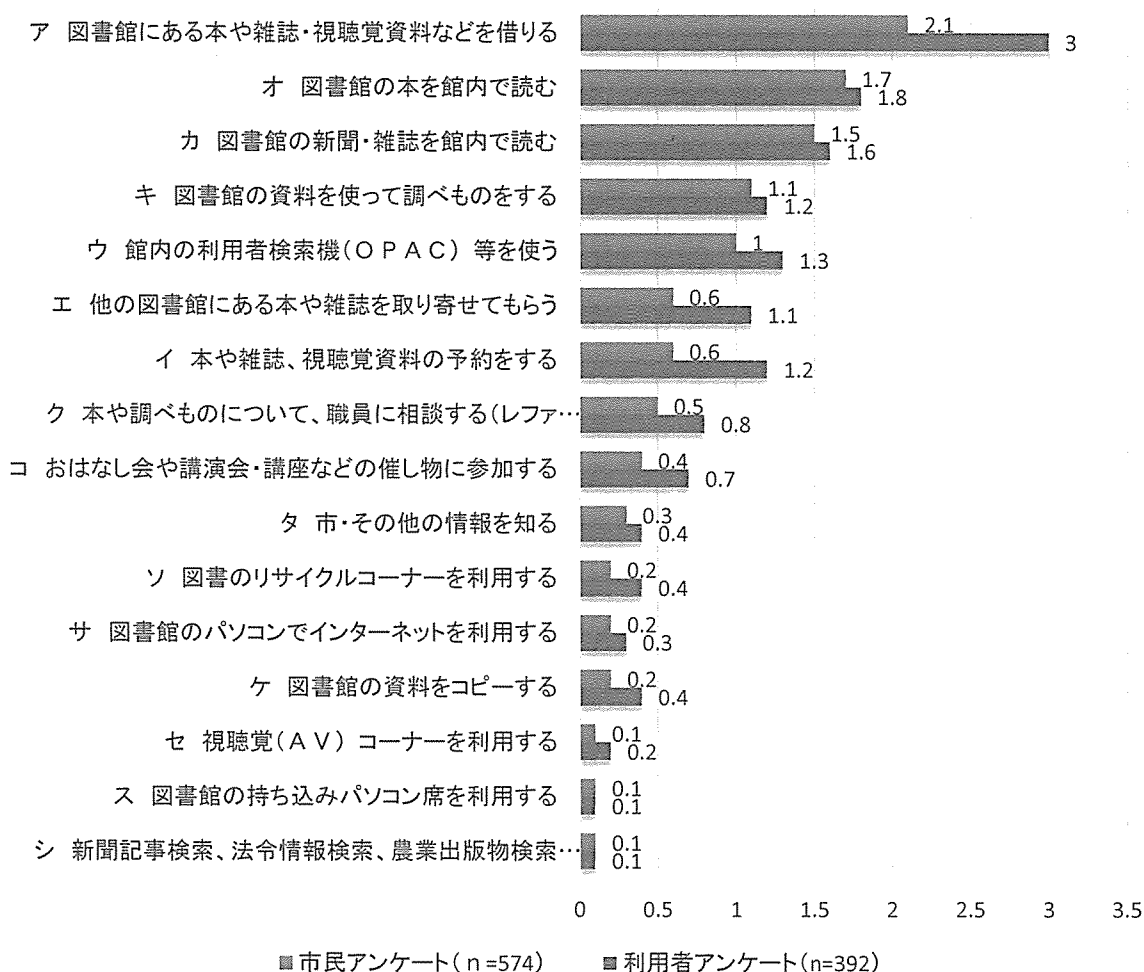


※ 回答いただいた選択肢をそれぞれ以下のように換算し、それらの合計値を指数化して、グラフにしました。

- ・いつも利用する 4点
- ・比較的利用する 3点
- ・たまに利用する 2点
- ・利用したことがある 1点

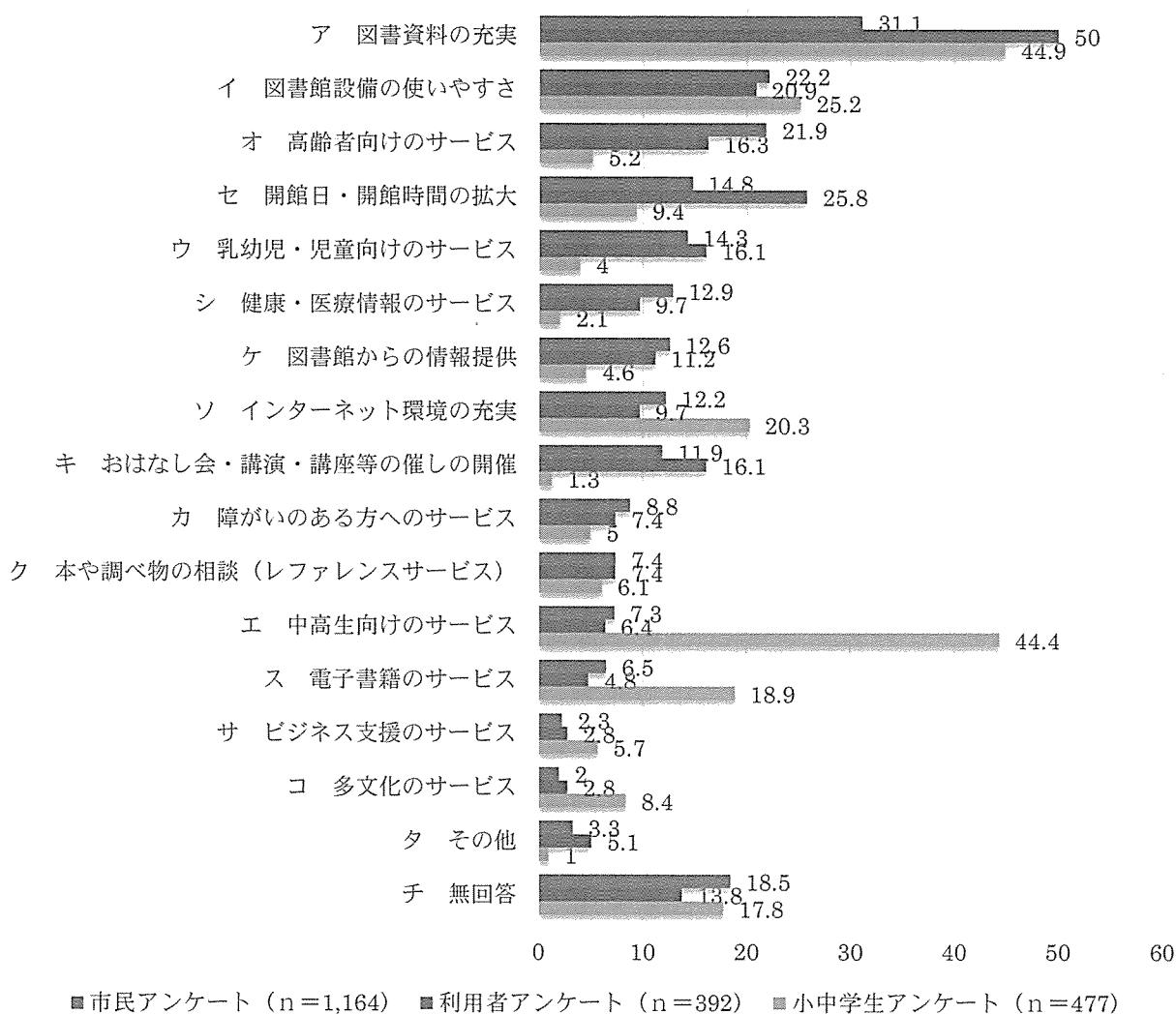
※ 知らなかった、無回答は、除いて計算しています。

図書館サービスの利用状況



単位 %

特に充実すべき図書館サービス



※ 選択、1人3つまで

10 市民ワークショップ

(1) 期 日 平成29年7月22日(土)午後2時～午後4時30分

(2) 参加者 応募者10名

(3) 内 容

Aグループ キャッチフレーズ :『誰でも利用しやすい身近な図書館』 :『知と心が満たされる図書館』	
図書館資料に関すること	
良い	・本の整理整頓、分類が良い
悪い	・検索するとすぐに手に入らないものが多い(複本を多く)・英語の絵本が少ない(児童向け)・新刊の貸出中が多くて長い(児童向け新刊も)・本の紹介がほしい・ICタグの位置を考えてほしい(特に絵本の表紙に邪魔になる)
提案	・幼児・児童向けの英語の絵本、童話、グリムの本をおく・どこまでが財産として扱われているのか
サービス、運営に関すること	
良い	・職員の対応が早くて親切、また、良く勉強している(多数)・本のある場所をすぐに案内してくれる・パソコンで調べてくれる・市外から本を取り寄せてくれる
悪い	・障がい者への配慮・図書館と小学校との連携・ベテラン職員の交代・ボランティアで、できる時にできる人がやれるように緩くしてほしい・民営化は賛成できない・一斉休館日に問題あり・ヤングアダルトを対象とした本を紹介・紹介本のコーナーに早めにタイムリーな陳列を・宣伝がうすい。市民の声を吸いあげる機会が少ない・来館者のマナーが悪い・ワークショップの討議時間が短い
提案	・“マナーを守って” 掲示を・館内の外で職員と交流しながら課題を拾い上げ、次につなげる・5館の休館日をバラバラに(複数)・分館の開館時間を長く・行政が縦社会ではなく、横のつながりでイベントを・臨時職員の雇用期限をなくす・年に数回、無料でステージ、音響を開放・ビブリオバトルや婚活パーティー・就園前のお母さんを対象に読み聞かせを教える(子は託児にして)・ボランティアと職員と一緒に企画運営をしたイベント・伴走型支援をしてほしい・企画を持ち込んで相談に乗ってくれる中間支援組織がほしい・年に数回、定期的に各館で地元住民とのワークショップをしてほしい・ワークショップを定期的開催し、市民と図書館の交流を深める・ワークショップの討議時間を90分位にする
施設、設備に関すること	
良い	・明るく静かで本が良く読める・トイレがいつも非常に綺麗
悪い	・トイレ手洗い乾燥機に黒いカビあり・リクエスト等の鉛筆を濃いものにしてほしい・図書館へ行く交通の便がない
提案	・たんぼぼカフェ4時までやってほしい・グループ活動室に清掃道具をおいてほしい

Bグループ キャッチフレーズ : 『気軽に集える図書館』	
図書館資料に関すること	
良い	・読みたい本をリクエストしてくれる
悪い	・大型紙芝居、絵本が少ない・信大に比べ専門書が少ない
提案	・大型紙芝居、大型絵本の各図書館の蔵書データを掲示してほしい・各図書館にゆうゆう(主婦の友社)とハルメグ(シニア女性雑誌)を置いてほしい・いらなくなっていて提供できる本をWeb上でリサイクルできる情報提供
サービス、運営に関すること	
良い	・職員が勉強していて相談しやすくなった・利用者の心を上手く受け止めてくる・相互貸借ができる・職員の対応がよい・司書のアイデアが豊富・リサイクル本コーナーが素晴らしい・必要な資料を即座にそろえてくれる
悪い	・禁貸本の活用方法を検討・ブラウジングコーナーに同じ人がいつもいて使いづらい・図書館まで遠い・講演会などイベントが中央図書館と豊科図書館に集中している
提案	・禁貸本をボランティアやお話会の人に貸し出して有効活用を・ご意見箱をおく・思春期の少年少女が自己表現する読みっこ会開催・少年少女の居場所づくり・「回し読みの会」開催・親になる人対象の読み聞かせ会(仲間づくりにもなるかも)・年間行事予定表を各戸に配布・参加できるボランティアの機会提供・ボランティアの読み手育成・出前図書館の取り組み・お話会グループの交流と他地域へのいく機会提供・他施設との連動、企画イベント・年配の方の知恵を図書館で活かす・喪失者が生きがいを取り戻すワークショップ・絵本づくり講座・図書館に行けないひとのために移動図書館を・農家の人たちが利用できる企画を・図書館を利用しない人のための企画・終活ワークショップ・年配者が思い出、懐かしの世界を楽しみあえる機会を図書館で
施設、設備に関すること	
良い	—
悪い	・本の貸出機の機能充実・信大のように飲食できる場所を
提案	・お茶をのんだり横になったり、コタツがあったり気軽に行ける図書館に・信大のように1階は飲食、話しOK、2階は話しのみ、3階は両方しない、利用内容ごとのスペースがほしい・塩尻のようにおしゃれ感を出す・デマンドの動いている曜日に、お年寄りが集える場所になるように・「厚い時、寒い時は図書館へ」を呼び掛ける・子どもたちが気楽に集まれる場所に

11 策定経過等

【計画策定時に記載】

報告第5号	教育部 生涯学習課
平成 29 年 12 月 25 日提出	(課長) 蓮井 昭夫 (担当係長) 堀金 一恵

タイトル	安曇野市公民館の館長公募要領の改正について
要旨	安曇野市公民館の館長公募要領の一部を改正しました。
説明	<p>豊科公民館長、穂高公民館長、三郷公民館長、堀金公民館長及び明科公民館長が平成 30 年 3 月 31 日をもって任期満了となります。</p> <p>そこで、平成 30 年 1 月 10 日から 1 月 31 日までの期間に各公民館長の公募を行うにあたり、より幅広く応募を促すため、以下のとおり安曇野市公民館の館長公募要領の一部を改正することとしました。</p> <p>【改正点】</p> <p>1 「1 公募の基準」のうち、「(4) 普通自動車免許を有している者」及び「(5) パソコン(基本操作・ワード・エクセルなど)ができる者」を削除する。</p> <p>2 「4 応募方法」のうち、「(3)」から、「手書きではなく、ワード、エクセルなどで作成のこと。」を削除する。</p>

改正後の安曇野市公民館の館長公募要領

目的

公民館は、生涯学習や社会教育の施設として、広く利用され、市民の学習振興に大きな役割を果たしている。

そこで、安曇野市が目指す「安曇野市公民館の理念」を達成するため、地域活動に意欲のある者に公民館活動を実践していただく機会として、公民館長の公募を実施する。

1 公募の基準

- (1) 教育全般、生涯学習、公民館の振興と改革に情熱と識見をもって取り組める者
- (2) 公民館活動の経験がある者
- (3) 安曇野市内に居住している者
- (4) 次の事項に該当している者は応募できない。
 - ア 破産者で復権していない者
 - イ 禁錮以上の刑に処せられた者
 - ウ 税金等を滞納している者

2 応募期間 平成30年1月10日(水)～平成30年1月31日(水)(必着)

3 募集人数 5人(豊科公民館長、穂高公民館長、三郷公民館長、堀金公民館長、明科公民館長)

4 応募方法

- (1) 履歴書(市販のもの)
- (2) 職務経歴書(A4用紙を使用、様式、枚数自由。公民館活動経歴を記入、職務経歴のない者は、ボランティア歴など)
- (3) 課題論文「『安曇野市公民館の理念』を達成するために、これからの時代に求められる公民館活動」(2,000字程度)。A4用紙を使用。なお、「安曇野市公民館の理念」は、生涯学習課窓口又は市ホームページから入手。
- (4) 他薦の場合は推薦書(A4用紙1枚、様式自由、推薦者氏名、推薦者と応募者の関係、推薦理由を記したもの)

上記書類を封筒に入れ提出する。

提出先 安曇野市教育委員会教育部生涯学習課

〒399-8281 安曇野市豊科6000番地

5 選考方法

- 第1次選考 履歴書、職務経歴書、課題論文による書類選考。(選考結果は、2月上旬に応募者全員に通知。この際、該当者には第2次選考についての通知文を同封)
- 第2次選考 2月中旬に個別面接による選考。(選考結果は2月下旬に、面接を受けた者全員に通知)

6 選考基準

公民館活動や社会教育についての今までの活動実績や意欲を重視し、論文、面接に基づき選考委員会により選考する。

7 選考委員会

次に掲げる者に教育委員会の委嘱又は任命で組織する（安曇野市公民館長選考委員会設置要綱）。

- (1) 地域区長会会長
- (2) 地域区長会副会長
- (3) 安曇野市教育委員会委員
- (4) 教育部長
- (5) 生涯学習課長

8 採用年月日 平成30年4月1日

9 処遇

- (1) 身分／非常勤特別職員
- (2) 任用期間／平成30年4月1日～平成32年3月31日
- (3) 報酬月額／206,500円（健康保険、雇用保険及びその他諸手当なし）
- (4) 勤務場所／各公民館
- (5) その他／勤務日は、原則月曜日から金曜日。
なお、行事等で変則勤務になることがある。

10 その他

広報あづみの1月お知らせ版（263号）（平成30年1月10日発行）に掲載

11 問い合わせ

安曇野市教育委員会教育部生涯学習課

電話 0263-71-2466 FAX 0263-71-2338

電子メール shogaigakushu@city.azumino.nagano.jp

報告第6号	教育部
平成29年12月25日提出	(課長) 鎌崎 孝善 (担当) 平林 洋一

タイトル	平成29年安曇野市議会12月定例会の結果について
報告を要する事項	市議会12月定例会についての報告
要旨	平成29年安曇野市議会12月定例会が終了しましたので、その結果等について報告するものです。

1 会期 11月22日(水)～12月19日(火)

(1) 代表質問 12月5日(火)

会派・議員名	教育委員会関係質問(概要)
清政会 召田 義人議員	・「学びの改革」(第2期高校再編)本市の考えは
政和会 平林 徳子議員	・小中学校の英語教育の充実について ・小中学校でのスマホ等に対する教育について ・教育の未来像について
公明党 小松 芳樹議員	・ICT教育のさらなる推進は

(2) 一般質問 12月6日(水)・12月7日(木)・12月8日(金)

議員名	教育委員会関係質問内容(概要)
山田 幸与議員	・教育費へのふるさと寄附金の活用について ・「たくましい安曇野の子ども」の徹底度合、先生・子どもの反応
中村 今朝子議員	・Jアラート避難訓練について
遠藤 武文議員	・自死遺族への支援内容、相談窓口の有無。また、学校・職場でサポートが できているのか。
竹内 秀太郎議員	・放課後児童クラブの充実について
小林 陽子議員	・穂高プールの利用者を増やすためにどのような取り組みをしているか ・穂高プールの運営費用を削減するためにどのような検討をしているか
増田 望三郎議員	・市の若者政策に係る所管ごとの課題と支援策について

議員名	教育委員会関係質問内容（概要）
林 孝彦議員	・長野県立大学との包括連携協定の締結を通じてのサテライトキャンパス誘致の現状と取組
内川 集雄議員	・教室等の室内環境における温度や換気の管理基準等について

(3) 福祉教育委員会 12月12日（火）

2 議案等の審査結果について（教育委員会関係）

(1) 以下の議案8件（関連議案含む）については、原案どおり可決されました。

議案番号	議案名
議案第96号	安曇野市の図書館条例の一部を改正する条例
議案第97号	安曇野市の交流学习センター条例の一部を改正する条例
議案第98号	平成29年度安曇野市一般会計補正予算（第4号）
議案第106号	公の施設の指定管理者の指定について（安曇野市立穂高中央児童館）
議案第107号	公の施設の指定管理者の指定について（安曇野市立中央児童館、安曇野市立高家児童館及び安曇野市立南穂高児童館）
議案第108号	公の施設の指定管理者の指定について（安曇野市立穂高西部児童館、安曇野市立穂高北部児童館）
議案第109号	公の施設の指定管理者の指定について（安曇野市立三郷児童館及び安曇野市立堀金児童館）
議案第110号	公の施設の指定管理者の指定について（安曇野市立明科児童館）

(2) 以下の陳情1件については、継続審査とされました。

陳情番号	陳情の趣旨
陳情第8号	児童クラブ受け入れ拡大について
<p>【陳情の趣旨】</p> <p>・児童クラブ保護者会一同から、6年生までの利用拡大と学校の空き教室を利用したいという要望が多くあった為検討をお願いしたい。</p> <p>【陳情事項】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 6年生まで通えるようにしてほしい 2. 学校の空き教室を利用したい 	

報告第7号	教育部 各課
平成29年12月25日提出	

タイトル	後援依頼の教育長専決分の報告について
報告を要する事項の内容	教育長専決に伴う報告
要旨	学校教育課 3件 生涯学習課 8件 文化課 1件 (詳細別紙)
<p>○安曇野市教育委員会の共催及び後援等に関する取扱基準【抜粋】 (定義)</p> <p>第2条 この基準における用語の定義は、次の各号に定めるところによる。</p> <p>(1) 行事 講演会、演奏会、展覧会等の集会、体育大会等の催し物をいう。</p> <p>(2) 共催 行事の企画又は運営に参加し、共同主催者としての責任の一部を負担することをいう。</p> <p>(3) 後援 行事の趣旨に賛同し、名義の使用を承認することをいい、責任の負担はしないことをいう。</p> <p>(審査基準)</p> <p>第3条 教育委員会は、次の各号に掲げるいずれかの団体が主催する行事は、共催又は後援するものとする。</p> <p>(1) 国又は地方公共団体</p> <p>(2) 学校又は学校の連合体</p> <p>2 教育委員会は、前項の団体以外が主催する場合は、次に掲げる事項を満たすことが明らかに確認できるものに限り、共催又は後援をするものとする。</p> <p>(1) 行事の内容が教育、学術、文化及びスポーツの普及向上に寄与するものであること。</p> <p>(2) 公益性のあるもので営利を目的としないものであること。</p> <p>(3) 政治活動又は宗教活動と認められないものであること。</p> <p>(4) 参加者等の参集予定範囲が市内全域又はそれ以上であること。</p> <p>(5) 入場料、参加料、出品料等の経費を主催者が徴収するものについては、その経費の算出等について配慮がなされており、営利事業的なものでないこと。</p> <p>(6) 団体内の親睦等が主たる目的ではないこと。</p> <p>(教育長の専決範囲)</p> <p>第4条 後援の承認について、教育長が専決できる行事は次に掲げるとおりとする。</p> <p>(1) 前条第1項に規定する行事</p> <p>(2) 過去に教育委員会が承認した行事(団体又は行事が、前条第2項の規定を満たしているか判断し難いものは除く。)</p>	

教育部 学校教育課 共催・後援台帳(平成29年度12月定例会専決報告事項)

No.	受付日	所管	件名	申請者	主催者 (団体)	種別	申請理由	申請日	開催日	専決	理由	承認	承認(専決)日	会場	開催目的(趣旨)	開催内容	H28 H27 H26	所管課 意見
1	H29.12.4	学校教育	2018発達障害啓 発週間「結」チャ リティーセミナー JDDnetがの (日本発達障害 ネットワークが の)	新保 文彦	JDDnetがの (日本発達障害ネッ トワークがの)	後援	発達障害に関する 県内の幅広い 団体等による講 演、展示等を通じ て、発達障害のあ る人・家族への支 援の向上が期待 でき、多くの市民 及び関係者に参加 を呼びかけるた め。	12月1日	平成30年2月 11日	専決	過去 承認	○	12月5日	信州大学医 学部付属病 院 外来棟4階	世界自閉症啓蒙子 に呼応する厚生労働 省(社)日本自閉症 協会主催、日本発達 障害ネットワーク等共 催の発達障害啓発週 間(4月2日から8日) において、長野県や国 各地で関係団体や個 人の協力による啓発 活動を「結」プロジェクト を開催する予定であ り、その活動経費に 充当するためのチャ リティーセミナーを開 催する。	文科省調査官、厚生 省専門官によるシン ポジウム 親の会、長野県言語 聴覚士会、SENSの会 長野支部会、日本随 伴発達心理士会、長野 支部、長野県臨床心 理士会、長野県自閉 症協会による相談や 活動の紹介等	○	基準第4 案第2号 により可
2	H29.12.8	学校教育	第8回安曇野市 高校演劇 合同発表会	長野県明科高等 学校校長 巻山 圭一	安曇野市高校演劇 合同発表会実行委 員会 安曇野市同発会 発表会 大会長	後援	安曇野市民の 方々に広く知って いただき、来場し ていただくため。	12月7日	平成30年2月 12日(月)	専決	学校 主催	○	12月11日	安曇野市豊 科公民館大 ホール	安曇野市内4高校演 劇部が互いに発表す ることで交流を深めて いくことを目的とし、安 曇野市民の方々に高 校生の文化活動を 知っていただくこと。	本情出演の町田岳陽 高校出身の5名がそ れぞれ演劇を上演 し、鑑賞し合う。(特別 審査員1名予定)	○	基準第3 案第1項 第2号に より可
3	H29.12.14	学校教育	作業学習まとも 2月校外販売	教諭 赤澤 敏	長野県安曇養護学 校 高等部	後援	安曇野市在住の 生徒が多数在籍 し、日々の作業学 習に励んでおり、 皆様のご理解ご 協力をいただきました ため。	12月15日	平成30年2月 10日	専決	学校 主催	○	12月15日	碓氷公園 研成ホール	支援を必要とする多く の生徒の活動内容や 状況を広く知って いただき理解を深め ると共に、多くの方の 賛同と支援をいただく ため。	食品・陶芸・布製品な ど、生徒達が1つ1つ 心を込めて作った製 品を、生徒自らが販 売する。	○	基準第3 案第1項 第2号に より可

教育部生涯学習課 共催・後援台帳(平成29年度12月定例会専決報告事項)

No.	受付日	所管	件名	申請者	主催者(団体)	種別	申請理由	申請日	開催日	専決	理由	承認	承認(専決)日	会場	開催目的(趣旨)	開催内容	H26	H27	H28	所管課意見
69	H29.11.13	スポーツ推進担当	第13回市民タイムス杯小学生ハレーボール大会	安曇野・東教小学生ハレーボール連盟	(株)市民タイムス 総務委員 中村 浩人 選手委員 長山 健一	後援	安曇野市の体育施設や教員施設を借りて大会を開催する。地域のハレーボールによる体向上と体力養成を図る。	11月8日	平成29年12月10日(日)	○	過去承認	○	11月15日	男子: 穂高西中学校体育館、穂高東中学校体育館 女子: 豊科勤労者総合スポーツセンター体育館、豊科中学校体育館、堀金小学校体育館、穂高北小学校体育館	教育的な環境のもとに、ハレーボールを通じて、地域の児童の親睦を図る。ハレーボールによって小学生の体向上と体力養成につとめる。	試合方法: トーナメント(一部リーグ戦)方式、全試合セプトボール・フリーボール・ジャンプ制・6人制競技規則により実施 参加料: 1チーム43,000円	○	○		基準第4条第2号により可
70	H29.11.13	社会教育担当	第92回 信毎健康フォーラム(安曇野)	信濃毎日新聞 松本本社	信濃毎日新聞社(公財)信毎文化事業所 松本本社 代表 石田 和彦	後援	安曇野市民の多くに周知したいため。	11月10日	平成29年12月2日(土)	○	過去承認	○	11月15日	安曇野スイスイ村サウナモリッツ 大ホール	一般市民を対象に、健康情報を提供するため。	参加料 無料 テーマ「膠原病-関節リウマチなど多様な疾患」 ①「膠原病とは何か-診断と治療」 東京医科大学名誉教授 菅原 昌之 氏 ②「関節リウマチについて」 信州大学医学部准教授 下島 恭弘 氏 ③「フォーラムII」 ハネルティスイスカンヤン ハネリスト 上記講師2名 コーディネーター 信濃毎日新聞編 森委員 飯島裕一氏	○	○		基準第4条第2号により可
71	H29.11.13	スポーツ推進担当	2018 第12回新春さわやか死巨マラソン	安曇野総合型地域スポーツクラブ 常念	安曇野総合型地域スポーツクラブ 常念 あつみ野おなまネットワーク	後援	市民に参加を呼びかけ、生産力的な推進を図る。また、他世代とのコミュニケーションの場を設ける。	11月13日	平成30年1月1日(月)元旦	○	過去承認	○	11月24日	坂金多目的屋内運動場(常念トーム)集合、坂金中央公園西側スタートゴール	市民の健康・安全を祈願し、新年を健やかな決意を誓ってスタートする場として開催する。	コース: 2km・3km・5km 始めづらランニングコース 参加料: 1人100円	○	○		基準第4条第2号により可
72	H29.11.28	社会教育担当	第9回あつみ野おなまネットワーク	あつみ野おなまネットワーク	あつみ野おなまネットワーク	後援	安曇野市内の公立小中学校や公民館等の施設で交流の場を設ける。	11月27日	平成29年12月23日(土)	○	過去承認	○	11月30日	坂金公民館 調理実習棟	主に子どもを対象に食事をふるまい、大人も高齢者も立ち寄りやすい環境を整え、子どもが安心して遊んだり学習したりできるような「居場所」をつくることを目的とする。	参加費: 大人300円、子ども(高校生まで)無料 メニュー: 豚汁、ごはん、おかず、サラダ、デザート	○	○		基準第4条第2号により可
73	H29.11.28	スポーツ推進担当	第4回信州安曇野ハーフマラソン	信州安曇野実行委員会	信州安曇野実行委員会 実行委員長 斎藤 正昭	後援	広く市民の方に周知し、多くの方に大会に参加していただくため。	11月28日	平成30年6月3日(日)	○	過去承認	○	12月1日	豊科南部総合公園(スタート・フィニッシュ会場)	安曇野の自然や人の魅力を全国に発信するため、第4回信州安曇野ハーフマラソンを参加資格、大会当日18歳以上の保護者(1人)と小学生(1~2人)/02~3人組参加料1組3,000円(小学生2人)の場合は4,000円)平成27~28年度(第1~3回)後援あり。	・ハーフマラソン(21.0975km) 定員: 5,000人(うち市民枠500人) 参加資格: 大会当日18歳以上 参加料: 1人5,500円(ファミリーラン(2km) 定員: 300組800人) 参加資格: 大会当日18歳以上の保護者(1人)と小学生(1~2人)/02~3人組 参加料: 1組3,000円(小学生2人)の場合は4,000円)平成27~28年度(第1~3回)後援あり。	○	○		基準第4条第2号により可

教育部 生涯学習課 共催・後援台帳(平成29年度12月定例会専決報告事項)

No.	受付日	所管	件名	申請者	主催者 (団体)	種別	申請理由	申請日	開催日	専決	理由	承認	承認(専決)日	会場	開催目的(趣旨)	開催内容	H26	H27	H28	所管課 意見
74	H29.12.5	スポーツ推進担当	平成29年「第12回安曇野ラッパージュボール大会」	安曇野卓球連盟 会長 西村 義夫	安曇野卓球連盟	後援	社会教育の一環として必要。	11月28日	平成29年12月10日(日)	○	過去承認	○	12月6日	穂高総合体育館	中高生(30歳以上)を対象に生涯スポーツの一つとして、卓球競技を通じて楽しく親しむ者の拡大を図る。	競技方法:男女混合チームによる団体戦。3ダブルスによる予選リーグ及び決勝トーナメント方式。 参加料:1人1,000円	○	○	○	生涯第4条第2号により可
75	H29.12.5	スポーツ推進担当	平成29年度 第24回安曇野卓球連盟会長杯争奪卓球大会(個人の部・複の部)	安曇野卓球連盟 会長 西村 義夫	安曇野卓球連盟	後援	社会教育の一環として必要。	11月28日	平成29年12月10日(日)	○	過去承認	○	12月6日	穂高総合体育館	卓球競技を通じて地域の融和と交流を図るとともに、卓球技術の向上と親睦を深める。	競技種目:小学1~4年生シングルス①男子の部、②女子の部、小学5~6年生シングルス③男子の部、④女子の部、中学生シングルス⑤男子の部、⑥女子の部、一般(高校生以上)シングルス⑦男子の部、⑧女子の部、一般ダブルス⑨男子の部、⑩女子の部。 競技方法:①~④、⑦、⑧は予選リーグ及び決勝トーナメント方式。⑤、⑥、⑨、⑩はトーナメント方式。 参加料:小・中学生600円、一般(高校生以上)1,000円、一般ダブルス1,500円	○	○	○	生涯第4条第2号により可
76	H29.12.12	スポーツ推進担当	第18回 安曇野杯	安曇野市ママさんバレーボール連盟 倉田 富美子	長野県ママさんバレーボール連盟、安曇野市ママさんバレーボール連盟	後援	冊子に後援者として記載するため。	12月5日	平成30年1月28日(日)	○	過去承認	○	12月13日	穂高総合体育館	本大会は、家庭婦人の健康づくりとチーム作りを通して、連携と協調性を養って、支部内チーム競技技術の向上を図ることを目的とする。審判員の資質向上を図る審判研修を兼ねる。	競技方法:複則リーグ戦方式 参加料:1チーム4,000円	○	○	○	生涯第4条第2号により可

教育部 文化課 共催・後援台帳(平成29年度12月定例会専決報告事項)

No.	受付日	所管	件名	申請者	主催者	種別	申請理由	申請日	開催日	専決理由	承認日	会場	開催目的(趣旨)	開催内容	H26	H27	H28	所管課意見
1453	H29.12.4	文化	平成29年度安曇野市中学高校美術部展	安曇野市豊科近代美術館 館長 荒深重徳	安曇野市豊科近代美術館・公益財団法人 安曇野文化財団	後援	安曇野市内の学校(生徒)の活動を、多くの市民に広報・周知するため。	12月1日	平成30年 2月6日(火)～ 2月25日(日)	過去承認	12月6日	安曇野市豊科近代美術館本館展示室及び新館展示室	中学・高校美術部の活動成果を発表する場として、また他校生・市民との交流の場として、市内の中学・高校美術部による合同作品展を行う。	教育普及活動の一環として、安曇野市の中学・高校の美術部員による作品や制作作品、市外高校美術部の質街出品作品を展示する。今年度は第9回目を迎え、入場者数は1,000人を見込んでいる。参加料・入場料は無料。	-	○	○	基準第24条第2号により可

平成29年度事業進捗状況報告（懸案事項等）

生涯学習課社会教育担当

社会教育総務費事業

事業（懸案事項）	現況	今後の取り組み
社会教育委員の会 予算額：336千円	9/21 県研究大会 11/14 第2回社会教育委員の会議 11/16～11/17 関東甲信越静研究大会 11/29 中信地区秋の研修会 講師：(株) VOTANO WINE 代表 坪田満博さん 講演後、井筒ワインにて工場見学	1月下旬 市ブロック研修会 2月上旬 第3回社会教育委員の会議 3月下旬 第4回社会教育委員の会議 2/16 中信地区理事会
第2次生涯学習推進計画策定 予算額：1,922千円	4/27 第1回策定委員会 5/30 第2回策定委員会 7/12 第3回策定委員会 8/18 第4回策定委員会 11/9 第5回策定委員会 11/30 第6回策定委員会 ・第2次計画案の決定について協議	12/20～1/19 パブリックコメント実施 2/2 第7回策定委員会
安曇野市人権・平和特別授業 ～kizuki～ 予算額：3,000千円	○10/3 安曇野市人権・平和特別授業～kizuki～ 対象児童840名、来賓58名 招待者154名 ○11月 感想文応募（人権尊重作文集へ掲載）	

生涯学習推進費

事業（懸案事項）	現況	今後の取り組み
安曇野検定 予算額：2,984千円	○検定準備講座 7月～10月 全10回実施 受講者延べ601名 ○検定 12/6 受検者募集開始（一般の部） ○図書「つなぐ～安曇野の伝説～」製作 8/18 第1回会議 監修・執筆者参集 執筆作業開始 9/19 第2回会議 10/24 第3回会議 10/27 挿絵依頼 11/28 第4回会議 執筆終了 原稿・挿絵確認等	○安曇野検定（一般の部） 1/28 平成29年度安曇野検定 （29年度検定準備講座内容から出題） ○ブラッシュアップ講座 検定合格者対象に実施検討中 ○安曇野検定（ジュニアの部） 図書「つなぐ～安曇野の伝説～」 1月 完成予定 2月 出前授業「つたえる」 安曇野検定ジュニアの部実施 （上記図書の内容から出題）
市民大学講座 予算額：764千円	○7/2 特別編 受講者595名 講師：田中陽希さん 会場：豊科公民館大ホール ○8/1～9/5 信大編（全5回）受講者延べ279名 講師：信大より派遣 会場：「きぼう」多目的交流ホール	○特別編 平成30年度講師の選定
日本語教室 予算額：395千円	○豊科・堀金は毎週日曜、穂高・三郷は土曜日に開催 （明科休講中） ○6/27 第1回ボランティア講習会 受講者12名 講師：佐藤 佳子さん	2月 広報あづみの ボランティア募集記事掲載 3月 新規ボランティア説明会 第2回ボランティア講習会
学校開放講座 予算額：300千円	○社会教育法第48条による講座 5/3～12/23 南安曇農業高校 7/22～10/21 明科高校 受講者延べ78名 8/26～11/4 穂高商業高校 受講者延べ143名 11/18、11/25 豊科高等学校 11/23 豊科南中学校 受講者6名 11/18、12/16 穂高南小学校	12/24 豊科高等学校 「本格ハードカバー製本」 1/20 穂高南小学校 「めざせ！けん玉名人」

人権教育推進事業

事業(懸案事項)	現況	今後の取り組み
教育推進委員会・指導員会 予算額：1,218千円	5/9 第1回小委員会 5/30 第1回合同会議 出席者140名 研修会 講師：福岡 寿さん 演題：「障がい者の人権について」	2/20 第2回小委員会 2/27 第2回合同会議
人権教育推進協議会 予算額：582千円	○4月 第1回地域人権教育推進協議会	第2回地域人権教育推進協議会 12/20 明科地域 1/23 豊科地域 1/26 三郷地域 2/1 堀金地域 2/15 穂高地域
人権尊重作文集-kiseki- 予算額：326千円	○概要 市内小学校10校3～6年生、中学校7校1～3年、各人権学習会などの概要版などとともに合計27作品の作文集を作成し、関係者へ配付。	11～12月 作品募集 2月 発行 3月 入選者表彰
安曇野市企業人権教育推進協議会 予算額：52千円	市内31企業加入 ○6/22 安曇野市企業人権教育推進協議会総会・研修会 ○11/6 企業人権啓発講演会 受講者110名 講師：竹内昌彦さん(岡山県視覚障害者協会理事) 演題：『私の歩んだ道』～見えないから見えたもの～ 受講者：加入企業、推進委員・指導員ほか ○11/30 加入企業へ人権啓発資料の配付 「人権つうしん」「人権ながの」 ○12/3 人権のつどい 共催 参加者700名 全国中学生人権作文コンテスト入選者 表彰 講演会 演題：「夢と絆」 講師：蓮池 薫さん	2/15 理事会

中央公民館事業費

事業(懸案事項)	現況	今後の取り組み
公民館運営審議会 予算額：147千円	4/24 第1回会議 12/20 第2回会議 平成30年度事業計画	3月下旬 第3回会議
公民館長会	4/10 第1回会議 5/8 第2回会議 6/5 第3回会議 7/3 第4回会議 8/7 第5回会議 9/4 第6回会議 10/10 第7回会議 12/4 第8回会議 平成30年度事業計画	1/9 第9回会議 2/5 第10回会議 3/5 第11回会議
安曇野市総合芸術展 予算額：358千円	7/3 第1回実行委員会 10/10 第2回実行委員会 10/21 三郷地域文化祭作品選考 11/3 穂高・堀金・明科地域文化祭作品選考 11/11 豊科地域文化祭作品選考 11/21 第3回実行委員会 作品選考確認	2/5 第4回実行委員会 3/7～3/20 総合芸術展
安曇野市公民館報 予算額：1,253千円	○年6回発行 11/1 館報39号発行 11/13 館報40号校正会議 11/22 館報41号企画会議 12/6 館報40号発行	1/23 館報41号校正会議 2/1 館報42号企画会議 2/14 館報41号発行

公民館建設事業費

事業(懸案事項)	現況	今後の取り組み
堀金公民館講堂及び文書館等改修工事 予算額：307,760千円	○定例会(毎週金曜日開催) 12/1 第12回、12/8 第13回、12/15 第14回 ○総合定例会(毎月第1金曜日開催) 12/1 第3回	平成29年度工事 工期：9月議会議決の日(8/22) ～平成30年3月26日 契約金額：280,800,000円
豊科公民館駐車場整備 予算額：57,800千円	4/28 豊科公民館駐車場整備工事 竣工 5/1 豊科公民館駐車場完成報告会	

平成 29 年度事業進捗状況報告（懸案事項等）

生涯学習課社会教育担当

青少年健全育成費事業

事業（懸案事項）	現 況	今後の取り組み
子ども会育成会支援 予算額：11,690千円	○11月11日 ジュニアリーダー養成講座協力 1名	2月 育成会だより発行 2月中旬 子ども会育成会地域連絡協議会 3月6日 常任委員会
青少年センター 予算額：1,071千円	○10月24日 中信4市補導センター連絡会議 (安曇野市) 会長・センター長他7名参加 ○11月6日 子ども・若者育成支援強調月間 青少年健全育成の啓発物（ティッシュ） の配布 ○11月7日 第3回運営委員会 ○11月11日 ジュニアリーダー養成講座協力 3名 ○11月24日 視察研修会 穂高 活禅寺北アルプス別院 8名参加	12月、3月 街頭巡回 1月 運営委員会 2月 講演会
ジュニア・リーダー養成事業 予算額：67千円	○11月11日 講習会（三九郎組立講座） 小人32名、大人5名参加	事業完了
まごころ工房 予算額：157千円	○12月2日 第5講座【和風作り】 受講人数12名、保護者8名参加	年6回講座開催(参加予定者数) 2月24日 料理教室(17名)
こども体験ショー 予算額：540千円		事業完了
子ども文化祭 予算額：345千円	○11月25日 子ども文化祭開催 場所：みらい ステージ発表8団体、参加者149名 作品展示4団体、出展者72名 参加者合計221名、来場者約300名	
安曇野こども映画教室 予算額：965千円	○11月11日 第7回 教室開催（編集） 受講者数18名、講師3名 ○11月25日 完成披露上映会（穂高みらい） 受講者数19名、講師2名、スタッフ2名	

放課後・家庭教育推進費

事業（懸案事項）	現 況	今後の取り組み
放課後子ども総合プラン運営委員会 予算額：235千円		2月中旬 第2回運営委員会の開催
放課後子ども教室 予算額：8,654千円		5月17日 放課後子ども教室の実施 ～3月 2月中旬 地域連絡会議の開催
家庭教育支援事業 予算額：271千円		10月 第2回家庭教育講座内容検討 ～12月 2月 第2回家庭教育講座

児童館運営費

事業（懸案事項）	現 況	今後の取り組み
児童館・放課後児童クラブ 予算額：185,290千円	○11月11～24日 H30年度申請受付 申請者 通年：636名、長期265名	12・1月 入所審査・調整 2月 入所決定通知書発送 3月 入所説明会

成人式実施事業

事業（懸案事項）	現 況	今後の取り組み
成人式 予算額：4,361千円	○11月12日 第3回実行委員会 7名参加 当日の進行、役割分担確認、フォトムービー試写会 ○12月4日 来賓への案内通知 対象者61人	1月7日 成人式

平成 29 年度事業進捗状況報告（懸案事項等）

生涯学習課社会教育担当（豊科公民館）

豊科公民館事業費

事業（懸案事項）	現況	今後の取り組み
<p>○第 13 回豊科地域文化祭 ・会期：10/27（金）～11/19（日）</p>	<p>○一般作品展示 11/6（月）～12（日） 於：豊科公民館会議室、郷土博物館 入場者：340 名</p> <p>○俳句大会 11/19（日） 於：豊科公民館 投句者：大人 41 名、小中高校生：1,343 名</p> <p>○短歌大会 11/11（土） 於：豊科身障者会館 参加者：14 名</p> <p>○文化祭反省会 11/6（水） 芸文協と共催事業として行った今年度の文化祭の反省会を実施した。</p> <p>○菊花展表彰式 11/7（木） 文化祭菊花展の審査会の結果、優秀賞ほか上位受賞者への表彰式を行った。</p>	
<p>○第 2 回地区公民館対抗球技大会</p>	<p>○スポーツ推進委員との打合せ 12/6（水） 今年度の球技大会の進め方について、打合せを行った。</p>	<p>○体育部長会議 12/13（水） 球技大会に関わる地区公民館体育部長会議</p>

平成 29 年度事業進捗状況報告（懸案事項等）

生涯学習課スポーツ推進担当

社会体育総務費事業

事業（懸案事項）	現 況	今後の取り組み
スポーツ推進委員会 予算額：2,412千円		3月3日 第3回全体会議
スポーツ推進審議会 予算額：182千円		本年度は案件がないため開催しない
各種競技会及び発表会出場者 激励金交付事業 予算額：1,200千円	<H30年度実績（支出済のもの）> 11月末現在 件数：64人 交付額：662千円	申請に基づき随時対応
第2次安曇野市スポーツ 推進計画の策定	12/6～1/5 パブコメ実施予定	1月23日 第7回策定委員会

スポーツ振興事業

事業（懸案事項）	現 況	今後の取り組み
スポーツ教室等 予算額：9,367千円	各種スポーツ教室の申込受付及び教室の開催 (46教室・定員2,026人)	9/6 広報（後期の教室募集）
市民スポーツ祭 予算額：1,500千円	⑯ 12/3 9人制女子バレーボール（堀金総体、堀金小） ⑰ 12/3 フットサル（常念ドーム、堀金中） ※12/3で全種目（17）が終了予定	6月下旬から12月上旬にかけて種目別競技会（17種目）が開催予定

社会体育施設管理費

事業（懸案事項）	現 況	今後の取り組み
三郷文化公園グラウンド バックネット防護マット 設置工事	10月26日 設置工事契約	11月下旬 設置工事予定 工期：10月26日～12月22日
公共施設予約システム	11月25日 1・2月分インターネット施設抽選予約開始 12月1日 1・2月施設予約開始（窓口） 12月9日～27日 H30年度体育施設予約調整期間 （市・国県・区・小中学校・体協団体大会分）	1月6日～3・4月施設予約開始（優先団体分） 1月13日～3・4月施設予約調整（優先団体分） 1月4日～20日 H30年度体育施設使用計画受付 （体協以外団体大会・合宿等分） 2月1日～20日 優先団体内部5月～9月の大会 受付（体協・スポ少等内部事業分）

市民プール管理費

事業（懸案事項）	現 況	今後の取り組み
穂高プール運営		平成30年度以降の運営について、 庁内関係部署で再検討

南部総合公園体育施設建設費

事業（懸案事項）	現 況	今後の取り組み
豊科南部総合公園体育施設 建設事業	12月1日 新総合体育館建設基本設計に伴う体育施設 利用団体等意見交換会（参加者数10名） 12月2日 新総合体育館建設事業地元説明会（対象地 区：上鳥羽、下鳥羽、真々部、飯田、下飯田、 中曽根）（参加者数11名）	1月中 地質調査、用地測量 3月末日の工期に向けて、新総合 体育館建設基本設計を取りまとめる

平成 29 年度事業進捗状況報告（懸案事項等）

〈文化課〉

文化振興係

芸術教育普及事業

事業（懸案事項）	現 況	今後の取り組み
第 12 回安曇野文化講演会	第 12 回安曇野文化講演会 日時：12 月 17 日（日）午後 1 時 30 分～ 会場：豊科公民館ホール 定員：500 人 講師：小泉武夫（食文化論者） 演題：「発酵と微生物の神秘」	
東京藝大交流事業	第 3 回楽器演奏指導事業 指導：東京藝大音楽学部 教育研究助手・学生 20 名 2 月 3 日（土） 対象：穂高東中吹奏楽部 2 月 4 日（日） 対象：リーダーズバンド	

文化振興計画推進事業

事業（懸案事項）	現 況	今後の取り組み
文化振興計画 進捗管理	第 6 回文化振興計画策定委員会 期日：1 月 31 日（水） 午前 10 時～ 内容：第 2 次安曇野市文化振興計画案について	

美術館博物館連携事業

事業（懸案事項）	現 況	今後の取り組み
安曇野市美術館博物館 連携事業 主催：安曇野市美術館 博物館連携事業実行委 員会	安曇野市ミュージアムギャラリートークリレー2017 会期：10 月 21 日（土）～11 月 5 日（日） 実施施設：安曇野市内美術館・博物館 13 館 実施回数 307 回、参加者 1,192 人	
	美術館博物館職員等研修会 期日：11 月 17 日（金） 会場：貞享義民記念館 対象：市内および市近隣の博物館等職員 講師：可児光生（岐阜県美濃加茂市民ミュージアム館長） 演題：「これからの美術館博物館 地域でやること・できる こと」 参加者数：24 人	
	学校ミュージアム 1 月 19 日（金） 豊科北小学校 1 月 25 日（木） 堀金中学校	
	出前ミュージアム 2 月 2 日（金） 穂高デイサービスセンター	

文化団体補助事業

事業（懸案事項）	現況	今後の取り組み
「安曇野文化」刊行事業	11月30日(木) 第25号発刊	第26号 2月28日発刊予定

文化イベント補助事業

事業（懸案事項）	現況	今後の取り組み
あづみの公園早春賦音楽祭 主催 実行委員会	第14回あづみの公園早春賦音楽祭（平成30年度） 期日：11月24日(金) 第2回事務局会議 12月1日(金) 第1回実行委員会	第3回事務局会議 1月12日(金) 第2回実行委員会 1月下旬

高橋節郎記念美術館教育普及事業

事業（懸案事項）	現況	今後の取り組み
ライアーギャラリー コンサート	期日：12月9日(土) 内容：高橋節郎が装飾を加えた「ライアー」を使ったコンサート 出演：池末みゆき 来場者：49人	
第13回北穂高芸術展 主催 北穂高芸術展実行委員会	会期：11月11日(土)～11月26日(日) 組織：北穂高地区の区長、公民館長、記念美術館友の会 開会式(11/11) 143人出席 会期中の来場者数：687人	
改組新第4回日展工芸美術長野県入選者展 主催 改組新第4回日展工芸美術長野県入選者展実行委員会	会期：12月19日(火)～平成30年3月4日(日) 組織：改組新第4回日展(工芸美術)に入選した長野県在住作家と実行委員会を組織 会場：記念美術館ギャラリー	
冬季企画展	・西澤美幸作品展/木彫家竹岡守展 会期：12月1日(金)～12月10日(日) 会期中の入館者数：404人 ・佐藤大史写真展《廻っている》 会期：12月13日(水)～24日(日) ・望月信幸《自由律版画展》 会期：1月6日(土)～14日(日)	

郷土博物館事業

事業（提案事項）	現 況	今後の取り組み
郷土博物館企画展		<p>「野鳥×植物 つながる命の営み」 会期：2月17日(土)～4月8日(日) 会場：豊科郷土博物館 2階展示室</p>
郷土博物館講座	<p>「博物館こたつ講座」 会場：豊科郷土博物館2階学習室 参加費：100円(資料代等) ※別途入館料徴収 時間：午前10時30分～11時30分 講師：各回博物館職員および関係者 定員：30人(先着順)</p> <p>・第1回 日時：12月16日(土) 内容：「大糸線はなぜ明盛村を通り、池田町を外したのか」</p> <p>・第2回 日時：12月23日(土) 内容：「お蚕さまさま」 会場：豊科郷土博物館2階学習室</p>	<p>・第3回 日時：1月6日(土) 内容：「昭和の自宅結婚式～これから結婚式をする人たちへ～」</p> <p>・第4回 日時：1月20日(土) 内容：「未来に受け継ぐ長峰山の自然」</p> <p>・第5回 日時：1月27日(土) 内容：「安曇族、乗るのは舟ではなく馬」</p> <p>・第6回 日時：2月3日(土) 内容：「勘左衛門堰をめぐる村と人～拾ヶ堰開削前史～」</p>

		<p>「昔の暮らし体験教室」 期日:1月12日(金)～2月8日(木) 内容:市内小学校10校 内容:小学校3年生の社会科の授業にあわせ、市内郷土資料館等所蔵資料を活用し、それぞれの学校に講師が伺い、実際に昔(太平洋戦争中～昭和30年代まで)の資料に触れ、当時の暮らしを体感してもらう。1クラス30分程度。</p>
新市立博物館準備室出前展示(コンパクト展示)	<p>「安曇野の特産物—今昔—」 会期:11月1日(水)～12月4日(月) 会場:江戸川区立穂高荘</p>	<p>三郷交流学习センター 開館記念展示「三郷古写真から繙く三郷の風景」(仮称) 会期:3月10日(土)～ 会場:三郷交流学习センター交流ラウンジ</p>
	<p>「多文化社会を生きる私たち」 会期:11月6日(月)～12月8日(金) 会場:穂高交流学习センター「みらい」交流ギャラリー</p>	
	<p>「正月様どこまでござった?正月ちゅうもんはいいものだ!!」 会期:12月22日(金)～1月15日(月) 会場:江戸川区立穂高荘</p>	
職員派遣その他	<p>空調設備工事に伴う臨時休館 工期:11月16日(木)～12月5日(火)</p>	<p>「明科の魅力再発見講座」への講師派遣 期日:1月30日(火) 会場:明科公民館講堂 内容:「お舟祭りに見る明科の魅力」と題した講座</p>
	<p>その他、常設展示リニューアルに向けた取り組み、紀要発行準備等。</p>	

郷土資料館事業

事業（懸案事項）	現況	今後の取り組み
穂高郷土資料館	北アルプス山麓で発掘された縄文土器や土偶のほか、農具や漁具、養蚕資料など民具を展示（常設展示を見やすくわかりやすい展示に整理し、考古資料等、みどころとなる資料を解説等で強調）。隣接する「鐘の鳴る丘集会所」の関連資料も展示。 新規の企画「縄文土器を安曇野の西と東で比べる展示」を郷土博物館・文化財資料センターとの協力で実施。	
穂高鐘の鳴る丘集会所の施設使用	郷土の歴史や文化に係る学習や青少年の健全育成に関する事業を行う市民等の利用に供する。	

貞享義民記念館事業

事業（懸案事項）	現況	今後の取り組み
企画展示	「フォトサロンなかがや写真展」 会期:11月7日(火)～12月3日(日) 会場:貞享義民記念館1階企画展示室	「木版画とタイルアートの世界」 会期:1月11日(木)～1月28日(日) 会場:貞享義民記念館1階企画展示室
	「三郷陶芸クラブ『絆』展」 会期:12月5日(火)～12月17日(日) 会場:貞享義民記念館1階企画展示室	「『じょうきょうそうどう』って知ってる?！」 会期:1月16日(火)～2月12日(月) 会場:貞享義民記念館1階ホール
		「瀧澤伸介絵画展」 会期:1月30日(火)～2月25日(日) 会場:貞享義民記念館1階企画展示室

公文書開館準備事業

事業（懸案事項）	現況	今後の取り組み
設置条例の制定	「安曇野市文書館条例」の概要についてのパブリックコメントの実施 ・意見等の募集期間:12月25日(月)～1月25日(木)	

歴史文書整理事業

事業（懸案事項）	現 況	今後の取り組み
歴史文書整理	古文書整理作業（上川手文書整理）	松岡家（三郷）文書整理

歴史的価値ある公文書整理事業

事業（懸案事項）	現 況	今後の取り組み
歴史的価値ある公文書整理	歴史的価値ある公文書としてのシステム登録 公開・非公開の選別作業	文書管理・検索システム

地域資料収集・整理事業

事業（懸案事項）	現 況	今後の取り組み
地域資料収集・整理	穂高古文書勉強会の運営委員の方々に目録作成のための調査を依頼。	

文化財保護係

文化財保護事業

事業（懸案事項）	現 況	今後の取り組み
文化財補助事業事務	・補助事業を実施している無形民俗文化財の保存伝承関係、文化財維持管理関係、有形文化財の修理関係等への補助事業を実施。	随時事務処理を行う
「安曇平のお船祭り」調査	・平成 29 年度のお船祭り調査のまとめと、来年度調査に向けての課題の洗い出し	調査を継続
出前講座「よみがえる安曇野」上映会の開催	・12月6日（水）午後7時30分～ 小田多井地区公民館講座 18人参加 小田多井コミュニティーセンター	
あづみのフィルムアーカイブ事業	・「よみがえる安曇野Ⅱ」制作にむけての準備 ・8mmフィルムの収集作業 ・BGM収録（三郷中合唱部 JA婦人部他協力） ・8mm 提供者への取材	
指定文化財の保存管理等についての協議等	・曾根原家住宅 保存修理工事事務（12月6・7日） ・本陣等々力家について（12月11・12日） ・本村のシダレザクラ（12月15日）	
文化財保護へ向けた啓発活動	・広報への文化財コラムの掲載	
日本遺産申請に向けての協議	・12月22日（金） 今後の取り組みについて協議	

埋蔵文化財発掘調査事業

事業（懸案事項）	現 況	今後の取り組み
平成 30 年度以降の 公共工事照会と保 護協議	<ul style="list-style-type: none"> 平成 30 年度以降の公共事業を把握し、関係部署と保護協議を実施し、埋蔵文化財及び文化財（史跡・天然記念物）、希少野生動植物の保護へ向けた事業計画を立てる。 	来年度予算を念頭に、関係部署と保護協議を実施
埋蔵文化財包蔵地 内での開発に先立 ち試掘調査を実施	<ul style="list-style-type: none"> 三枚橋遺跡（穂高矢原） 北才の神遺跡（穂高等々力） 	試掘調査の結果を受け、保護協議を実施
埋蔵文化財包蔵地 内等での開発に対 しての工事立会	<ul style="list-style-type: none"> 一般開発・公共事業に伴う工事立会 	
文化財保護法 93・94 条関係の 事務	<ul style="list-style-type: none"> 周知の埋蔵文化財包蔵地内で開発が行われる際の届出・通知受付事務 	随時対応
埋蔵文化財報告書 作成作業	<ul style="list-style-type: none"> 穂高神社境内遺跡発掘調査（穂高支所建替え）に伴う調査報告 等々力町巾上巾下遺跡発掘調査（駐車場の浸透柵建設）に伴う調査報告 平成 28 年度工事立会い、試掘調査に伴う調査報告 	報告書作成へ向け継続
遺物整理作業	<ul style="list-style-type: none"> 試掘調査等で出土した遺物等の整理作業 潮神明宮前遺跡発掘調査（明科地域消防詰所建築）に伴う遺物整理作業 	

交流学習センター(施設)事業

事業（懸案事項）	現 況	今後の取り組み
交流学習センター等事業	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「クヌギ林の宝石 ～穂高天蚕のあゆみ～」 <ul style="list-style-type: none"> ・ 期日：12月9日（土）～2月9日（金） ・ 場所：穂高交流学習センター「みらい」交流ギャラリー ・ 内容：写真と解説、機織りの実演等 ○ ウィンターコンサート in みらい ～フルート&チェロ&ピアノの調べ～ <ul style="list-style-type: none"> ・ 期日：12月16日（土） ・ 場所：穂高交流学習センター「みらい」多目的交流ホール ・ 入場料：500円 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 三郷交流学習センター貸館受付 <ul style="list-style-type: none"> ・ 期日：1月5日（金）から ・ 場所：穂高交流学習センター「みらい」3月10日（土）から、三郷交流学習センター「ゆりのき」で受付開始

交流学習センター(建設)事業

事業（懸案事項）	現 況	今後の取り組み
三郷交流学習センター建設事業	<ul style="list-style-type: none"> ○ 三郷交流学習センター 鍵引渡し式 <ul style="list-style-type: none"> ・ 期日：12月26日（火） 午前10時～ ・ 場所：三郷交流学習センターエントランスホール ・ 内容 <ul style="list-style-type: none"> ①鍵引渡し式 午前10時～ ②施設内覧会 午後1時30分～ 市議会議員、教育委員 <li style="padding-left: 40px;">午後3時～ 関係者（社会教育委員の会正副議長、図書館協議会正副会長、区長等） 	

図書館事業

事業（懸案事項）	現 況	今後の取り組み
図書館事業	<ul style="list-style-type: none"> ○ 図書館協議会 <ul style="list-style-type: none"> ・ 期日：12月7日（木） 13：30～15：00 ・ 場所：豊科交流学習センター「みらい」多目的交流ホール ・ 内容：「第2次安曇野市図書館基本計画策定について」、「平成30年度安曇野市図書館事業計画(案)について」、「その他」 	